

福岡大学大学院ガイド

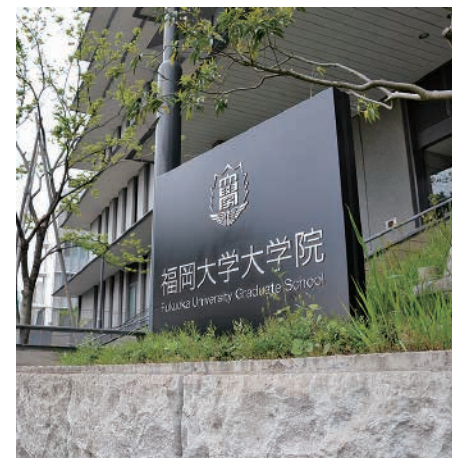
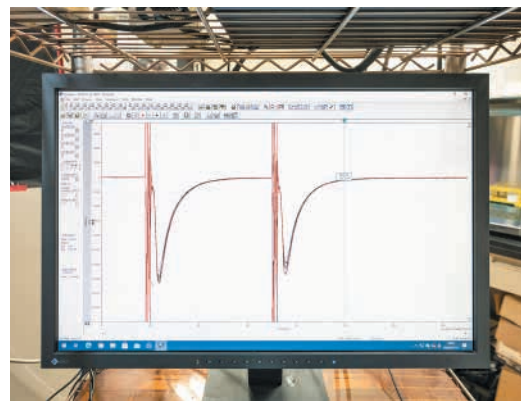
Fukuoka University Graduate Schools Guide 2025

- 人文科学研究科 / Humanities
- 法学研究科 / Law
- 経済学研究科 / Economics
- 商学研究科 / Commerce
- 理学研究科 / Science
- 工学研究科 / Engineering
- 医学研究科 / Medical Sciences
- 薬学研究科 / Pharmaceutical Sciences
- スポーツ健康科学研究科 / Sports and Health Science
- 法曹実務研究科(法科大学院) / Institute for Legal Practice (Law School)

福岡大学 大学院

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL092-871-6631 内線2913~2915
福岡大学大学院事務課(福岡大学 中央図書館6階)
<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>

福岡大学 大学院



ごあいさつ

本学は、昭和9年に創立され、その中で、大学院は、昭和40年に設置され、10研究科34専攻を持つ50年を超える歴史と伝統を有します。

大学院は、個々の学生が自ら課題を発見し、自ら仮説を構築し、あらゆる方面から観察し研究する場です。また、創造性豊かな研究者、高度専門職業人、教育・研究能力を兼ね備えた大学教員、高度で知的な素養のある人材などの養成を担っております。

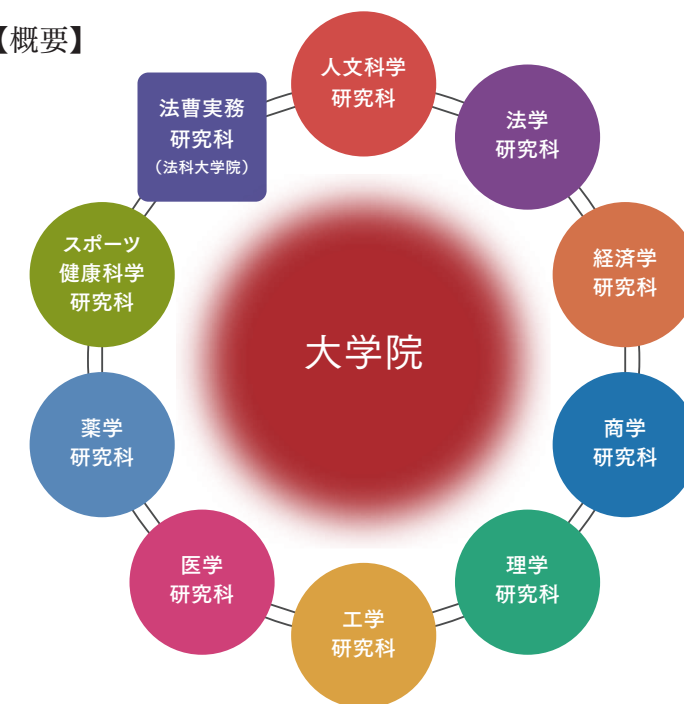
本学大学院で、真摯に学びの道を究めようと挑戦する学生のみなさんは、文系・理系10研究科の多種多様な専攻において、新たな研究の未来を開拓し、急速に変化する社会に大きく貢献してください。

福岡大学大学院は、学問と研究を更に高めようとするみなさんをお待ちしています。



福岡大学 学長
永田 潔文
NAGATA Kiyofumi

大学院【概要】



社会の高度化・多様化に伴い、さまざまな領域で専門性が求められる近年、大学院においても真理の探究とともに実践的な専門性の向上が期待されるようになってきました。福岡大学大学院は、1965年の開設以来、社会文化の発展に寄与すべく研究・教育の充実を図ってきました。現在では10研究科と34の専攻を擁し、専攻により修士課程、博士課程前期・後期、博士課程、専門職学位課程を設置しています。

本学大学院の特色は、10研究科の境界を超えた学際的かつ統合的な研究活動が活発に行われていることです。また、時代の変革に即応したカリキュラムの開発や新たな研究指導法の導入等により、より高度で専門的な研究者、職業人の育成が行われ、一部の専攻においては、社会人のリカレント教育を目的とした夜間大学院も設置しており、それらの成果は実践的な教育研究に反映され高い評価を得ています。

なお、修学支援として、学部学生の教育補助業務を行うティーチング・アシスタント(TA)に採用する制度のほか、本学大学院独自の給費奨学金や外国人留学生対象の奨学金制度もあります。また、海外で開催される国際学会での研究発表のための渡航費用の支援制度もあります。

目次

人文科学研究科	02
法学研究科	08
経済学研究科	11
商学研究科	13
理学研究科	15
工学研究科	20
医学研究科	28
薬学研究科	37
スポーツ健康科学研究科	40
法曹実務研究科 (法科大学院)	42
VOICE	44
外国人留学生	46
進路状況	48
Q&A	49
施設	50

人文科学研究科は、人文学部と直結した研究科であり、史学、日本語日本文学、英語学英米文学、独語学独文学、仏語学仏文学、社会・文化論、教育・臨床心理の計7専攻を設置しています。これらすべてに前期(修士)課程があり、また社会・文化論専攻以外すべての専攻に後期(博士)課程があります。

本研究科では、人間及び人間社会を対象とする人文諸科学の理論と方法論を極めることにより、自由で独創的な発想と広い視野をもつ人間性、そして今日の国際社会、多様性の社会に貢献できる人材の養成につながる教育を行っています。修士課程・博士課程前期では、社会の要望に応え十分な実力を発揮できる高度専門職業人を養成することに力を置き、博士課程後期では、専門領域において独創的かつ社会的に有用な研究を実現できる研究者や高度専門職業人を養成することを目的とします。

人文科学研究科個別サイト <https://www.hum.grad.fukuoka-u.ac.jp/> を開設しています。人文科学研究科の詳細については、個別サイトをご覧ください。

研究科長メッセージ



人文科学研究科長
村上 久美子 教授

本研究科は、1982年に開設された英語学英米文学専攻と仏語学仏文学専攻から始まります。その後、史学専攻、日本語日本文学専攻、独語学独文学専攻、社会・文化論専攻、教育・臨床心理専攻と増設し、現在の7専攻に到ります。

「人文学」を専門に研究する本研究科では、人間性の究明を目標とし各分野における深い専門知識の修得と社会に貢献できる人材を養成することを教育研究の理念としています。

修士課程・博士課程前期では、社会の要望に応えて十分な実力を発揮できる高度な専門職業人を養成することに力を置いています。博士課程後期では、広い視野を持ちそれぞれの専門領

域において独創的かつ社会的に有用な研究を実現できる人材を養成することを目的としています。

本研究科の教員は極めて高度な研究力を有し、丁寧な個別指導で学生の様々な可能性をひきだす教育を行っています。事務の方々のきめ細やかな対応は学生支援の大きな力です。

学生アンケートでは、本研究科の魅力として教員の研究力と教育力そして希望する分野があることがあげられました。是非、人文科学研究科個別サイトに掲載している研究科動画や在学生・修了生のメッセージをご覧ください。皆さんと、広がりをもつ人文科学の世界でともに学び、人と社会の未来を拓く機会をもてることを心から願っています。

福嶋 寛之 教授

- ① 1920～60年代、近現代日本における教育を素材とした政治史・思想史
- ② 日本史

桃崎 祐輔 教授

- ① ユーラシア騎馬文化・東アジア仏教考古学・歴史考古学
- ② 考古学

森 丈夫 教授

- ① 初期アメリカにおける軍事―社会関係／アメリカ合衆国における市民社会の形成
- ② 西洋史

山根 直生 教授

- ① 中国唐宋時代史、徽州地域史・家族史
- ② 東洋史

古澤 義久 准教授

- ① 東北アジアの先史文化・中国貨幣史
- ② 考古学

山田 貴司 准教授

- ① 日本の中世後期から近世初期にかけての政治史・文化史
- ② 日本史

渡邊 裕一 准教授

- ① 中近世ヨーロッパ史、南ドイツ都市史、環境・災害史
- ② 西洋史

史学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- 室町期西国社会における大内氏の政治的位置

【修士】

- 中世門司氏の研究
- 大衆音楽の戦前・戦中・戦後——レコード作曲家古賀政男を材料に
- 文化度朝鮮通信使易地聘礼にともなう萩藩迎接体制の研究
- 18世紀末イギリスの奴隷貿易廃止運動における地方の役割——港湾都市ブリストルを中心に——
- 四乳八禽鏡の出土傾向の検討——中国と日本の例を中心に——
- 戦国期南九州の政治・文化史的都鄙関係論
- 夜臼～板付式土器における文様の地域性の検討
- 榎坂貝塚出土の獣骨と周辺貝塚出土獣骨の比較検討
- 室町期西国国人領主の政治的位置と幕府―守護体制
- 豊臣政権における秀吉側近の役割——施薬院全宗を中心に——

日本語日本文学専攻【博士課程 前期・後期】

日本語学では古代語、近代語、現代語の演習・特講が開講されています。日本文学は古典文学と近代文学に大別されます。古典文学では中古・中世・近世と、平安から江戸までの時代ごとに演習・特講が開講されており、近代文学では3人の教員が明治から現代文学まで、散文と詩歌の両ジャンルにわたって演習と特講を担当しています。また、近代文学では比較文学の特講も行われています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

江口 正 教授

- ① 言語学的手法による現代日本語の研究(方言や言語間対照を含む)
- ② 日本語学

衣畑 智秀 教授

- ① 日本語文法史、琉球語学、日琉比較・対照言語学
- ② 日本語学

高橋 昌彦 教授

- ① 江戸時代中期から後期にかけて活躍した学者たちの著述と交流
- ② 日本文学(古典)

永井 太郎 教授

- ① 日本近代の、幻想文学のテーマやイメージについての実証的研究
- ② 日本文学(近代)

中野 和典 教授

- ① 日本近代文学。特に昭和期以降の散文が主な研究対象。
- ② 日本文学(近代)

林 信蔵 教授

- ① 日本近代文学における外国語文学の影響／文学と諸芸術との相関関係
- ② 日本文学(近代)

山縣 浩 教授

- ① 共通語の歴史的背景／言文一致体の成立・展開
- ② 日本語学

須藤 圭 准教授

- ① 源氏物語、狭衣物語を中心にした作り物語の生成と享受の研究
- ② 日本文学(古典)

日本語日本文学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 『岩谷時子論』
- 『義血俠血』考

史学専攻【博士課程 前期・後期】

本専攻は、日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修に分かれ、それぞれに演習・特講・史料講読(前期)、特研・特論(後期)が開講されています。専任教員は、日本史では「政治・経済・文化各面からみた中世史・近世史」や「幕末維新期の政治・経済史」、「昭和戦中・戦後期の社会」、東洋史では「唐宋時代史」や「明清社会経済史」、西洋史では「アメリカ史」や「中近世ヨーロッパ史」、考古学では「新石器時代～中近世」や「東アジア考古学」、「貨幣史」などについて研究しています。そのほか、各専修共に古代から現代に至るまでの各分野について、非常勤の専門家による授業も開講しています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

梶原 良則 教授

- ① 幕末の対外的危機と西南地域諸藩の藩政改革
- ② 日本史

西谷 正浩 教授

- ① 日本中世史
- ② 日本史

則松 彰文 教授

- ① 中国近世の社会と経済
- ② 東洋史

英語学英米文学専攻【博士課程 前期・後期】

統語論、音韻論、意味論、歴史言語学、英米演劇、英米詩、英米小説、英語科教育法の各分野での講義や演習、特別研究が開講されています。授業担当者は英米人を含む専門研究者であり、研究活動も盛んです。院生は前期・後期ともに指導教授によるきめ細かい指導を受け、専門領域の知識を深めるとともに、学位論文の作成を目標に日々精進しています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

秋好 礼子 教授

- ① 19世紀アメリカ文学／Disability Studies、大衆文化
- ② 米文学

大島 由起子 教授

- ① ハーマン・メルヴィル文学における北米先住民表象
- ② 米文学

奥田 裕司 教授

- ① 日本における英語科教育法の実践的研究
- ② 英語教育学

久保 善宏 教授

- ① 言語の進化という観点から見た英語の普遍性と個性の解明
- ② 英語学

園田 暁子 教授

- ① イギリス・ロマン派を中心とする18世紀から19世紀の文学／著作権、出版史
- ② 英文学

竹安 大 教授

- ① 実験的手法に基づく音声学・音韻論
- ② 英語学

鶴田 学 教授

- ① シェイクスピアを中心とする近代初期英国演劇文化
- ② 英文学

ハウ, スティーブン マーク 教授

- ① Research of basic universals of human language by comparing English, African and Australian Aboriginal languages／Examination of "yes" and "no" in human communication
- ② 英語学

ピーターズ, J. M. 教授

- ① American science fiction, fantasy, and children's literature, especially concerning gender, race, and genre.
- ② 米文学

福田 慎司 教授

- ① Improving English language education in Japan
- ② 英語教育学

毛利 史生 教授

- ① 統語論と意味論のインターフェイス研究
- ② 英語学

山田 英二 教授

- ① 英語多音節語句のプロソディック分析
- ② 英語学

渡部 智也 准教授

- ① チャールズ・ディケンズを中心とする19世紀イギリス小説
- ② 英文学

英語学英米文学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- The Perception of Word Boundaries by L1 Japanese and L1 Chinese Learners of English

独語学独文学専攻【博士課程 前期・後期】

本専攻は独語学・独文学の様々な領域の研究に携わるスタッフを擁し、多彩な講義・研究指導を展開しています。独語学の分野では統語論を扱う基礎的な領域に加え、歴史社会言語学の研究指導も行っています。独文学の分野では16世紀以降の「ファウスト」文学、18・19世紀のゲーテ、グリム、世紀末のK. クラウス、20世紀ユダヤ系ドイツ文学、というように時代・ジャンルとも多様です。また、芸術、住居といった観点からの日独文化比較の研究も可能です。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

金山 正道 教授

- ① 16世紀から現代に至るファウスト文学に関する研究／ドイツ文学におけるモチーフの源泉としての聖書
- ② 独文学

ゴツィック, マーレン 教授

- ① 日本とドイツにおける美術・住居と高齢社会／比較文化・社会学
- ② 独文学

堺 雅志 教授

- ① ドイツ・オーストリア文学／19、20世紀オーストリアの文芸批評と芸術批評
- ② 独文学

富重 純子 教授

- ① 近現代のユダヤ系ドイツ語文学、およびその詩学の研究
- ② 独文学

永田 善久 教授

- ① グリム兄弟における「自然史的愛言学」の研究
- ② 独文学

森澤 万里子 教授

- ① 16世紀ニュルンベルクの都市言語研究—歴史社会言語学的観点から
- ② 独語学

片岡 宜行 准教授

- ① ドイツ語の文構造、特に自由与格と分離動詞に関する問題
- ② 独語学

平松 智久 准教授

- ① (1)近現代ドイツ文学(特にゲーテ研究)
- (2)ドイツ語教授法
- ② 独文学

ライヒャルト, アンドレ 准教授

- ① 世紀末独文学／文学理論・記号学／文学と真理の関係
- ② ヨーロッパ学・独文学

独語学独文学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- アフリカーンス語の語順をめぐる一考察—ドイツ語の語順との比較—
- ルールドイツ語—言語の位相における位置づけをめぐって—
- 近現代ドイツにおける釣り——人間中心主義と動物保護との関係性——

仏語学仏文学専攻【博士課程 前期・後期】

本専攻はフランス文化の持つ普遍性を院生諸君に身に付けてもらうべく、仏語学系は現代フランス語を主に、仏文学系は16世紀、18世紀、19世紀、20世紀を専門領域とする専任教員によって構成されており、院生の希望に沿った的確かつきめ細かな研究指導・教育が行われています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

遠藤 文彦 教授

- ① 作家作品分析を通じた現代フランス文学の理論と実践の研究
- ② 仏文学

山本 大地 教授

- ① 現代フランス語の書き言葉、話し言葉を対象とした意味論・語用論
- ② 仏語学

村石 麻子 准教授

- ① 現代フランス文学(主に小説)における作家作品研究
- ② 仏文学

川島 浩一郎 教授

- ① フランス語とくに名詞限定や時制における中和と有標無標型弁別
- ② 仏語学

井関 麻帆 准教授

- ① 18世紀フランス文学における父親像の変容
- ② 仏文学

鈴木 隆美 教授

- ① ブルースト、アルトーを中心とする19、20世紀フランス文学と哲学、恋愛表象と日仏比較文化論、舞踏論
- ② 仏文学

小池 美穂 准教授

- ① 16世紀フランス文学における教育・学問の問題
- ② 仏文学

仏語学仏文学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 『ボヴァリー夫人』におけるエマの女性像—現代中国の女性像との比較

社会・文化論専攻【修士課程】

「人間社会」分野では社会システム論(社会学)に関する演習と特講が、「人間文化」分野では文化構造論(文化人類学・民俗学)、思想文化論(哲学・宗教学)、表象文化論(芸術学)に関する演習と特講が中核になります。各専修に共通する社会・文化に関する基礎論は必修とされています。国内および国外の社会調査やフィールドワークに秀でた専門家、現場に通暁する博物館学芸員やジャーナリストを養成します。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

植野 健造 教授

- ① 日本近代美術史／芸術の諸相
- ② 表象文化論

浦上 雅司 教授

- ① 17世紀ローマの美術理論／美術作品と鑑賞者のまなざし
- ② 表象文化論

大上 渉 教授

- ① 犯罪心理学(特に捜査心理学研究)と認知心理学(応用的記憶研究)
- ② 人間性心理学

岸根 敏幸 教授

- ① 神話と宗教を中心とする思想文化研究
- ② 思想文化論

関口 浩喜 教授

- ① 言語哲学研究
- ② 思想文化論

高岡 弘幸 教授

- ① 近世日本における怪異表象変容、日本の都市の形成・発展・衰退史／怪異の民俗学・文化人類学的研究
- ② 文化構造論

中村 亮 教授

- ① 文化人類学、特にインド洋西海域および日本の漁民文化の比較研究
- ② 文化構造論

林 誓雄 教授

- ① 西洋近現代倫理学、応用倫理学
- ② 思想文化論

平田 暢 教授

- ① 合理的選択理論を用いた数理社会学的研究／産業化や地域移動の効果、コミュニティ形成等の地域社会研究
- ② 社会システム論

宮岡 真央子 教授

- ① 東アジアのエスニシティ、特に台湾先住民に関する文化人類学研究／日本の文化人類学史の研究
- ② 文化構造論

小笠原 史樹 准教授

- ① 宗教哲学研究
- ② 言語文化論

落合 桃子 准教授

- ① ドイツを中心とする近現代美術史／日欧文化交流史
- ② 表象文化論

本多 康生 准教授

- ① ハンセン病問題の社会学的研究／災害支援研究
- ② 社会システム論

松永 邦裕 教授

- ① 子どもの心理臨床(不登校、発達障害、いじめ、虐待など)
- ② 臨床心理学

村上 久美子 教授

- ① メンタルヘルスリテラシーに関する研究
- ② 心の健康教育に関する理論と実践

本山 智敬 教授

- ① エンカウンター・グループの教育分野への適用、パーソンセンタード・アプローチ
- ② 臨床心理学

山岸 賢一郎 教授

- ① 教育の理念と営為についての哲学／道徳授業と教材についての哲学
- ② 教育学

坂本 憲治 准教授

- ① 青年期・成人期の心理臨床、多職種協働、キャリアカウンセリング
- ② 臨床心理学

長江 信和 准教授

- ① インターネットを介した遠隔心理支援システムの開発
- ② 臨床心理学

満身 史織 講師

- ① コミュニティ支援、乳幼児期子育て支援
- ② 臨床心理学

教育・臨床心理専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 不登校経験の意味づけ過程とその要因—支援グループ参加者へのインタビュー調査を通して—
- 高校生の専門学校進学過程における高校と専門学校の連携に関する研究—福岡歯科衛生専門学校が主体となって取り組む高専連携プログラムに着目して—
- 大学における正課教育としてのリメディアル教育の実態
- 大学生の中途退学の現状と予防に関する研究
- 大学生の孫と介護を要する祖父母との交流に関する心理学的研究
- 医療領域における心理臨床家の職場適応に関する研究
- 地域住民が精神障害者への援助にいたる経緯とその後の経過
- 学校現場における教員と学習支援員の協働に関する研究—沖縄県国頭村を事例に—
- 自助グループで得られた被受容感が参加者に及ぼす心理的变化—不登校の子どもを持つ親の会に焦点を当てて—

教育・臨床心理専攻【博士課程 前期・後期】

高度専門職業人の養成と社会人のリカレント教育を主目的とした、仕事と両立しながら学べる夜間大学院です。前期は「教育分野」と「臨床心理分野」に分かれ、教育や臨床心理の現場に即した研究と実践のための能力を養成します。後期は教育実践学、臨床心理学の2つの部分から構成されています。前期では、教育職員専修免許状が取得可能です。特に現職教員の場合、現在取得している幼・小・中・高の一種免許状は専修免許状へ移行できます。臨床心理分野(前期)は、公認心理師の受験資格が得られます。なお、本専攻の研究・実習施設として臨床心理センターが設置されています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

伊藤 亜希子 教授

- ① ドイツ・ヨーロッパにおける異文化間教育／外国人児童生徒教育
- ② 教育学

植上 一希 教授

- ① 教育学・青年期教育論／専門学校における教育とキャリア形成
- ② 教育学

勝山 吉章 教授

- ① 西洋教育史研究及び現代日本の教育改革の動向と課題
- ② 教育学

高妻 紳二郎 教授

- ① イギリスの教育行政・学校経営・組織マネジメント
- ② 教育学

佐藤 仁 教授

- ① アメリカの教師教育・教員政策
- ② 教育学

添田 祥史 教授

- ① 社会教育、成人基礎教育、「地域づくりと教育」
- ② 教育学

田村 隆一 教授

- ① フォーカシング及び体験過程理論／臨床心理学研究法
- ② 臨床心理学

徳永 豊 教授

- ① 臨床発達心理、特別支援、コミュニケーション、注意・情動発達
- ② 臨床心理学

藤田 由美子 教授

- ① 子どもをめぐる教育言説におけるジェンダーの教育社会学的分析
- ② 教育学



法学研究科は、法学や政治学に関する高度な専門知識と能力を備えた人材の養成を目的とし、一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験などにより多様な志願者を受け入れています。

法学研究科は、公法専攻と民刑事法専攻により構成されており、それぞれの専攻に応じたカリキュラムを提供しています。少人数による対話形式で講義と演習が行われており、受講者のニーズに応じた教育と研究により、研究者、公務員、司法書士、税理士、社労士などの資格取得者として社会に貢献できる人材を送り出しています。

博士課程前期の社会人に対しては、夜間でも講義を受講できるように対応しています。

法学研究科個別サイト<https://www.law.grad.fukuoka-u.ac.jp/>を開設しています。法学研究科の詳細については、個別サイトをご覧ください。

研究科長メッセージ



法学研究科長
廣澤 孝之 教授

〔大学院での学び〕

膨大な「情報」が瞬時に世界をかけめぐる現代においては、それらの真偽を確かめ、的確に価値判断を行う知的能力がますます求められています。現代社会において道徳的に生きていくためには、無垢な心を持つだけではなくある程度知的なものを備えることが不可欠です。定められたカリキュラムを修了して一定の知識・技能を習得する学部教育とは異なり、大学院での学びは、自らの持つ「疑問」に対して「解答」を出すための学問的アプローチを学ぶことになります。問題が本質的であればあるほど容易には答えは導き出せませんが、それらにチャレンジすることは私たちが知的にそして人間的にもより成長させる糧となるでしょう。

〔法学研究科の特徴〕

本学の法学研究科は、公法専攻と民刑事法専攻の二つを有し、各分野の専門家が多様な学生のニーズに合った教育活動を展開しています。修士号取得後に博士課程後期に進み、研究者の道に進む学生もいますが、それだけでなく修了生の進路は多様です。法学研究科の修了生は、国家・地方の公務員や税務・会計の実務家、企業法務の専門家として活躍するだけでなく、地方議会議員や政策担当秘書として、また自分で会社を経営したり、NPO法人の運営に携わったりしています。学部卒の時点での就職活動とは少し異なり、より広い視点になって、自分の能力・適性や社会のニーズを的確に判断して進路を選択することができます。また一度職業生活を経験した学生や海外からの留学生もいて、幅広い世代との交流のなかで多くの刺激を受けることも多様な進路の開拓につながっています。

公法専攻【博士課程 前期・後期】

憲法、行政法、国際法、税法、経済法、法社会学、政治学などの講義・研究が、公法専攻の博士課程前期の主要科目であり、そのほかに特修科目があり、主要科目についてはすべて専任教員が担当しています。主要科目の1科目を専修科目として選択し、専修科目担当の教員を指導教員として学位論文の作成など研究一般について指導しています。博士課程後期では、憲法、行政法、国際法、法社会学、政治学の特別研究・特別講義演習を開講しています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等(前期) ③ 担当科目等(後期)

大橋 敏道 教授

- ① 日本の経済政策全体の中における、競争政策の特質
- ② 経済法研究、経済法講義Ⅱ

屋宮 憲夫 教授

- ① 独占禁止法における不公正な取引の規制について
- ② 経済法研究、経済法講義Ⅰ

折登 美紀 教授

- ① 行政上の義務履行確保、都市計画における利益調整
- ② 行政法研究、行政法講義Ⅲ
- ③ 行政法特別研究

櫛田 久代 教授

- ① アメリカ連邦制の変容
- ② 政治学研究、政治学講義Ⅰ
- ③ 政治学特別研究

小佐井 良太 教授

- ① 法社会学(死別の悲しみと法、紛争解決のあり方)
- ② 法社会学研究、法社会学講義
- ③ 法社会学特別研究

菅原 和行 教授

- ① 行政国家における官僚制の諸問題
- ② 政治学研究、政治学講義Ⅳ

萩原 一樹 准教授

- ① 条約法 持続可能な開発
- ② 国際法研究、国際法講義Ⅲ

春名 麻季 教授

- ① ドイツ基本権を比較対象とした家族法上の憲法問題と個人の尊厳
- ② 憲法研究、憲法講義Ⅳ
- ③ 憲法特別研究

東原 正明 教授

- ① 極右政党、脱原子力政策等を中心に現代オーストリア政治の研究
- ② 政治学研究、政治学講義Ⅲ、政治史講義
- ③ 政治学特別研究

廣澤 孝之 教授

- ① 福祉国家の形成に関する比較研究
- ② 政治学研究、政治学講義Ⅱ
- ③ 政治学特別研究

山下 恭弘 教授

- ① わが国訴訟を素材にした空襲被害者の損害賠償請求権に関する研究
- ② 国際法研究、国際法講義Ⅱ
- ③ 国際法特別研究

城野 一憲 准教授

- ① 表現の自由理論、憲法訴訟、アメリカ憲法
- ② 憲法研究、憲法講義Ⅰ

田中 孝和 准教授

- ① オンブズマン制度
- ② 行政法研究、行政法講義Ⅰ

芳賀 真一 准教授

- ① 租税法、国際租税法
- ② 税法研究、税法講義Ⅱ

公法専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 日本美装事件における通常人基準の考察
- 政治の世界に女性を増やすにはどうしたらよいのか
- 消費税の事業者免税点制度に関する考察—インボイス制度導入前後における諸問題—



民刑事法専攻【博士課程 前期・後期】

民法、商法、民事訴訟法、刑事法、労働法、社会保障法、国際私法、知的財産法などの講義・研究が博士課程前期の主要科目であり、そのほかに特修科目があり、主要科目についてはすべて専任教員が担当しています。主要科目の1科目を専修科目として選択し、専修科目担当の教員を指導教員として学位論文の作成など研究一般について指導しています。博士課程後期では、民法、商法、民事訴訟法、刑事法、労働法、社会保障法、国際私法の特別研究・特別講義演習を開講しています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等(前期) ③ 担当科目等(後期)

生田 敏康 教授

- ① 民法(債権法)改正 / 契約責任論
- ② 民法研究、民法講義Ⅲ

小野寺 一浩 教授

- ① 連帯思想と刑法理論、とりわけ一般的救助義務について
- ② 刑事法研究、刑事法講義Ⅱ
- ③ 刑事法特別研究

北坂 尚洋 教授

- ① 国際私法、国際民事手続法、国際取引法(特に、国際家族法)
- ② 国際私法研究、国際私法講義Ⅱ
- ③ 国際私法特別研究

下田 大介 教授

- ① 不法行為法、損害賠償、慰謝料、アメリカ不法行為法
- ② 民法研究、民法講義Ⅶ
- ③ 民法特別研究

砂田 太士 教授

- ① ベンチャー企業、事業承継、取締役の義務と責任、持分会社
- ② 商法研究、商法講義Ⅱ
- ③ 商法特別研究

所 浩代 教授

- ① 労働法(雇用平等・労働安全衛生・集団的労使関係法)
- ② 労働法研究、労働法講義Ⅰ
- ③ 労働法特別研究

畑中 久彌 教授

- ① 不法行為法の基礎理論的検討、フィンランド私法
- ② 民法研究、民法講義Ⅵ
- ③ 民法特別研究

前越 俊之 教授

- ① 証券市場から見た会社法制度の研究
- ② 商法研究、商法講義Ⅳ
- ③ 商法特別研究

牧 真理子 教授

- ① 組織再編、債権者保護、ドイツ組織再編法
- ② 商法研究、商法講義Ⅰ
- ③ 商法特別研究

道山 治延 教授

- ① 相続人資格証明制度について
- ② 民法研究、民法講義Ⅰ

蓑輪 靖博 教授

- ① 民法・環境法・アジア法(モンゴルを中心に)
- ② 民法研究、民法講義Ⅱ、英米法講義
- ③ 民法特別研究

安井 英俊 教授

- ① 現代型訴訟における証明困難の軽減
- ② 民事訴訟法研究、民事訴訟法講義Ⅰ
- ③ 民事訴訟法特別研究

山下 慎一 教授

- ① 社会保障受給権の法的権利性、社会保障の法体系論
- ② 社会保障法研究、社会保障法講義Ⅱ
- ③ 社会保障法特別研究

芥川 正洋 准教授

- ① 財産に対する犯罪
- ② 刑事法研究、刑事法講義Ⅰ

石川 友佳子 准教授

- ① 医学研究や先端医療技術に関する刑事規制
- ② 刑事法研究、刑事法講義Ⅲ

柳 景子 准教授

- ① 契約の内容規制法理(アメリカの非良心性法理)
- ② 民法研究、民法講義Ⅳ

平澤 卓人 講師

- ① 知的財産法(特に商標法と表現の自由、商標法の権利範囲)
- ② 知的財産法研究 知的財産法講義

経済学研究科

経済学研究科では、経済学の専門知識の修得とその研究能力の養成によって、経済問題に限らず、実社会の諸問題の合理的な解決や学術的な貢献のできる人材を育成することを目的に、大学院生を国内外から広く受け入れています。

研究科長メッセージ



経済学研究科長

藤本 浩明 教授

幸せな社会作りには、高度に発展した経済環境基盤が不可欠だと言われています。その基盤を実現するためには、経済システムやメカニズムを究明して、それらが効率よく機能するための政策提言などが行わなければなりません。しかし、それは、簡単な話ではありません。そのために、経済学という科学的な学問が存在していると思われしますので、本研究科の博士課程では、経済学に関する基礎的・先進的な研究を進展させる場として、より専門的な教育と研究を行います。

当該博士課程は、前期と後期の二つの課程からなります。まず、前期課程では、科学的な経済学についての専門知識と基礎的な研究能力の修得を目標として、一人前の研究者として

成長していくための準備を整えます。つまり、厳密な論理的思考力のもと、さまざまな実社会の問題を、実証的にも、最適な改善・解決ができる人材の育成を目指します。そして、後期課程では、幅広い研究課題の中から独立的に、自ら興味関心のある研究課題に挑み、最先端の研究成果をあげることが可能なように、専門分野での勉学に専念します。つまり、高度な専門知識と科学的なノウハウを有する経済分野の専門家や教育者の育成を目指します。

なお、本研究科では、前期課程・後期課程ともに、外国人留学生を積極的に受け入れる体制を構築しており、国際的に活躍できるリーダーの養成にも力を入れています。

経済学専攻【博士課程 前期・後期】

博士課程前期では、科学的な経済学に関する専門知識と基礎的な研究能力の修得を目標とし、コースワークとリサーチワークのバランスの取れた授業を行います。専門分野としては、経済史学、理論経済学、応用経済学・経済政策学、計量経済学・統計学、行動経済学・地域科学の5つありますので、大学院生は、自分の研究課題に即して科目を選び、専門的な学修に備えます。

博士課程後期では、独立した研究者に必要な不可欠であろう高度な研究ノウハウの修得と、それを後世に伝授可能な教育者にもなることを目標とし、演繹的な理論ワークに限らず、帰納的な実証ワークなど、バランスの取れた研究授業を行なっています。大学院生は、これまでの学術的な進捗状況を踏まえながら、自らの研究課題を定め、学術誌への論文掲載を目指して研究を行います。

本研究科では、国際的な研究業績を残されている教員が少なくありませんので、その指導の下、科学的な経済学の本格的研究方法を学ぶことが可能です。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

有岡 律子 教授

- ① 金融論(地域金融、金融規制、企業の会計行動など)
- ② 証券経済論

五十嵐 寧史 教授

- ① 都市自治体の情報化、電子商取引における制度的課題、暗号通貨
- ② 都市情報論

井手 豊也 教授

- ① 非貿易財をモデルに組み込む事によっての貿易理論への影響
- ② 国際貿易理論

梶井 昌邦 教授

- ① 地域科学、地域計量分析
- ② 都市システム解析

姜 文源 教授

- ① 市場と社会
- ② 社会経済学

木下 敏之 教授

- ① 地方自治体に暮らす人々が持続的に豊であるための政策を研究
- ② 地域経営論

小島 直樹 教授

- ① Finance, Contract Theory, I.O.
- ② 確率過程ファイナンス

近郷 匠 教授

- ① 協力ゲーム理論の解の特徴付け、2部マッチング理論のルール設計
- ② 協力ゲーム理論

佐藤 伸 教授

- ① 望ましい社会的選択規則の設計可能性
- ② 社会的選択理論

瀬戸林 政孝 教授

- ① 近代中国の品質マネジメントシステムと制度設計
- ② 経済史Ⅰ（東洋）

高瀬 光夫 教授

- ① 政策分析のための一般均衡シミュレーションモデルの構築
- ② 応用マクロ経済学

辰己 佳寿子 教授

- ① アジアの農村開発・発展のあり方に関する調査研究
- ② アジア経済文化相関論

玉田 桂子 教授

- ① ミクロデータを用いた教育・労働政策の評価
- ② 公共経済学

中村 由依 教授

- ① 発展途上国の貧困削減政策の理論分析
- ② 所得再分配論

西原 宏 教授

- ① 社会的ジレンマの解消について
- ② ゲーム理論

藤本 浩明 教授

- ① 最適課税の経済分析ならびに最適価格形成のリスク分析
- ② 経済数学

万 軍民 教授

- ① バブル、金融危機、土地制度、投資、R&D、イノベーション
- ② 米中日経済分析

山崎 好裕 教授

- ① 現代経済学までの歴史を数理的・計量的な側面から研究している
- ② 経済学史

李 明哲 教授

- ① 社会・都市問題へのORによるモデル分析
- ② 都市モデル解析

渡邊 淳一 教授

- ① ミクロ経済学、産業組織論
- ② 理論経済学

赤羽根 靖雅 准教授

- ① 応用ミクロ経済学、契約理論、企業金融の理論、産業組織論
- ② ミクロ経済学

江口 昌伍 准教授

- ① 環境・エネルギー効率性分析、企業の脱炭素経営に関する研究
- ② 環境経済学

岡 祐輔 准教授

- ① 地域の産業と経済の維持発展要因の分析と政策モデル構築
- ② 地域経営論

恩田 正行 准教授

- ① 個票記録を用いた政策や施策の評価
- ② 労働経済学

武井 敬亮 准教授

- ① 初期近代英国における世俗化のプロセスと啓蒙思想の展開について
- ② 社会思想史

田中 昌宏 准教授

- ① 高次元データのためのベイズ的手法の開発と応用
- ② 計量経済学

西田 圭吾 准教授

- ① 経済成長理論、開発経済学
- ② 経済動学

野澤 亘 准教授

- ① 貨幣経済学・金融経済学・環境経済学
- ② 金融論

村松 怜 准教授

- ① 日本財政史、日本税制史
- ② 経済史Ⅲ（日本）

森田 薫夫 准教授

- ① 社会的に望ましい租税・公共財供給に関する理論研究
- ② 公共政策論

山下 耕治 准教授

- ① 国と地方の財政関係に関する実証分析
- ② 財政学

秋本 清香 講師

- ① 動学マクロ経済学
- ② マクロ経済学

熊谷 惇也 講師

- ① 交通や環境の改善に伴う人々の福利への影響分析
- ② テータサイエンス

西村 道也 講師

- ① 前近代東地中海世界（特にビザンツ帝国）の経済と貨幣の歴史
- ② 経済史Ⅱ（西洋）

経済学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- Empirical Analysis of Industrial Labor Demand in China
- 中国の共同富裕政策と社会共通資本
- Economic Analysis of Military Firms
- A Study on Business Models and Supply Chains of E-commerce between China and Japan during COVID-19 Era



商学研究科は現代社会をリードし、新社会を創造する高い学識と卓越した能力を持つ人材の育成を目的に、積極的に多様な動機を持つ学生を受け入れ、ニーズに応じたカリキュラムを提供しています。

研究科長メッセージ



商学研究科長

田坂 公 教授

商学研究科は、商学（経営学を含む）を深く研究したい多様な学生のニーズに応えるため、カリキュラムの充実や入試制度の多様化を図っています。商学分野に問題意識を持ち、自己のテーマを追求する意欲のある人の入学を期待します。商学研究科では次のような学生のニーズに応えていきます。

1. 公認会計士や税理士などの専門職を目指す学生：単に資格取得だけでなく、学問的にも深い素養を持った人材の育成を目指します。

2. 留学生：外国人留学生入学試験を実施します。助けあい、支えていきます。
3. 社会人学生：生涯学習を志す方、リカレント教育を求める現役の勤労者や経営者、商業の教諭などの社会人のために、昼間のみならず夜間にも開講します。
4. 研究職を目指して進学する学生：学部の特長科目と連動した科目群の配置と専任教員による指導が受けられます。推薦制度（学部の優秀な学生を受け入れ）もあります。

商学専攻【博士課程 前期・後期】

前期には商学研究コースと経営学研究コースがあり、修了者には商学または経営学の修士号が授与されます。研究者や教育者のみならず、税理士や公認会計士など、実社会で活躍するスペシャリストの養成にも注力しており、社会人のための夜間開講も行っています。後期も含めて、院生はおおむねマンツーマンのきめ細かな研究指導と豊富な図書や設備の下で、自らの研究を深めることができます。目的が明確かつ向学心旺盛な学生、留学生、社会人の志に応えます。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

アケミク・キュチュク・アリ 教授

- ① 開発政策の実証分析
- ② アジア経済論

池田 健一 教授

- ① 国際財務報告基準（IFRS）とそれがわが国の会計に及ぼす影響について
- ② 国際会計論

伊豆 久 教授

- ① 金融危機と金融政策の国際比較
- ② 国際金融論

植村 信保 教授

- ① 保険会社等のリスク管理および健全性規制に関する研究
- ② リスクマネジメント論

永星 浩一 教授

- ① インターネットにおける市場情報の伝播とレーティング
- ② 市場分析論

掛下 達郎 教授

- ① 米英日における大手銀行のビジネスモデルはなぜ異なるのか？
- ② アメリカ経済論／比較金融システム論

合力 知工 教授

- ① 企業と社会の双方に持続的成長をもたらす経営戦略に関する研究
- ② 経営戦略論

木幡 伸二 教授

- ① 開発経済学の視点から見た中国経済の現状と課題
- ② 開発経済論

篠原 巨司馬 教授

- ① 管理会計およびマネジメント・コントロール実践の調査研究
- ② 管理会計論

杉本 宏幸 教授

- ① 中間流通のマーケティングのモデル分析
- ② マーケティング・モデル／流通論

鈴木 裕介 教授

- ① ミクロ経済学をもとにした交通政策に関する分析を行う
- ② 交通経済論

高橋 秀至 教授

- ① 租税法律主義および租税回避に関する研究
- ② 法人税法

太宰 潮 教授

- ① 消費者行動、マーケティングリサーチ、価格戦略、販売促進
- ② 消費者行動

田坂 公 教授

- ① コストマネジメント／管理会計におけるインタングブルズ研究
- ② 原価計算論

田村 馨 教授

- ① イノベーション誘発型サービスマーケティング・マネジメントの研究
- ② 流通システム論

陶 怡敏 教授

- ① グローバル・サプライチェーン・マネジメントと情報共有の効果
- ② 国際交通論

中川 誠士 教授

- ① 経営労務論、戦略的人的資源管理論、人事・労務管理
- ② ヒューマン・リソース・マネジメント

長束 航 教授

- ① 負債および無形資産に関する会計・報告・監査
- ② 会計学

弘津 真澄 教授

- ① 情報そして情報技術という側面からの流通・経営に関する研究
- ② 情報産業論

村上 剛人 教授

- ① マーケティング理論の再構築～関係性からサービズドミナントロジックへ～
- ② マーケティング論

森田 泰暢 教授

- ① 市民による知的生産活動の研究
- ② 経営組織論、シチズンサイエンス

山本 和人 教授

- ① 戦後貿易システムの研究——初期GATT・中期GATT・後期GATTからWTOの設立過程を巡って——
- ② 貿易政策

豊 嘉哲 教授

- ① EUの共通農業政策について
- ② 国際経済論

渡辺 剛 教授

- ① セグメント会計および知的財産会計を中心とした財務会計
- ② 財務会計論

飯塚 雄基 准教授

- ① 財務諸表の意義、特徴および限界について考察および議論する
- ② 財務諸表論

伊藤 豪 准教授

- ① 現代社会における危険と保険
- ② 保険論

飛田 努 准教授

- ① 企業価値評価の理論を用いて実践的学修（財務諸表分析）を行う
- ② 経営分析

林 裕 准教授

- ① アフガニスタンに焦点を当てた紛争影響国の地域社会と平和構築、開発研究
- ② 国際開発論

藤野 真 准教授

- ① 中小企業のホワイトカラーの管理について
- ② 経営管理論

本村 希代 准教授

- ① 近世・近代における商家経営
- ② 日本商業史

和田 剛明 准教授

- ① 日本の製造企業の組織能力と競争優位性について
- ② 経営学

理学研究科は、自然科学に関する研究を通して、自然と調和した社会の健全な発展に貢献するとともに、総合的で深い学識と高度な研究能力を持つ人材および専門的職業人の育成を目的としています。博士課程前期では、専門分野に関する学識を養いそれを応用する能力、博士課程後期では、自立して研究活動を遂行できる能力の育成を図っています。

研究科長メッセージ



理学研究科長

香野 淳 教授

理学は、自然や事物に関する真理を探求し、その背後に潜む普遍的な法則や原理を解き明かそうとする学問で、一般には基礎科学とされています。その言葉の響きから、現実社会や科学技術との繋がりが薄いと感じるかもしれません。しかし、スマートフォン、医療機器、治療薬など、生活や生存に欠かすことのできない製品や技術は、自然法則や数学の体系的な理解なくして実現できなかったものばかりです。また現在、私たちは大規模な自然災害、感染症などの深刻な問題に直面しています。理学はそのような問題に直接の解決策を与える学問ではありませんが、自然現象の解明を通じて問題の本質的理解に迫り、解決へと導く重要な役割があります。

理学研究科は応用数学専攻、応用物理学専攻、化学専攻、地球圏科学専攻の4専攻で構成され、それぞれに博士課程前期および後期の課程を有しています。各専攻ではそれぞれの学問分野固有の観点から自然や事物を捉え、体系的に学び、研究にチャレンジすることができます。そして、その過程で培われる洞察力、思考力、コミュニケーション力などの能力は、社会で活躍するための礎となり、生涯の財産となります。

学生の皆さんには、それぞれの知的好奇心、「なぜ?」と疑問に思う感性を大切にしたいと思います。なぜなら、それが理学の学びと研究の出発点だからです。理学研究科でそれぞれの「なぜ?」をみつけ、探求してみませんか。

応用数学専攻【博士課程 前期・後期】

代数学、位相幾何学、微分幾何学、関数解析学、微分方程式論、計画数学、関数論、確率解析、情報科学を専門領域とする専任教員によって構成され、それぞれ独自の分野を開拓し、国内外の注目を集めています。そのような教員の指導により、情報化社会に対応し得る高度な数学的知識と応用力を身に付けた人材の育成を図っています。また、中学・高等学校の専修免許を持つ教員の養成も行っています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目とテーマ(前期) ③ 担当科目とテーマ(後期)

石黒 賢士 教授

- ① 分類空間の位相構造に関する研究
- ② 位相数学特論Ⅰ(コホモロジー環、ファイバーバンドル)
- ③ 位相数学特修講義(Lie 群、分類空間のホモトピー論)

桑江 一洋 教授

- ① 対称マルコフ過程の確率解析、最適輸送理論に基づく測度距離空間上の解析学と幾何学
- ② 統計数理特論Ⅰ(ブラウン運動、伊藤積分)
- ③ 応用数理特別研究Ⅰ～Ⅵ(マルコフ過程、測度距離空間の幾何解析)

佐藤 拓 教授

- ① トーリック多様体の双有理幾何学的な研究
- ② 代数学特論Ⅰ(可換環論、代数幾何学)
- ③ 代数学特修講義(トーリック幾何学、ファノ多様体)

佐野 友二 教授

- ① ケーラー多様体上の標準計量の性質や存在問題を主なテーマとする研究
- ② 幾何学特別講義Ⅰ(可微分多様体、リーマン幾何学)
- ③ 幾何学特修講義(複素多様体、ケーラー幾何学)

島倉 裕樹 教授

- ① 頂点作用素代数の自己同型群を用いた有限群の研究
- ② 代数構造特論Ⅰ(有限群論、代数的組合せ論)
- ③ 代数学特修講義(頂点作用素代数、散在型有限単純群)

白石 修二 教授

- ① グラフにおけるマッチングに関する研究／パスカルデジタルアーカイブに関する研究
- ② 情報システム特論Ⅰ(マシンラーニング、モバイルシステム)

商学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- わが国における内部統制監査制度の改善に関する一考察～IPO前後の不正会計への対応を中心に～
- 法人税法55条に規定されない違法支出に係る損金性に関する一考察
- 循環型経済の形成のためのリパース・ロジスティクス・システムの戦略的な構築に関する研究
- フードバリューチェーンにおけるCSR一考察—中国の食品安全問題改善の探求—
- マンション管理組合員におけるプロアクティブ行動のモチベーションの変遷
- 公益法人等における収益事業課税制度に関する一考察—所得の源泉から使途に着目した課税方式への転換—
- 法人税法第34条における役員給与の損金算入規定に係る一考察—事前確定届出給与について—
- シチズン・イノベーションにおける複合施設の中の公共図書館の役割



仙葉 隆 教授

- ① 生物現象を表す微分方程式の解の性質についての研究
- ② 偏微分方程式特論Ⅰ（発散定理、拡散方程式）
- ③ 応用解析学特修講義（非線形拡散方程式、爆発解）

竹田 寛志 教授

- ① 消散項を含む発展方程式の解の定性的性質に関する研究
- ② 関数解析学特論Ⅰ（バナッハ空間、ヒルベルト空間）
- ③ 関数解析学特別研究Ⅰ～Ⅵ（漸近展開、正則性評価式）

田中 尚人 教授

- ① Navier-Stokes 方程式に対する自由表面問題の数学解析
- ② 応用解析学講義Ⅰ・Ⅱ（非線形偏微分方程式、境界値問題）
- ③ 応用解析学特修講義（Navier-Stokes 方程式、自由表面問題）

成瀬 慶明 教授

- ① 微分幾何学と大域解析学に関する研究（特に、平均曲率フローの特異点に関する研究）
- ② 現代幾何学入門Ⅰ（リーマン計量、曲率）
- ③ 幾何学特修講義（平均曲率フロー、特異点）

藤木 淳 教授

- ① パターン認識における数理的手法の情報理論的解釈及びその幾何学
- ② 情報数理特別講義Ⅰ（情報理論）
- ③ 情報数理特別研究Ⅰ～Ⅵ（情報幾何学）

松浦 望 教授

- ① 離散可積分系と幾何学的形状生成
- ② 情報数理講義Ⅰ（形状最適化）
- ③ 情報数理特別研究Ⅰ～Ⅵ（テータ関数）

天羽 隆史 准教授

- ① 確率解析学の中でも特に「伊藤の確率解析学」と通称される分野を礎とした研究
- ② 統計数理特論Ⅱ（Gauss過程、確率積分）
- ③ 応用数理特修講義（Malliavin解析、確率空間の非線形連続分解）

一木 輝久 准教授

- ① 非平衡統計力学およびその情報処理、機械学習への応用
- ② 情報数理特論Ⅱ（情報統計力学）
- ③ 数理情報特修講義（情報熱力学）

坂田 繁洋 准教授

- ① 凸関数と凸体の解析学と幾何学
- ② 関数解析学特論Ⅱ（凸関数、相加相乗平均の不等式）
- ③ 解析学特修講義（Brunn-Minkowskiの不等式とその周辺）

宮内 敏行 准教授

- ① 非安定ホモトピー論、Lie群の位相に関する研究
- ② 現代位相数学入門（ホモトピー論、一般コホモロジー論）
- ③ 位相数学特修講義（ホモトピー群、ホモトピー不変量）

林 壮一 教授

- ① 学校における科学教育、物理教育全般（教材開発やその実践的研究やICTなど）
- ② 科学教育研究特論（科学教育、物理教育）

端山 和大 教授

- ① 重力波観測を基礎に置いて、宇宙の生い立ちや天体現象を実証的に解明していくこと
- ② 物理情報計測講義Ⅰ（重力波観測、重力波の物理）
- ③ 物理情報計測特別研究（重力波観測、重力波の物理）

眞砂 卓史 教授

- ① 磁性体のスピンドYNAMIXSに関する研究、半導体の磁気応答に関する研究
- ② 磁性物理学特論（磁場、強磁性体）
- ③ ナノ物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（磁気物理、半導体物理）

御園 雅俊 教授

- ① レーザー分光学
- ② 物理情報計測講義Ⅰ・Ⅱ（光）
- ③ 物理情報計測特別研究Ⅰ～Ⅵ（光）

宮原 慎 教授

- ① 物性理論
- ② 統計力学特論（カノニカル分布、ボーズ・フェルミ統計）
- ③ 基礎物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（量子スピン系、マルチフェロイックス）

山本 大輔 教授

- ① 生体分子の動的ナノ構造解析
- ② 生物物理学特論（生体分子、分子間力）
- ③ ナノ物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（生物物理、ナノ構造動態）

大田 晃生 准教授

- ① 表面・界面の化学構造・電子状態の高感度計測及び極薄結晶の形成に関する研究
- ② 物性物理学講義Ⅰ・Ⅱ（半導体、薄膜）

大前 宣昭 准教授

- ① 光格子時計による次世代周波数標準とその測地応用等に関する研究
- ② 物理情報計測講義Ⅰ・Ⅱ（光格子時計、量子計測）

政田 洋平 准教授

- ① 非線形現象、特に宇宙における自発的秩序形成の物理の計算科学的・データ科学的研究
- ② 計測情報処理特論（計算物理・機械学習）

応用物理学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 多峰型重力波の天球位置再構成問題の提起とその解析手法
- アクションを考慮した重力崩壊型超新星爆発の親星依存性
- ニューラルネットワークによる量子スピン系の解析法
- 精密光干渉計測用高感度・高速光検出器の製作と性能評価
- フラストレート量子スピン系における量子モンテカルロ法
- 海洋資源NaClを含むペロブスカイト固溶体(NaxBa1-x)Ti(O1-x/3Clx/3)3の合成と物性測定
- Naと5族遷移金属によるヘテロ価数イオン置換をしたチタン酸バリウムの合成と物性測定

化学専攻【博士課程 前期・後期】

機能を持った物質の創成と機能を研究する物質機能化学、物理化学的諸現象を研究する構造物理化学、有機化合物の合成とその生物化学的機能を研究する有機生物化学、タンパク質や細胞、DNA等の生体分子の機能を研究する機能生物化学、ナノスケールの物質の創成と機能を研究するナノ化学、化学教育における新しい実験教材を開発・研究する化学教育学、典型元素を含む物質の合成と機能を研究する元素化学の7つの専修部門からなり、これらの専修における化学の探究を通して、化学に関するより深い知識と研究能力を身に付けた研究者や職業人の育成を図っています。

担当教員

氏名(職位)

① 研究または講義のテーマ ② 担当科目とテーマ(前期) ③ 担当科目とテーマ(後期)

勝本 之晶 教授

- ① 両親媒性高分子の構造-溶液物性相関／多相系における局所安定状態と相挙動の解析
- ② 構造物理化学特論Ⅱ（熱統計力学、高分子物理）
- ③ 構造物理化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（高分子物理化学・分子分光学）

川田 知 教授

- ① 極性空間を有するハイブリッドMOF集合体の構築
- ② ナノ化学特論Ⅰ（配位高分子、有機-無機ハイブリッド）
- ③ ナノ化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（配位高分子、MOF）

倉岡 功 教授

- ① 化学物質により生じるDNA損傷およびヒト突然変異抑制機構の解析
- ② 機能生物化学特論Ⅰ（損傷、変異）
- ③ 機能生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（損傷、変異）

応用数学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- A study on the effectiveness of data augmentation for deep learning with limited datasets（画像データセットが限られた場合に深層学習を行うためのデータ拡張の有効性に関する研究）
- Algebraic aspect of the topological irreducibility concerned with the classifying spaces of certain compact Lie groups（あるコンパクトLie群の分類空間に関する位相的既約性の代数的側面）

【修士】

- The Littlewood-Paley-Stein inequality on tamed Dirichlet space
- Invariant theory and mod p cohomology rings of some classifying spaces
- PythonによるBitcoin構築

応用物理学専攻【博士課程 前期・後期】

爆発的天体現象の研究などの宇宙物理や、磁性など物質の物性の理論的な研究に加えて、物理教育に関する実践的な研究を含む基礎物理学部門、高い機能を持つ薄膜、誘電体や、合金等の物性を研究する物性物理学部門、ナノスケールの構造を基本に半導体や微細電子材料等の物性や生物物理を研究するナノ物理学部門、レーザー分光、重力波宇宙物理学、光格子時計といった、レーザー光を利用した物理計測や情報処理を研究する物理情報計測部門などの4つの専修部門があり、高度な専門知識と広範な応用力を身に付けた人材の育成を図っています。

担当教員

氏名(職位)

① 研究または講義のテーマ ② 担当科目とテーマ(前期) ③ 担当科目とテーマ(後期)

香野 淳 教授

- ① ナノ薄膜・ナノ粒子系の構造と物性に関する研究及びナノ機能材料・機能素子の研究開発
- ② 結晶物理学特論（物質の性質と対称性、結晶構造）
- ③ ナノ物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（薄膜・ナノ構造、ナノ物性）

固武 慶 教授

- ① 超新星を始めとする爆発の高密度天体現象における中心エンジンの理論的解明
- ② 宇宙物理学特論（初期宇宙、宇宙の構造・進化）
- ③ 基礎物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（超新星爆発、輻射流体力学）

武末 尚久 教授

- ① 無機固体のエネルギー関連の機能の探索と開発
- ② X線結晶学特論（量子ビーム回折、電子顕微鏡）
- ③ 物性物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（無機固体、エネルギー）

小柴 琢己 教授

- ① 高等動物におけるミトコンドリアの構造、及びその機能的役割の解析
- ② 機能生物化学特論Ⅱ（代謝、情報伝達）
- ③ 機能生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（生理機能、自然免疫）

塩路 幸生 教授

- ① 有機化学反応を利用した細胞機能の可視化
- ② 有機生物化学特論Ⅲ（生物有機化学、ケミカルバイオロジー）
- ③ 有機生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（有機生物化学、ケミカルバイオロジー）

林田 修 教授

- ① 生命現象を分子レベルで理解するための機能性大環状分子の開発に関する研究
- ② ナノ化学特論Ⅱ（ホスト分子、分子認識）
- ③ ナノ化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（ホストゲスト化学、分子システム）

松原 公紀 教授

- ① 有機化学反応の開発研究／分子触媒の開発研究／化学反応の反応機構解明
- ② 有機生物化学特論Ⅱ（有機金属化学、均一系触媒反応化学）
- ③ 有機生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（有機金属化学、均一系触媒反応化学）

石川 立太 准教授

- ① 低次元性金属錯体の合成と固体物性に関する研究
- ② 物質機能化学特論Ⅱ（固体化学、物性化学）

栗崎 敏 准教授

- ① X線光電子分光法を用いたイオン液体中の金属イオンの溶存構造解析
- ② 物質機能化学特論Ⅰ（X線分析、溶存構造）
- ③ 物質機能化学特修講義（X線分析、分子軌道法）

長洞 記嘉 准教授

- ① 高周期典型元素を含む芳香族化合物の合成と性質解明
- ② 典型元素化学特論（典型元素化学、分子分光学）

仁部 芳則 准教授

- ① レーザー分子分光法による水素結合クラスタの研究
- ② 構造物理化学特論Ⅰ（分子軌道法、ガウシアン）

福田 将虎 准教授

- ① RNA編集機構の解明と制御／機能性RNAの設計と構築
- ② 機能生物化学特論Ⅲ（RNA編集、機能性RNA）
- ③ 機能生物化学特修講義（RNA編集、機能性RNA）

松岡 雅忠 准教授

- ① より安全かつ簡便に実践できる化学実験教材の開発研究
- ② 化学教育学特論（高校化学の体系的把握、マイクロスケール化学実験）

吉田 亨次 准教授

- ① 量子ビームを用いた液体の構造とダイナミクス研究
- ② 構造物理化学特論Ⅲ（量子ビーム科学、溶液物理化学）

地球圏科学専攻【博士課程 前期・後期】

気圏、水圏、岩石圏、生物圏から成る地球圏でのさまざまな現象を有機的・総合的・歴史的に解明する学際的な専攻であり、地球環境物理学、地球流体力学、水圏物質化学、地球変動科学、適応構造生物学、適応機能生物学の6専修で構成されています。広い視野から地球圏に関する深い知識を身に付け、自立して研究活動を行うことができる人材、および学術的素養の豊かな専門的職業人の育成を図っています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目とテーマ（前期） ③ 担当科目とテーマ（後期）

藍 浩之 教授

- ① 動物の環境適応行動と脳情報処理に関する研究
- ② 適応機能生物学特論Ⅰ（神経行動学、適応）
- ③ 適応機能生物学特別研究Ⅰ～Ⅵ（脳、進化）

岩山 隆寛 教授

- ① 地球および惑星の大気・海洋中の渦、波動、対流、乱流に関する理論的、数値実験的研究
- ② 地球流体力学特論Ⅱ（波動、対流）
- ③ 地球流体力学特別研究Ⅰ～Ⅵ（渦、乱流）

上野 勝美 教授

- ① 古－中生代有孔虫類の古生物地理とそれに基づく東アジアの地体構造発達史
- ② 地球変動科学特論Ⅲ（海水準変動、構造発達史）
- ③ 地球変動科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（層序解析、地史復元）

景浦 宏 教授

- ① 蝶の翅の紋様形成機構の解析
- ② 適応構造生物学特論Ⅱ（発生生物学、進化）
- ③ 地球圏科学特修講義Ⅰ（遺伝子発現、人類の起源）

柴田 智郎 教授

- ① 地殻変動に伴う地殻流体に関する研究
- ② 地球変動科学特論Ⅳ（地球化学、陸水学）
- ③ 地球変動科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（地球化学、陸水学）

高島 久洋 教授

- ① 地球規模・局所規模の大気質変動について観測およびデータ解析により明らかにする
- ② 地球環境物理学特論Ⅰ（大気放射、物質輸送）
- ③ 地球環境物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（リモートセンシング観測、成層圏－対流圏交換）

中川 裕之 教授

- ① 真核細胞の細胞運動におけるアクチン繊維系および微小管系細胞骨格の動態と機能
- ② 適応構造生物学特論Ⅰ（生化学、細胞生物学）
- ③ 適応構造生物学特別研究Ⅰ～Ⅵ（細胞骨格、ライブイメージング）

西 憲敬 教授

- ① 熱帯および中緯度地域の対流圏における大規模現象に関する気象学
- ② 地球流体力学特論Ⅰ（大気力学、大気波動）
- ③ 地球流体力学特別研究Ⅰ～Ⅵ（ロスビー波、季節内変動）

林 政彦 教授

- ① 地球－地域規模の環境変動に関する研究
- ② 地球環境物理学講義Ⅰ・Ⅱ（エアロゾル、物質循環）
- ③ 地球環境物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（環境変動、物質循環）

古谷 将彦 教授

- ① 植物の形態を司る分子基盤に関する研究
- ② 適応構造生物学特論Ⅲ（植物発生学、分子生物学）
- ③ 適応構造生物学特別研究Ⅰ～Ⅵ（細胞極性、植物環境応答）

三好 雅也 教授

- ① 沈み込み帯の物質循環と大規模火山活動に関する研究
- ② 地球変動科学特論Ⅰ（火山岩岩石学、地球化学）
- ③ 地球変動科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（火山岩岩石学、地球化学）

伊東 綱男 准教授

- ① 社会性昆虫コロニー内での振動コミュニケーションに関する研究
- ② 適応機能生物学特論Ⅱ（昆虫、行動）
- ③ 地球圏科学特修講義Ⅰ（ミツバチ、適応）

田上 響 准教授

- ① 古脊椎動物の比較解剖学的研究
- ② 地球変動科学特論Ⅱ（地球史、環境変遷）
- ③ 地球圏科学特修講義Ⅰ（生物史、進化）



地球圏科学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- ワモンゴキブリの湿度受容体の同定
- 青海石灰岩ボーリングコアによる後期石炭紀～前期ペルム紀の微岩相とフズリナ生層序
- 十和田八戸火砕流堆積物中の樹木年輪を用いた年代学的研究：暦年校正データの精度向上に向けて
- 非線形地衡流調節の理論的・数値実験的研究
- 熱帯収束帯でみられる巻雲の大規模発生

化学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- ペリレンジイミドで連結した水溶性シクロファン2量体の合成と超分子会合挙動
- Investigation of cellular response to a loop DNA secondary structure generated in DNA metabolisms
- RNA編集により誘起するグアニン四重鎖構造の特性解析
- ミトコンドリア内膜タンパク質の昆虫発現系の構築及び機能解析
- 銅(Ⅱ)イオンの特徴を生かした化学実験教材の開発
- New cooperation of DNA helicases in the maintenance of genome stability
- 2,3-Naphthalimides fused with benzothiophene or benzofuran: Fluorescence properties depending on solvents and host-guest complexes
- リン脂質との相互作用を有するアゾベンゼン誘導体の光異性化によるベシクルの形態変化
- ホスホニウム系イオン液体の相挙動とダイナミクス：アルキル鎖長とアニオン種および熱履歴依存性
- 細胞内レドックス状態を検出する新規蛍光分子の開発と評価
- 双安定性を有する新規Fe(Ⅲ)金属錯体の合成と性質
- Replication factor RFC interacts with nucleotide excision repair factor ERCC1-XPF
- Base preference for cleavage activity of Human Endonuclease V
- ヘビ毒メタロプロテアーゼの発現系構築と出血メカニズムの解明
- 分子内環化反応によるセレンノキサンチリウム塩の合成及び性質解明
- Replication factor RFC2 terminates nuclease activity of nucleotide excision repair factor ERCC1-XPF
- チオビリウム塩のルイス酸触媒への応用

工学研究科の博士課程前期(修士課程)は、以下に示す6専攻から構成され、工学先端技術を研究開発する場で活躍できる人材の育成を目指します。また、博士課程後期には2専攻を設置し、技術的な諸問題に対して新たな解決法を提案できる広い視野を有し、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

研究科長メッセージ



工学研究科長

佐藤 寿倫 教授

工学研究科の教育理念は、高度な専門知識の実践的活用により科学技術分野の発展に寄与する人材を育成することです。博士課程前期および修士課程は、研究や開発に携わる目標を持っている人を歓迎します。博士課程後期は、研究活動を主体的に支え社会や学術の発展に貢献することを目指す人を歓迎します。

また、働きながら学べる環境を整えており、社会人にも広く門戸を開いています。

機械工学専攻【博士課程 前期】

材料力学、流体工学、熱工学、機械設計・工作法および機械力学・制御の5専修部門からなり、専修部門ごとに専任教員が教育・研究にあたっています。本専攻では機械工学の幅広い分野にわたる基礎知識を修得させるとともに、最新の科学・技術に密着した研究を通じて総合的な問題解決能力を付けさせ、さまざまな工学的問題や社会的課題を解決できる高度な機械技術者・研究者の育成に取り組んでいます。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

岩村 誠人 教授

- ① (1)マルチボディダイナミクスとその応用
(2)ロボットシステムの軌道計画と制御
- ② 機械力学・制御

遠藤 正浩 教授

- ① (1)複雑な荷重を受ける材料の疲労強度評価
(2)試験機の設計と開発
- ② 材料力学

高尾 幸来 教授

- ① (1)低GWP冷媒を用いる冷凍空調機器内の伝熱流動特性およびオイルの影響に関する研究
(2)対向ピストンエンジンの高効率化に関する研究
- ② 熱工学

森山 茂章 教授

- ① 外科領域における医療支援技術の開発
- ② 機械設計・工作法

柳瀬 圭児 教授

- ① (1)材料力学に関する実験的および解析的研究
(2)機械学習を用いた材料開発に関する研究
- ② 材料力学

山辺 純一郎 教授

- ① 次世代エネルギー機械要素・部品の信頼性評価
- ② 機械設計・工作法

安東 洋一 准教授

- ① (1)ツインローター・クロスフロー風車の流動特性改善に関する研究
(2)乱流に関する実験的および解析的研究
- ② 流体工学

宮田 一司 准教授

- ① (1)高性能熱輸送・熱交換デバイスを実現するマイクロチャンネル内相変化現象に関する研究
(2)湿り空気の伝熱・換気に関する研究
- ② 熱工学

林 長軍 准教授

- ① (1)機械機構の最適設計
(2)ロボットシステムの最適軌道生成および制御
- ② 機械力学・制御

機械工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 受動ストレージ要素を利用した省エネルギーマニピュレータの関節構成と制御手法の検討
- SHELL MODELを用いた新たなLarge Eddy Simulation modelの開発
- 物体搬送時の操作力最小化と二関節筋の役割に関する基礎的考察
- 経路パラメータ法によるマルチボディシステムの軌道生成とゴルフスイング最適化への応用
- マルチボディダイナミクスを用いた複数台ドローンの物理的な結合方法と制御手法の検討
- マルチボディシステムの汎用的な力制御手法の開発とその介護リフトへの応用
- 粘弾性体を含むマルチボディシステムの効率的な解析手法と非線形ばねの導入による精度向上
- 機械学習を用いた微小欠陥を含む鉄鋼材料の疲労限度推定
- 数値シミュレーションを用いた内燃機関における燃料の燃焼挙動と流動特性に関する研究
- フェライト・パーライト球状黒鉛鋳鉄の水素吸蔵特性と水素脆化特性に及ぼす熱処理の影響
- SHELL MODELを用いた安定成層乱流のモデル化
- パラフィン燃料を用いたハイブリッドロケットのスケール効果に関する研究

電気工学専攻【博士課程 前期】

電気基礎、パワーエレクトロニクス、電力工学、応用電気工学の4専修で構成されています。これらには環境、情報通信、機能材料、制御システム、エネルギー変換、高電圧絶縁、レーザ応用などの分野を含みます。それぞれの分野における技術の進歩は目覚ましいものがありますが、本専攻では各専修分野間の連携を図りながら、社会の要請に応えられる人材の育成を目指しています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

江田 孝治 教授

- ① 画像の周波数解析とその応用技術に関する研究
- ② 電気基礎

小浜 輝彦 教授

- ① 電子機器用電源装置の高性能化及びその応用に関する研究
- ② 応用電気工学

篠原 正典 教授

- ① プラズマ表面相互作用、プラズマを用いたデバイス創製の研究
- ② 電力工学

住吉谷 寛 教授

- ① レーザ光による電界計測と空間での電荷担体の挙動解析
- ② 応用電気工学

西田 貴司 教授

- ① 電気電子機能材料の創成、物性解明とデバイス応用の研究
- ② 電気基礎

根葉 保彦 教授

- ① 電力変換器の開発と応用システムの研究
- ② パワーエレクトロニクス

孟 志奇 教授

- ① 電磁波の応用技術と数値解析手法に関する研究
- ② 電気基礎

高村 紀充 准教授

- ① 電力機器向けの新規絶縁材料と耐雷保護技術の研究
- ② 電力工学

辻 聡史 准教授

- ① 電気機器応用技術とセンシング技術に関する研究
- ② パワーエレクトロニクス

松岡 毅 准教授

- ① 知能ロボットの環境認識と行動決定に関する研究
- ② 応用電気工学

圓谷 友紀 助教

- ① 電磁界シミュレーションと電波応用技術に関する研究
- ② 電気基礎

電気工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 窒素ファインバブル付加菜種油の電気的特性に関する研究
- 三相PWMデュアル電流形インバータによる誘導機運転特性に関する研究
- 確率マップを用いた画像の局所的コントラスト強調法に関する研究
- 周波数領域解析法を用いた電磁波形の作成とそのデータの機械学習による均質媒質中の空隙情報の推定に関する研究
- 炭素系薄膜のプラズマ化学気相堆積における反応解析に関する研究
- ボッケルス素子を用いた電界測定に及ぼす放電で生じる空間電荷の影響
- スパイラル3次元DCT符号を用いた掌紋認証システムに関する研究
- 電流形インバータ系統電圧補償システムの構成と制御法に関する研究
- 改良型スパッタリング法によるPbTiO₃のナノ結晶育成における表面状態とアニール処理の影響

- 電流形コンバータ無効電力補償システムの動作特性に関する研究
- 人工ニューラルネットワークを用いたコンクリート中の鉄筋情報の推定に関する基礎研究
- 電力用可変容量コンデンサとそのLLC共振コンバータへの応用に関する研究

電子情報工学専攻【博士課程 前期】

集積回路、通信システム、オプトエレクトロニクス、計算機システム、情報アーキテクチャー、知能工学、情報システム開発工学、メディア工学の8分野で構成され、各分野の専任教員が半導体工学、電子回路工学、デジタル通信工学、オプトエレクトロニクス、計算機工学、ロボティクス、自然言語処理、音声・画像処理、システム・ソフトウェア工学の教育・研究を行っています。本専攻では、エレクトロニクス、通信および情報を中心に進められている技術革新を担っていくことができる高度な知識と研究能力を有する人材の育成を目指しています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

佐藤 寿倫 教授

- ① 高性能コンピュータシステムの省エネ・全安心に関する研究
- ② 計算機システム

末次 正 教授

- ① 高周波スイッチング増幅器および半導体実装に関する研究
- ② 集積回路

鈴木 孝将 教授

- ① 電子材料の物性に関するナノエレクトロニクス分野の研究
- ② 集積回路

高橋 伸弥 教授

- ① 音声・画像他、大規模データ処理技術に関する研究
- ② メディア工学

太郎丸 眞 教授

- ① デジタル無線通信方式とソフトウェア無線機の研究
- ② 通信システム

鶴田 直之 教授

- ① 人工知能および複合現実、仮想現実の研究
- ② メディア工学

中西 恒夫 教授

- ① 組込みシステムとその開発方法論に関する研究
- ② 情報システム開発工学

名倉 徹 教授

- ① 半導体集積回路に関する研究
- ② 集積回路

文仙 正俊 教授

- ① 光記録および光応用計測に関する研究
- ② オプトエレクトロニクス

モシニャガ, ワシリー 教授

- ① 計算機システムおよびコグニティブコンピューティングの研究
- ② 計算機システム

吉村 賢治 教授

- ① 自然言語処理システムの研究
- ② 知能工学

小野 晋太郎 准教授

- ① 画像センシングおよびスマートモビリティに関する研究
- ② 情報アーキテクチャ

中村 遼 講師

- ① 大規模ネットワーク・次世代ネットワークに関する研究
- ② 情報アーキテクチャ

請園 智玲 助教

- ① セキュアシステムに関する研究
- ② 計算機システム

乙武 北斗 助教

- ① 人工知能および自然言語処理に関する研究
- ② 知能工学

橋本 浩二 助教

- ① 組込み・IoTシステム、半導体設計教育に関する研究
- ② 計算機システム

三角 真 助教

- ① コンピュータネットワークに関する研究
- ② 情報アーキテクチャ

栗 達 助教

- ① 機械学習および情報推薦に関する研究
- ② 情報アーキテクチャ

電子情報工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 医療施設における認知症患者の徘徊防止システムに関する研究
- 副詞「それぞれ」を用いた並列構造を含む日本語文の構文解析に関する研究
- 多角的な地理情報を用いた分析による斜面崩壊地の自動判別に関する研究
- 尺度空間法による地形分類図の公開用データの作成に関する研究
- 電波暗室におけるMIMO伝搬計測による伝搬行列の特異値評価
- 樋門遠隔監視・制御のための太陽電池を活用した水位計測システムの長期間運用

- テキストと表の自動関連付けに関する研究
- 尺度空間法による地形分類図の公開データベースシステムの構築に関する研究
- 移動体通信におけるマルチ空間拡張法を適用した分散MIMOに関する検討
- ホログラフィックメモリにおける信号光の小型光学系を用いた高精度複素振幅変復調に関する研究
- 擬似軌道回路を用いた線路破断・在線の判断方法と位置検知手法の確立
- 心理分析用3次元仮想会議室におけるプレゼンテーション機能の高度化に関する研究
- 遠隔地樋門制御のためのLPWAを介したVR制御システムの構築実証

化学システム工学専攻【博士課程 前期】

化学システム工学専攻は、化学工学分野および分子工学分野の先端的な知識や高度な専門技術を修得し、技術者として高い能力を有し、持続可能な社会の発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念としています。この理念に基づき、バイオ燃料、超臨界流体、高機能触媒技術、触媒表面解析、高性能化学装置、生体ソフト界面制御、環境・安全制御技術、バイオ分離技術などの、先端的なテーマを専門とする専任教員が、広い視野を持つ高度な化学技術者の育成を目指しています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

加藤 勝美 教授

- ① 化学災害の防止に向けた安全学的研究
- ② 化学安全工学

久保田 純 教授

- ① エネルギー関連触媒とその表面機能に関する研究
- ② 応用触媒化学

重松 幹二 教授

- ① バイオマテリアルの化学変換と安全工学に関する研究
- ② 反応工学

新戸 浩幸 教授

- ① 細胞と生体関連材料の界面現象に関する基礎研究
- ② 界面プロセス工学

鈴川 一己 教授

- ① 実験計測及びCFDによる攪拌槽等の化学装置の流動研究
- ② 化工流体工学

野田 賢 教授

- ① 化学プラントの監視制御システムに関する研究
- ② プロセスシステム工学

松隈 洋介 教授

- ① 輸送現象論に基づく化学装置の高性能化に関する研究
- ② 移動現象工学

三島 健司 教授

- ① 高圧力技術を用いた機能性材料創製に関する研究
- ② 複合材料

加藤 貴史 准教授

- ① 機能性無機材料を用いた環境調和型システムの開発に関する研究
- ② 工業無機化学

瀬戸 弘一 准教授

- ① 生体模倣高分子の合成とバイオ分離材料への応用に関する研究
- ② 工業化学・高分子

吉原 直記 助教

- ① データ駆動型材料開発に関する研究
- ② プロセスシステム工学

化学システム工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- ヘッダー部側面から流入するガスのハニカムと充填層の流動均一化
- カテコール基含有糖鎖誘導体を利用した生体結合性材料の開発
- 二酸化炭素の電気化学的還元を用いるリグニン由来炭素電極の合成
- 糖水溶液におけるファインバブルの発生
- 繊維に収着したアロマオイルの引火点降下
- エタノール発酵に対するキノコ菌糸体の添加効果
- 金属が配位した1H-1,2,3-トリアゾールの熱分解挙動
- 機械学習モデルを利用した化学気相蒸着法による単結晶グラフェン拡大合成
- パージンポリプロピレンの力学物性及び内部構造に与えるせん断緩和機構のメカニズム解析
- 芳香成分の保湿剤への溶解性と揮発速度に対するセルロースナノファイバーの添加効果
- 特殊ブレーカープレートによる押出成形がポリエチレンの力学特性に及ぼす影響

建設工学専攻【博士課程 前期】

住む、働く、憩う、動くなど、社会の多様な活動を支える空間や施設の整備を担う建設技術は、安心・安全の確保、環境との調和が不可欠であり、激しい自然災害に見舞われる現代社会において、より一層の高度化が求められています。本専攻は、そうした難問に積極的に取り組むことのできる高度な研究者、技術者、デザイナーの育成を目指しており、建築学と社会デザイン工学(土木工学)を専門とする教員が、幅広い分野の研究と教育を行っています。なお、一級建築士試験の実務経験要件を満たす科目も開講しています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

穴井 謙 教授

- ① 都市・建築空間における音・光環境の予測評価手法と対策技術に関する研究
- ② 建築学

池添 昌幸 教授

- ① 住宅および建築のストックマネジメントに関する研究
- ② 建築学

堺 純一 教授

- ① 建築構造物の弾塑性挙動と構造性能評価法に関する研究
- ② 建築学

佐藤 研一 教授

- ① 液状化、軟弱地盤、地盤環境問題への対策、舗装技術に関する研究
- ② 社会デザイン工学

柴田 久 教授

- ① 景観や公共施設のデザインに関する研究
- ② 社会デザイン工学

高山 峯夫 教授

- ① 免震・制震技術を使った応答制御構造に関する研究
- ② 建築学

太記 祐一 教授

- ① 歴史的な都市空間とそれを構成する建築物に関する研究(東地中海沿岸を中心に)
- ② 建築学

辰巳 浩 教授

- ① 都市交通と地域活性化のためのまちづくりに関する研究
- ② 社会デザイン工学

趙 翔 教授

- ① 人間行動と空間の関係に関する研究と建築空間のデザイン
- ② 建築学

村上 哲 教授

- ① 豪雨・地震による地盤災害の予測手法の高度化と防止・軽減技術に関する研究
- ② 社会デザイン工学

吉澤 幹夫 教授

- ① 安全で安心な建築空間を創造する構造設計に関する実践的な研究
- ② 建築学

渡辺 浩 教授

- ① 木質資源の外構材への有効利用と木橋への適用性に関する研究
- ② 社会デザイン工学

渡辺 亮一 教授

- ① 都市内水循環および生態系再生に関する研究
- ② 社会デザイン工学

田中 照久 准教授

- ① 建築構造物の耐震技術と性能設計法に関する研究
- ② 建築学

塚越 雅幸 准教授

- ① 建築部材の耐久性評価および予測と補修・補強に関する研究
- ② 建築学

橋本 彰博 准教授

- ① 流域・沿岸域における防災・減災および環境保全に関する研究
- ② 社会デザイン工学

樋原 弘貴 准教授

- ① コンクリート構造物の高耐久化と維持管理技術に関する研究
- ② 社会デザイン工学

宮崎 慎也 准教授

- ① 持続可能な都市形態と社会システムに関する研究
- ② 建築学

四ヶ所 高志 助教

- ① 現代建築の空間構成と建築設計論の関係に関する研究
- ② 建築学

下妻 達也 助教

- ① 構造解析による橋梁の力学的挙動の解明に関する研究
- ② 社会デザイン工学

田部井 優也 助教

- ① 安心安全に暮らせる交通まちづくりに関する研究
- ② 社会デザイン工学

野口 雄太 助教

- ① 伝統的建造物および農村景観の保全に関する計画学的研究
- ② 建築学

野田 りさ 助教

- ① 都市における持続可能な福祉空間デザインに関する研究
- ② 建築学

藤川 拓朗 助教

- ① 副産物・廃棄物の地盤工学的有効利用と環境安全性の評価に関する研究
- ② 社会デザイン工学

松永 一郎 助教

- ① 街路や都市空間の景観に関する研究
- ② 建築学

建設工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 遊休地から広場への空間改変がもたらす精神医療活動への効用に関する考察
- 認知機能低下高齢者の散歩を促す屋外環境に関する基礎的研究
- アスファルト舗装の長寿命化を考慮した路盤内ジオシンセティックス敷設工法の開発
- パーリングシアコネクタによる鋼とコンクリート間の応力伝達に関する研究—各種因子がずれ止めの挙動に及ぼす影響と耐力評価法の提案—
- 建築系雑誌から見る社員食堂の歴史に関する研究
- 鉄骨梁とコンクリート床スラブの再利用を可能にする接合分離技術の設計・施工法に関する研究
- 管理者直営補修の実践に向けた補修技能及び性能評価
- ロヒンギャ難民キャンプに見る地域性と形成プロセス
- 九州における建設廃棄物処理の地域特性に関する研究—長崎県の離島を対象に—
- 脱水ケーキを用いた自己修復性を有する高機能遮水材の設計法の提案
- 自転車の車道走行が自動車の走行挙動に及ぼす影響に関する研究—2車線及び4車線道路を対象に—
- UAVによる森林精密測量の手法の検討
- 構成主義を中心とするロシア・アヴァンギャルド建築の後世への影響—1970年以降の建築雑誌にみる日本の建築家からの視線についての研究—
- 木造単層ラチスドームの構造設計法に関する研究—接合部の剛性を評価する方法の考察—
- カーボンニュートラルを考慮した竹チップSCP中詰材の開発
- 小学校の立地環境からみる子どもの遊び場に関する研究—福岡市内の小学校5校の校区の比較—

エネルギー・環境システム工学専攻【博士課程 後期】

本専攻は、熱エネルギー工学、電気エネルギー工学、都市環境工学、環境材料工学、環境プロセス工学および資源循環システム工学の6専修から構成され、エネルギー問題解決のためのエネルギーの生成・変換・伝達および輸送に関する研究と、環境問題に対処するための環境適合化学システムの構築、廃棄物の処理・再資源化技術、さらに環境悪化を防止あるいは改善する機能性材料の研究などを通じて学際的研究を推進しています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

穴井 謙 教授

- ① 都市・建築空間における音・光環境の予測評価手法と対策技術に関する研究
- ② 都市環境工学

池添 昌幸 教授

- ① 地域・住宅地の再生と次世代型モデルに関する研究
- ② 都市環境工学

遠藤 正浩 教授

- ① 複雑な荷重を受ける材料の疲労強度評価
- ② 環境材料工学

加藤 勝美 教授

- ① 化学物質および化学プロセスの発火・爆発危険性に関する研究
- ② 環境プロセス工学

木下 幸治 教授

- ① 社会インフラの環境負荷低減を可能とするエコ・リニューアル工法に関する研究
- ② 都市環境工学

久保田 純 教授

- ① エネルギー技術に関する触媒開発と、その表面の機能に関する研究
- ② 環境プロセス工学

堺 純一 教授

- ① 建築構造物の弾塑性挙動と構造性能評価法に関する研究
- ② 都市環境工学

佐藤 研一 教授

- ① 各種廃棄物の地盤への適用と新しい舗装技術の開発
- ② 都市環境工学

重松 幹二 教授

- ① 生物の機能と特徴を活かした環境に優しい材料の開発
- ② 環境プロセス工学

篠原 正典 教授

- ① プラズマ表面相互作用、プラズマを用いたデバイス創製の研究
- ② 電気エネルギー工学

柴田 久 教授

- ① 景観や公共施設のデザインに関する研究
- ② 都市環境工学

新戸 浩幸 教授

- ① ナノマテリアルの生体・環境影響に関する基礎研究
- ② 環境プロセス工学

鈴木 慎也 教授

- ① (1)生活系廃棄物・災害廃棄物の発生抑制に関する研究
- (2)廃棄物埋立地における汚染物質の挙動とその制御に関する研究
- ② 資源循環システム工学

住吉谷 覚 教授

- ① レーザ光による空間電磁界ベクトル計測に関する研究
- ② 電気エネルギー工学



高尾 幸来 教授

- ① (1)低GWP冷媒を用いる冷凍空調機器内の伝熱流動特性およびオイルの影響に関する研究
- (2)対向ピストンエンジンの高効率化に関する研究
- ② 熱エネルギー工学

高山 峯夫 教授

- ① 免制震技術を用いた応答制御構造と各種デバイスの開発
- ② 都市環境工学

辰巳 浩 教授

- ① 快適で持続可能な交通・都市システムに関する研究
- ② 都市環境工学

田中 綾子 教授

- ① 廃棄物中の有害物質の特性と生物化学的処理技術に関する研究
- ② 資源循環システム工学

趙 翔 教授

- ① 人間行動と空間の関係に関する研究
- ② 都市環境工学

野田 賢 教授

- ① システムズアプローチによる環境配慮型プロセスの開発
- ② 環境プロセス工学

松隈 洋介 教授

- ① 二酸化炭素排出削減に関連した化学装置の開発・高性能化
- ② 環境プロセス工学

村上 哲 教授

- ① 地盤災害の予測手法の高度化と防止・軽減技術に関する研究
- ② 都市環境工学

森山 茂章 教授

- ① 高機能で長寿命な人工関節の開発
- ② 環境材料工学

柳瀬 圭児 教授

- ① 材料力学に関する実験的および解析的研究
- ② 環境材料工学

山辺 純一郎 教授

- ① 脱炭素社会実現に向けた部材の強度設計に関する先進的研究
- ② 環境材料工学

山本 俊浩 教授

- ① 環境負荷低減を目指す複合材料の強度評価に関する研究
- ② 資源循環システム工学

吉澤 幹夫 教授

- ① 安全で持続可能な都市環境を実現する建築構造技術に関する研究
- ② 都市環境工学

渡辺 浩 教授

- ① 木質資源の外構材への有効利用と木橋への適用性に関する研究
- ② 都市環境工学

渡辺 亮一 教授

- ① 都市内水循環および生態系再生に関する研究
- ② 都市環境工学

為田 一雄 准教授

- ① 廃棄物処理処分のトータルシステムに関する研究
- ② 資源循環システム工学

樫原 弘貴 准教授

- ① コンクリート構造物の高耐久化と維持管理技術に関する研究
- ② 都市環境工学

高橋 伸弥 教授

- ① 音声・画像・大規模データの人工知能応用技術に関する研究
- ② 情報処理工学

太郎丸 眞 教授

- ① デジタル無線通信システムとソフトウェア無線機の回路と信号処理に関する研究
- ② 情報伝送工学

鶴田 直之 教授

- ① 人工知能および複合現実、仮想現実の研究
- ② 情報処理工学

中西 恒夫 教授

- ① 組込みシステムとその開発方法論に関する研究
- ② 情報処理工学

名倉 徹 教授

- ① 半導体集積回路に関する研究
- ② 機能デバイス工学

根葉 保彦 教授

- ① 電力変換器の開発と応用システムの研究
- ② システム制御工学

文仙 正俊 教授

- ① 光情報記録、光情報処理や光計測に関する研究
- ② 機能デバイス工学

三島 健司 教授

- ① 高圧力技術を用いた機能性材料創製に関する研究
- ② 機能デバイス工学

孟 志奇 教授

- ① 電磁波の応用技術と数値解析手法に関する研究
- ② 情報伝送工学

モシニャガ, ワシリー 教授

- ① サイバーフィジカルシステムに関する研究
- ② 情報処理工学

吉村 賢治 教授

- ① 自然言語処理システムの研究
- ② 情報処理工学

情報・制御システム工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- ハラスメント検出に向けた主観ストレスの異なる被害者の心拍変動パターン分析

資源循環・環境工学専攻【修士課程】

本専攻は、資源とエネルギー制約の下、循環型社会の実現に必要な人材を育成することを目指しています。資源循環工学、環境化学制御、環境生態制御、地域環境、環境マネジメント、及び東アジア文化環境の6専修で構成され、文系及び理系を専門とする教員による文理横断的な教育を行っています。なお、本専攻は工学研究科に設置されていますが、文理融合型の大学院として出身の学部・学科を問わず、社会人や留学生を含め、広く門戸を開いています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

大澤 武司 教授

- ① 日中関係における資源・環境問題の歴史学・政治学的アプローチによる研究
- ② 東アジア文化環境

木下 幸治 教授

- ① 社会インフラの環境負荷低減を可能とするエコ・リニューアル工法に関する研究
- ② 資源循環工学

鈴木 慎也 教授

- ① (1)生活系廃棄物・災害廃棄物の発生抑制に関する研究
- (2)廃棄物埋立地における汚染物質の挙動とその制御に関する研究
- ② 環境生態制御

田中 綾子 教授

- ① 廃棄物管理における環境管理と環境汚染リスク低減に関する研究
- ② 環境生態制御

柳橋 泰生 教授

- ① 環境マネジメントのあり方及び手法に関する研究
- ② 環境マネジメント

山本 俊浩 教授

- ① (1)環境負荷低減を目指した高分子系複合材料の開発研究
- (2)循環型社会を目指したリサイクルに関する基礎的研究
- ② 資源循環工学

武下 俊宏 准教授

- ① (1)埋立廃棄物から生じる硫黄化合物の発生制御に関する研究
- (2)廃水の微生物処理(廃食油由来の有機物を用いた脱窒素および嫌気性消化によるメタン生産)に関する研究
- ② 環境化学制御

為田 一雄 准教授

- ① (1)廃棄物管理(処理・処分・資源化)に関する研究
- (2)環境修復(土壌汚染・最終処分場早期安定、再生・不法投棄)に関する研究
- ② 地域環境

情報・制御システム工学専攻【博士課程 後期】

本専攻は、情報処理工学、情報伝送工学、システム制御工学、機能デバイス工学の4専修で構成されています。知的情報処理、言語工学、音声情報処理、システム／ソフトウェア工学、デジタル通信工学を含む情報伝送、電磁波工学、光情報処理、パワー半導体を用いた電力変換、ロボット制御に関する研究、さらにシステムをハード面で支える各種機能素子の研究などを複数の専門領域から多角的に展開しています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

岩村 誠人 教授

- ① マルチボティダイナミクス理論の開発とそのロボティクスへの応用に関する研究
- ② システム制御工学

江田 孝治 教授

- ① 画像を用いたセキュリティシステムに関する研究
- ② 情報処理工学

小浜 輝彦 教授

- ① スイッチング電源およびアナログ回路に関する研究
- ② システム制御工学

佐藤 寿倫 教授

- ① 高性能・低電力・高信頼性システムアーキテクチャの研究
- ② 情報処理工学

末次 正 教授

- ① (1)高周波スイッチング増幅器に関する研究
- (2)半導体実装に関する研究
- (3)機能性デバイスに関する研究
- ② 機能デバイス工学

鈴木 孝将 教授

- ① 電子材料の物性に関するナノエレクトロニクス分野の研究
- ② 機能デバイス工学

資源循環・環境工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 水道水質に係る気候変動適応策の効果に関する研究
- 廃棄物埋立層内におけるスケール形成と重金属安定性との関係に関する研究
- 高炉スラグ微粉末と再生骨材を用いた低炭素型コンクリートの開発に関する研究
- 排ガス処理脱塩剤が焼却残渣最終処分に与える影響に関する研究

医学研究科は、豊かな人間性、協調性および積極性を持ち、研究能力を培うとともに特定の専門分野において深い研究を行い得る研究者の養成、臨床研究者として優れた研究能力を備えた医師・看護師等の養成を目的としています。

研究科長メッセージ



医学研究科長
高松 泰 教授

医学研究科では、医学や看護学に関する高度な専門的知識・技術を習得し、社会に貢献できる医療従事者の育成を目指しています。

博士課程(医学)は、人体生物系、生体制御系、病態構造系、病態機能系、社会医学系、先端医療科学系の6つの専攻分野があり、医学・生命科学等に関する基礎研究、および病態の解明、診断法や治療成績の向上を目指した臨床研究を行っています。またがん治療を専門とする医療者の育成を目的に、がんプロフェッショナル養成コースを設置しています。基礎教育課程として研究に必要な医学知識、研究倫理、統計学、および

英語力スキルアップゼミを開設しています。

修士課程(看護学)では、看護学に関する高度な専門的知識・探求力を持ち、責務が拡大する保健・医療チームで広く活躍できる専門職業人を養成しています。修士論文コース、臨床に即した実習・演習を行う高度実践看護師コースが選択できます。

国際学術交流の一環として、韓国啓明大学と大学院生、教員レベルで交流を行っています。講義はe-learningを用いて学外からの受講も可能です。社会人、他学部卒業生、障がいのある人、留学生等も広く受け入れ、多様な人材が研究を行うことができる環境整備に取り組んでいます。

人体生物系専攻【博士課程】

生体構造学、分子細胞生物学、細胞分子制御学を専門領域とする教員によって構成され、人間の生物としての基本となる構造や働きについて分子から多階層システムにわたる研究を進めています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

白澤 専二 教授

- ① 分子腫瘍学、ゲノム制御、細胞分化
- ② 分子細胞生物学

立花 克郎 教授

- ① 医用生体工学、DrugDeliverySystem、超音波医科学
- ② 生体構造学

藤田 孝之 教授

- ① 循環調節、自律神経機能、細胞死制御
- ② 細胞分子制御学

石倉 周平 准教授

- ① 分子生物学、細胞生物学、蛋白生化学
- ② 分子細胞生物学

貴田 浩志 准教授

- ① 中枢神経、ドラッグデリバリーシステム、遺伝子治療
- ② 生体構造学

角田 俊之 准教授

- ① 分子腫瘍学、癌の分子標的療法、薬物送達法
- ② 分子細胞生物学

遠藤 日富美 講師

- ① 腫瘍免疫、超音波医学、遺伝子治療
- ② 生体構造学

土井 佳子 講師

- ① 分子細胞生物学、遺伝子機能
- ② 分子細胞生物学

フェリル, ロリト 講師

- ① 基礎放射線医学、超音波医科学、アポトーシス
- ② 生体構造学

本田 啓 講師

- ① 分子細胞生物学、細胞内情報伝達、セカンドメッセンジャー
- ② 細胞分子制御学

吉田 和真 講師

- ① 分子生物学、細胞生物学、染色体生物学
- ② 分子細胞生物学

小柳 緑 教育嘱託

- ① 組織学、形態・構造
- ② 分子細胞生物学

生体制御系専攻【博士課程】

生体防御学、再生・移植医学、呼吸病態生理学、再生再建外科学を専門領域とする教員によって構成され、ヒトに対して病原性を持つ微生物および動物の感染と、それに対する人体の免疫応答システム、移植免疫や再生医療についての研究を進めています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

石井 寛 教授

- ① 呼吸器病学、臓器線維症、胸部画像
- ② 呼吸病態生理学

小玉 正太 教授

- ① 再生医学・再生医療、組織・細胞移植、移植外科・移植免疫
- ② 再生・移植医学

高木 誠司 教授

- ① 創傷治癒、微小血液循環、頭蓋顎顔面外科
- ② 再生再建外科学

廣松 賢治 教授

- ① 感染免疫、病原微生物の宿主応答からのエスケープ機構、CD1分子ー糖脂質抗原提示分子
- ② 生体防御学

藤田 昌樹 教授

- ① 呼吸器病学、呼吸器感染症、非結核性抗酸菌症
- ② 呼吸病態生理学

井上 博之 准教授

- ① 呼吸器病学、腫瘍免疫、遺伝子治療
- ② 呼吸病態生理学

坂田 直昭 准教授

- ① 再生医学、移植、細胞生物学
- ② 再生・移植医学

濱田 直樹 准教授

- ① 呼吸器病学、急性肺損傷、肺線維化
- ② 呼吸病態生理学

吉松 軍平 准教授

- ① 自然免疫、消化器外科、大腸
- ② 再生・移植医学

石井 一成 講師

- ① 感染免疫(感染防御機構とエスケープ機構)、細胞内寄生病原体、熱帯医学
- ② 生体防御学

伊藤 竜太 講師

- ① 細菌学、抗菌性物質、感染免疫
- ② 生体防御学

大山 拓人 講師

- ① 創傷治癒のメカニズム、細胞増殖因子、慢性創傷
- ② 再生再建外科学

尾鶴 亮 講師

- ① 細菌感染症、脂質代謝異常症、検査自動化
- ② 生体防御学

清水 章文 講師

- ① 感染免疫、クラミジア感染症、細菌遺伝学
- ② 生体防御学

田中 智子 講師

- ① 再生・移植医学、内分泌学、分子細胞生物学
- ② 再生・移植医学

伴 文武 講師

- ① 感染免疫、マクロファージ、脂肪酸結合タンパク質
- ② 生体防御学

吉村 芳修 講師

- ① クラミジア、感染免疫
- ② 生体防御学

生体制御系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- Differentiation of human adipose tissue-derived mesenchymal stromal cells into steroidogenic cells by adenovirus-mediated overexpression of NR5A1 and implantation into adrenal insufficient mice (NR5A1によるヒト脂肪組織由来間葉系細胞からステロイド産生細胞への分化誘導と副腎不全マウスへの移植研究)
- Establishment of a simple, reproducible and long-lasting hind limb animal model of lymphedema (簡便で再現性が高く、長期間持続する後肢リンパ浮腫動物モデルの確立)

病態構造系専攻【博士課程】

形態病理学、腫瘍病理学、高次中枢病態学、視覚病態学、腎・尿路病態学、消化器病態学、脳神経病態学、腎免疫・代謝病態学を専門領域とする教員によって構成され、人体の微細構造とその病的状態、各種疾患の発症機序および治療法についての研究を進めています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

安部 洋 教授

- ① 脳神経外科、脳血管障害、脳腫瘍
- ② 高次中枢病態学

内尾 英一 教授

- ① 眼アレルギー疾患、ウイルス性眼感染症、角膜移植と免疫反応
- ② 視覚病態学

二村 聡 教授

- ① 病理形態学、肉眼病理診断学、消化管病理診断学
- ② 形態病理学

羽賀 宣博 教授

- ① 泌尿器科学、前立腺がん、排尿機能
- ② 腎・尿路病態学

馬場 康彦 教授

- ① 神経変性疾患、バイオマーカー、ニューロモジュレーション治療
- ② 脳神経病態学

濱崎 慎 教授

- ① 呼吸器病理学、呼吸器腫瘍学、病理診断学
- ② 腫瘍病理学

久部 高司 教授

- ① 消化器系疾患、大腸疾患、消化管腫瘍
- ② 消化器病態学

升谷 耕介 教授

- ① 腎臓病学、透析医学、腎移植
- ② 腎免疫・代謝病態学

八尾 建史 教授

- ① 消化器内科学、内視鏡、画像診断
- ② 消化器病態学

石井 龍 准教授

- ① 尿路変向術、泌尿器科悪性腫瘍、癌化学療法
- ② 腎・尿路病態学

上杉 恵子 准教授

- ① 腎病理、腎炎、糖尿病性腎症
- ② 腫瘍病理学

尾崎 弘明 准教授

- ① 眼科学、網膜硝子体疾患、血管新生
- ② 視覚病態学

濱田 義浩 准教授

- ① 人体病理学、辟疾患、胆道疾患
- ② 形態病理学

久富 智朗 准教授

- ① 網膜硝子体疾患、網膜の細胞生物学・病理学、手術用薬剤・機器開発
- ② 視覚病態学

三嶋 崇靖 准教授

- ① パーキンソン病、パーキンソン病関連疾患、遺伝性神経疾患
- ② 脳神経病態学

三宅 勝久 准教授

- ① 膠原病学、臨床免疫学、サイトカイン
- ② 腎免疫・代謝病態学

安野 哲彦 准教授

- ① 腎臓内科学、感染症内科学、膠原病
- ② 腎免疫・代謝病態学

青木 光希子 講師

- ① 人体病理学、乳腺腫瘍
- ② 腫瘍病理学

伊藤 建二 講師

- ① 慢性腎臓病、脂質異常症、最終糖化産物(AGEs:Advanced glycation endproducts)
- ② 腎免疫・代謝病態学

小野 陽一郎 講師

- ① 消化器内科学、消化管形態学、食道疾患
- ② 消化器病態学

金光 高雄 講師

- ① 早期胃癌、慢性胃炎、画像強調内視鏡
- ② 消化器病態学

古賀 佳織 講師

- ① 人体病理学、皮膚病理、皮膚腫瘍
- ② 腫瘍病理学

高津 典孝 講師

- ① 炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病
- ② 消化器病態学

中村 信之 講師

- ① 泌尿器科学、腎臓移植、移植免疫
- ② 腎・尿路病態学

松崎 洋吏 講師

- ① 腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療、腎細胞癌に対する分子標的薬治療、腎細胞癌の薬剤耐性メカニズム
- ② 腎・尿路病態学

宮岡 正喜 講師

- ① 早期胃癌の診断、拡大内視鏡診断、早期胃癌の治療
- ② 消化器病態学

病態機能系専攻【博士課程】

細胞分子薬理学、神経耳科学、関節機能学、運動器機能学、循環機能学、放射線応用医学、脳卒中予防・地域医療学、麻酔学、救命救急医学、口腔病態学を専門領域とする教員によって構成され、生体機能の仕組みとその病的変化についての研究を進めています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

秋吉 浩三郎 教授

- ① 麻酔、循環管理、周術期管理
- ② 麻酔学

伊崎 輝昌 教授

- ① 運動器病学、バイオメカニクス、肩関節疾患
- ② 運動器機能学

岩本 隆宏 教授

- ① イオン輸送体・チャネル、心血管・脳神経疾患、疾患モデルマウスの創薬応用
- ② 細胞分子薬理学

近藤 誠二 教授

- ① 口腔疾患、口腔機能、血管新生
- ② 口腔病態学

坂田 俊文 教授

- ① 耳鼻咽喉科学、聴覚異常感(耳鳴、他)、神経耳科学
- ② 神経耳科学

柴田 陽三 教授

- ① 肩のスポーツ障害、肩関節不安定症の病態と生理、肩腱板断裂の病態と生理
- ② 運動器機能学

仲村 佳彦 教授

- ① 敗血症、外傷、急性期脳梗塞
- ② 救命救急医学

東 登志夫 教授

- ① 脳卒中の外科治療、脳神経血管内治療、脳卒中予防
- ② 脳卒中予防・地域医療学

山本 卓明 教授

- ① 整形外科、股関節疾患、骨壊死
- ② 関節機能学

吉満 研吾 教授

- ① 腹部画像診断、CT、MR
- ② 放射線応用医学

和田 秀一 教授

- ① 心臓血管外科、大動脈瘤、体外循環
- ② 循環機能学

梅本 丈二 准教授

- ① 摂食嚥下、老年歯学、睡眠時無呼吸
- ② 口腔病態学

鎌田 聡 准教授

- ① ロコモティブシンドローム、サルコペニア
- ② 関節機能学

木下 浩一 准教授

- ① 臼蓋形成不全、骨切り術、人工股関節全置換術
- ② 関節機能学

桑原 豪 准教授

- ① 心臓血管外科、大動脈瘤、大動脈解離
- ② 循環機能学

重松 研二 准教授

- ① 呼吸管理、敗血症
- ② 麻酔学

高野 浩一 准教授

- ① 神経画像診断、脊椎画像診断、脳血管障害の診断
- ② 放射線応用医学

高山 幸久 准教授

- ① 胸部部画像診断、インターベンショナルラジオロジー(IVR)、Magnetic Resonance Imaging(MRI)
- ② 放射線応用医学

津川 潤 准教授

- ① 神経内科学、脳血管障害、臨床神経生理学
- ② 脳卒中予防・地域医療学

新居 浩平 准教授

- ① 脳血管障害、脳卒中の外科、脳血管内治療
- ② 脳卒中予防・地域医療学

根本 隆行 准教授

- ① 細胞内シグナル伝達、イオンチャネル、細胞骨格制御
- ② 細胞分子薬理学

前山 彰 准教授

- ① 整形外科、膝関節疾患、スポーツ障害
- ② 関節機能学

森下 雄一郎 准教授

- ① 脊椎加齢変化、腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症
- ② 関節機能学

喜多 知 講師

- ① 褐色脂肪細胞の熱産生機構、肥満関連疾患の創薬研究、イオン輸送体の電気生理学
- ② 細胞分子薬理学

喜多 涼介 講師

- ① 歯科口腔外科学、口腔粘膜、顎変形症
- ② 口腔病態学

小松 知広 講師

- ① 脂質代謝、分子骨格筋学、トランスポーター
- ② 細胞分子薬理学

篠田 康晴 講師

- ① 神経変性疾患、虚血性心疾患、循環障害
- ② 細胞分子薬理学

末田 尚之 講師

- ① 頭頸部外科学、内耳生理学、頭頸部癌の化学療法
- ② 神経耳科学

瀬戸 美夏 講師

- ① 歯科麻酔学、自律神経活動
- ② 口腔病態学

三橋 泰仁 講師

- ① 耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学、鼻科学
- ② 神経耳科学

吉野 綾 講師

- ① 口腔機能、生体材料学、医理工連携
- ② 口腔病態学

病態構造系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- Evaluation of perception threshold and pain in patients with Parkinson's disease using PainVision® (PainVision® を用いたパーキンソン病患者の疼痛評価と電流知覚閾値の検討)
- Pooled blood volume measured by final flat-panel detector computed tomography predicts outcome after endovascular thrombectomy for acute ischemic stroke (Flat panel detectorを用いた脳血液量(pooled blood volume; PBV)は急性期脳梗塞に対する血行再建術の転帰を予測する)
- Chromoendoscopy Using the Non-extension Sign as a Marker Is Comparable to Endoscopic Ultrasonography in Terms of Diagnostic Performance for Evaluating the Invasion Depth of Early Colorectal Cancer (早期大腸癌の深達度診断においてnon-extension signを指標に用いた色素内視鏡は、超音波内視鏡と同等の診断能を有する)
- Is systolic blood pressure before endoscopic sphincterotomy associated with bleeding during endoscopic sphincterotomy for choledocholithiasis? (総胆管結石症に対する内視鏡的乳頭括約筋切開術(EST)時出血はEST前の収縮期血圧と関連があるか)



病態機能系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- Analysis of cerebrovascular events after coil embolization of unruptured cerebral aneurysms in patients taking anticoagulants (抗凝固薬服用患者における未破裂脳動脈瘤コイル塞栓術後の脳血管イベントの解析)
- Clinical Results of Two-Stage Surgery for Intra-Articular Fractures of the Distal Tibia Using Temporary Fixation with a Simplified Ilizarov External Fixator (脛骨遠位端関節内骨折に対して簡易Ilizarov創外固定器を用いた二期的手術の治療成績)
- Factors that impact dysphagia and discontinuance of oral intake in patients with progressive supranuclear palsy (進行性核上性麻痺症候群(PSP)患者における経口摂取の中止に影響を与える嚥下障害の要因)
- Soft tissue stabilization of the hinge position in lateral closed wedge distal femoral osteotomy: an anatomical study (外側閉鎖型大腿骨遠位骨切術のヒンジポイントに対する軟部組織の解剖学的検討)
- Changes in patellar baja progress until 3 months after medial open-wedge high tibial osteotomy (内側開大式高位脛骨骨切り術後3ヶ月まで膝蓋骨高の低下は進行する)
- Mechanical Influence of Pubic Nonunion on the Stress Distribution After Curved Periacetabular Osteotomy: Patient-Specific Three-Dimensional Finite Element Analysis (Curved Periacetabular Osteotomy術後の恥骨偽関節が荷重応力変化へ与える影響～有限要素解析～)
- Negative Effect of Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis on Bone Fusion after Transforaminal Lumbar Interbody Fusion (びまん性特発性骨増殖症が腰椎後方椎体間固定術後の骨癒合に与える影響)

社会医学系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- Two-year evolution of quality of life following radiotherapy and/or chemotherapy in patients with head and neck cancer (頭頸部がん患者における放射線療法および/または化学療法後の2年間の生活の質の変化)
- Elevation in white blood cell count and development of hyper LDL cholesterolemia (白血球数の増加と高LDLコレステロール血症の発症)
- Casual serum triglyceride concentrations and new-onset chronic kidney disease in the general Japanese population: the Iki city epidemiological study of atherosclerosis and chronic kidney disease study (日本の一般住民における随時血清中性脂肪値と慢性腎臓病新規発症との関連：老岐動脈硬化・腎臓病疫学研究)
- Association between serum ALT levels and incidence of new-onset diabetes in general population of Japanese: a longitudinal observational study (ISSA-CKD) (日本人一般集団における血清ALT値と新規糖尿病発症率との関連：縦断的観察研究(ISSA-CKD))

先端医療科学系専攻【博士課程】

分子医化学、循環生理化学、分子生殖医学、臨床検査解析学、心疾患病態生理化学、皮膚炎症・感染症免疫遺伝学、感染症病態生理学、病院感染制御科学、内分泌・代謝病態生理学、消化器外科病態学、臓器再建・病態外科学、消化器内科病態学、発達小児科学、総合内科診断学、臨床腫瘍学、臨床研究科学を専門領域とする教員によって構成され、生体の働きに関与する重要な体内物質とその動的代謝、およびその病的変化と臨床応用についての研究を進めています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

今福 信一 教授

- ① 単純ヘルペス、性感染症、帯状疱疹
- ② 皮膚炎症・感染症免疫遺伝学

川浪 大治 教授

- ① 糖尿病、糖尿病関連腎臓病、動脈硬化
- ② 内分泌・代謝病態生理学

白石 武史 教授

- ① 肺移植、肺癌、胸腔鏡(内視鏡)手術
- ② 臓器再建・病態外科学

岩崎 昭憲 教授

- ① 呼吸器外科、胸腔鏡外科手術、胸部悪性腫瘍制御
- ② 臓器再建・病態外科学／臨床腫瘍学

河村 彰 教授

- ① 循環器内科、動脈硬化、細胞内シグナル伝達機構
- ② 心疾患病態生理学

瀬川 波子 教授

- ① 臨床疫学、動脈硬化と冠危険因子、リポ蛋白代謝異常解析
- ② 分子医化学／臨床研究科学

浦田 秀則 教授

- ① 高血圧症と腎臓障害、運動生理と治療応用、循環器の病態生理
- ② 心疾患病態生理化学

北島 研 教授

- ① 動脈硬化、脂質代謝異常
- ② 臨床研究科学

高田 徹 教授

- ① 感染症学、臨床微生物学、感染制御学
- ② 感染症病態生理学／病院感染制御科学

大倉 義文 教授

- ① 冠動脈危険因子、老年内科、認知機能
- ② 臨床研究科学

小林 邦久 教授

- ① 糖尿病学、脂質代謝、動脈硬化
- ② 内分泌・代謝病態生理学

高松 泰 教授

- ① 臨床血液腫瘍学、実験血液腫瘍学、腫瘍細胞生物学
- ② 感染症病態生理学／臨床腫瘍学

小川 厚 教授

- ① 小児神経学、小児虐待、小児発達・心理学
- ② 発達小児科学

小吉 里枝 教授

- ① 循環器系疾患、心臓超音波検査、医療安全
- ② 臨床研究科学

永光 信一郎 教授

- ① Information and Communication Technology, Mobile Technology、ヘルスプロモーション
- ② 発達小児科学

小川 正浩 教授

- ① 不整脈・心臓電気生理、心臓自律神経、心不全
- ② 臨床検査解析学

佐藤 寿彦 教授

- ① 新規医療機器開発、低侵襲外科、臓器再建・再生
- ② 臓器再建・病態外科学／臨床腫瘍学

鍋島 茂樹 教授

- ① 内科診断学、感染症、東洋医学
- ② 総合内科診断学

社会医学系専攻【博士課程】

予防医学・公衆衛生学、犯罪医学、精神科治療学、生命医療倫理学を専門領域とする教員によって構成され、人間がヒト集団の社会に属することによって誘発される疾病、損傷、環境保健学の分野における障害、疾病発症に対する社会環境的要因などについて研究を進めています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

有馬 久富 教授

- ① 臨床試験、疫学
- ② 予防医学・公衆衛生学

阿部 真紀子 講師

- ① 高血圧症、内分泌代謝疾患、疫学
- ② 予防医学・公衆衛生学

高山 みお 講師

- ① 法医学、法医解剖、死因究明
- ② 犯罪医学

今泉 聡 教授

- ① 生命医療倫理、循環器系疾患
- ② 生命医療倫理学

ウォーターズ, ブライアン J 講師

- ① 法医中毒学、医療用質量分析、薬物乱用
- ② 犯罪医学

前田 俊樹 講師

- ① 公衆衛生、レセプト分析、DPC分析
- ② 予防医学・公衆衛生学

堀 輝 教授

- ① 精神医学、精神薬理学、産業精神医学
- ② 精神科治療学

衛藤 暢明 講師

- ① 臨床精神医学、自殺予防学、精神分析学
- ② 精神科治療学

松末 綾 講師

- ① 法医遺伝子、DNA多型、遺伝子変異
- ② 犯罪医学

柏木 正之 准教授

- ① 法医病理学、体液中微量分析、バイオマーカー
- ② 犯罪医学

川添 美紀 講師

- ① 脳神経内科、臨床疫学、公衆衛生学
- ② 予防医学・公衆衛生学

吉村 力 准教授

- ① 睡眠医学、呼吸器系疾患
- ② 予防医学・公衆衛生学

菅原 裕子 講師

- ① 精神医学、リエゾン精神医学、分子精神医学
- ② 精神科治療学

野田 慶太 教授

- ① 研究倫理、臨床研究、倫理指針
- ② 臨床研究科学

長谷川 傑 教授

- ① 消化器外科、ロボット・腹腔鏡手術、がんゲノム医療
- ② 消化器外科病態学

平井 郁仁 教授

- ① 炎症性腸疾患、小腸疾患、大腸疾患
- ② 消化器内科病態学

廣瀬 伸一 教授

- ① 小児科学、臨床遺伝学、病態の生化学
- ② 発達小児科学

松永 彰 教授

- ① 脂質代謝障害と疾患、動脈硬化の分子生物学的研究、血管の細胞生物学的研究
- ② 臨床検査解析学

三浦 伸一郎 教授

- ① 循環障害の病態生理、心血管系受容体の病態、心臓生理学的機器
- ② 循環生理化学／臨床研究科学

安永 晋一郎 教授

- ① 幹細胞・再生医学、血液・免疫・アレルギー、病態医化学
- ② 分子医化学

安元 佐和 教授

- ① 小児神経学、発達心理学、てんかん学
- ② 臨床研究科学

山下 眞一 教授

- ① 肺癌、胸腔鏡手術、侵襲
- ② 臓器再建・病態外科学

吉田 陽一郎 教授

- ① 大腸癌、化学療法、デジタル医療
- ② 消化器外科病態学

四元 房典 教授

- ① 標的治療、腫瘍増殖因子、癌増殖機構
- ② 分子生殖医学／臨床腫瘍学

渡部 雅人 教授

- ① 消化器外科、内視鏡外科手術、消化器悪性腫瘍
- ② 消化器外科病態学

阿部 一郎 准教授

- ① 内分泌学、代謝学
- ② 内分泌・代謝病態生理学

池 周而 准教授

- ① 虚血性心疾患、循環器系疾患
- ② 心疾患病態生理化学

磯部 泰司 准教授

- ① リンパ系腫瘍、EBウイルス、アポトーシス
- ② 臨床腫瘍学

井上 貴仁 准教授

- ① 小児科学、小児神経学、臨床遺伝学
- ② 発達小児科学

入江 真 准教授

- ① 非アルコール性肝疾患、門脈圧亢進症、酸化的ストレス
- ② 消化器内科病態学

大久保 久美子 准教授

- ① 検査診断学、遺伝子検査、分子内分泌学
- ② 臨床検査解析学

梶原 正俊 准教授

- ① 肝胆脾外科、腹腔鏡手術
- ② 消化器外科病態学

釈迦堂 敏 准教授

- ① 肝臓病学、ウィルス性肝炎、肝硬変
- ② 消化器内科病態学

塩飽 洋生 准教授

- ① 内視鏡による低侵襲治療、内視鏡的全層切除・縫合法の研究、人工知能(AI)による内視鏡診断学
- ② 消化器外科病態学

杉原 充 准教授

- ① 虚血性心疾患、末梢動脈疾患、血管内治療
- ② 循環生理化学

高士 祐一 准教授

- ① 内分泌、糖尿病、リン代謝
- ② 内分泌・代謝病態生理学

田中 俊裕 准教授

- ① 癌の遺伝子治療、抗体療法、臨床腫瘍学
- ② 臨床腫瘍学

戸川 温 准教授

- ① 感染症学、感染制御学、臨床微生物学
- ② 感染症病態生理学/病院感染制御科学

西川 宏明 准教授

- ① 冠動脈形成術、動脈硬化、再狭窄の機序、薬物溶出性ステント
- ② 臨床研究科学

東 大二郎 准教授

- ① 消化器外科、炎症性腸疾患、小腸・大腸癌
- ② 消化器外科病態学

廣瀬 龍一郎 准教授

- ① 小児外科学、新生児外科学、腹腔鏡手術
- ② 臓器再建・病態外科学

森戸 夏美 准教授

- ① 臨床循環器内科、超音波医科学・心エコー図
- ② 臨床検査解析学

ハツ賀 秀一 准教授

- ① ミトコンドリア病のバイオマーカー、ミトコンドリア病と内分泌疾患、思春期異常症のバイオマーカー
- ② 発達小児科学

八尋 英二 准教授

- ① 循環器系疾患、心不全、再生医療
- ② 臨床研究科学

横溝 久 准教授

- ① 糖尿病、糖尿病合併症、糖尿病性腎症
- ② 内分泌・代謝病態生理学

吉田 康浩 准教授

- ① 肺癌、胸部外科、癌遺伝子(肺癌・大腸癌)に関わる研究
- ② 臓器再建・病態外科学

吉永 康照 准教授

- ① 乳腺外科、オンコプラステックサージャリー、予後因子、治療予測因子
- ② 臓器再建・病態外科学

早稲田 龍一 准教授

- ① 新規医療機器開発、手術教育、手術シミュレーション
- ② 臓器再建・病態外科学

有村 忠聰 講師

- ① 心不全、心筋症
- ② 循環生理化学

井上 寛子 講師

- ① 循環器系疾患、心不全治療、動脈硬化性疾患
- ② 臨床研究科学

漆山 大知 講師

- ① 産婦人科学、周産期医学、マイクロバイーム
- ② 分子生殖医学

大野 芳典 講師

- ① 造血幹細胞、白血病幹細胞、低線量率放射線影響
- ② 分子医化学

加藤 悠太 講師

- ① 心臓弁膜疾患、虚血性心疾患、腫瘍循環学
- ② 臨床研究科学

倉員 正光 講師

- ① 早産、子宮内感染、絨毛膜羊膜炎
- ② 分子生殖医学

桑野 孝志 講師

- ① 循環器系疾患、虚血性心疾患、脂質代謝
- ② 臨床研究科学

河野 靖 講師

- ① 経胸壁心臓超音波検査、臨床循環器病学、負荷心臓超音波検査
- ② 臨床研究科学

古賀 文二 講師

- ① 神経線維腫症Ⅰ型、リンパ腫、皮膚病理学
- ② 皮膚炎症・感染症免疫学

小柳 尚子 講師

- ① 心エコー、血管エコー
- ② 臨床検査解析学

佐々木 秀法 講師

- ① 臨床血液腫瘍学、成人T細胞白血病・リンパ腫
- ② 臨床腫瘍学

志賀 悠平 講師

- ① 循環器系疾患、心不全、心臓画像診断
- ② 循環生理化学

芝口 浩智 講師

- ① 癌超音波療法、癌免疫療法、アレルギー検査方法
- ② 分子医化学

柴山 慶継 講師

- ① 皮膚悪性腫瘍、センチネルリンパ節生検、化学療法
- ② 皮膚炎症・感染症免疫遺伝学

白須 直人 講師

- ① 免疫化学、タンパク質医工学
- ② 分子医化学

末松 保憲 講師

- ① 運動耐容能、運動生理学、心臓リハビリテーション
- ② 循環生理化学

高田 耕平 講師

- ① 心血管予防、動脈硬化、脂質代謝
- ② 臨床検査解析学

高宮 陽介 講師

- ① 虚血性心疾患、定量的画像解析
- ② 循環生理化学

武岡 宏明 講師

- ① 総合診療、感染症、生活習慣病
- ② 臨床研究科学

則松 賢次 講師

- ① 虚血性心疾患、動脈硬化
- ② 臨床研究科学

藤田 貴子 講師

- ① 小児科学、小児神経科学、てんかん学
- ② 発達小児科学

藤見 幹太 講師

- ① 心臓リハビリテーション、心不全治療
- ② 臨床研究科学

宮坂 義浩 講師

- ① 消化器外科、低侵襲手術、脾腫瘍
- ② 消化器外科病態学

森井 誠士 講師

- ① 心臓電気生理、カテーテルアブレーション、心房細動
- ② 循環生理化学

先端医療科学系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- Expression of laminin332 γ 2 at the invasive front is associated with tumor budding and poor prognosis in cutaneous squamous cell carcinoma
(皮膚扁平上皮癌における浸潤先端部のlaminin332 γ 2の発現は、tumor buddingおよび予後不良と関連する)
- Role of serum proteinase 3 antineutrophil cytoplasmic antibodies in diagnosis, evaluation of disease severity, and clinical course of ulcerative colitis
(潰瘍性大腸炎の診断、重症度評価および臨床経過におけるPR3-ANCAの役割について)
- Association between major adverse cardiovascular events and pentraxin-3 in patients who have undergone coronary computed tomography angiography: from the FU-CCTA registry
(冠動脈CTを施行した患者における主要心血管イベントとPTX-3の関連性についての検討：FU-CCTA registryより)
- Association Between the Presence of Coronary Artery Disease or Peripheral Artery Disease and Left Ventricular Mass in Patients Who Have Undergone Coronary Computed Tomography Angiography
(冠動脈コンピュータ断層撮影を施行された患者の左室心筋重量係数と冠動脈疾患、末梢動脈疾患の関連性について)
- Malnutrition and inflammation status in non-obese patients with inflammatory bowel disease are associated with nonalcoholic fatty liver disease: a retrospective study
(炎症性腸疾患の非肥満患者における栄養不良と炎症持続は非アルコール性脂肪性肝疾患と関連する：後方視的研究)
- Association between paroxysmal or persistent atrial fibrillation and hyperuricemia in patients who underwent coronary computed tomography angiography: from the FU - CCTA - AF Registry
(冠動脈コンピュータ断層撮影を受けた患者における発作性または持続性心房細動と高尿酸血症との関連：FU-CCTA-AFレジストリより)
- Impact of Controlling a Nutritional Status Score on Wound Healing in Patients with Chronic Limb Threatening Ischemia after Endovascular Treatment
(血管内治療後の重症下肢虚血患者の創傷治癒に対するCONUT Scoreでの評価)

看護学専攻【修士課程】

【修士論文コース】 【高度実践看護師コース】

看護学領域における看護実践上の問題に主体的・科学的に取り組み、科学的根拠に基づく専門性の高い実践力を持ち、看護を創造的、開発的に探究し続ける高度な実務家を養成することを理念としています。母子健康支援、地域健康支援、看護教育・管理、成人療養支援、高齢者療養支援、および精神健康支援の6つの領域からなる修士論文コースでは、看護に関わる課題を選び、研究プロセスを学びながら修士論文を作成します。また、養護教諭一種免許状を有する者は、必要な単位を修得後、養護教諭専修免許状を取得することができます。高度実践看護師コースでは、クリティカルケア看護を実践的に学びながら課題を見つけ、課題研究(論文)を作成し、修了すれば日本看護協会の専門看護師資格認定審査を受けることができます。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目(専門領域)等

榎 直美 教授

- ① 認知症高齢者と家族介護者支援における多職種協働プログラムの開発
- ② 高齢者療養支援

江藤 真紀 教授

- ① 地域における健常高齢者の転倒発生メカニズムの解明
- ② 地域健康支援

大倉 義文 教授

- ① 動脈硬化・循環器疾患に関する研究、大脳認知機能局在部位の解析
- ② 英語文献講読／成人療養支援

緒方 久美子 教授

- ① 救急・重症患者の看護、クリティカルケア領域の看護継続教育、心臓病患者のセルフケア
- ② 成人療養支援／クリティカルケア看護

木村 裕美 教授

- ① 在宅ケア、認知症予防・ケア、介護予防、在宅療養支援、保健・疫学、地域包括ケアシステム
- ② 高齢者療養支援、ACP、地域医療、退院支援

小柳 康子 教授

- ① 保健室マネジメント、養護教諭のリーダーシップ
- ② 学校保健特論、母子健康支援／養護教諭専修免許

佐久間 良子 教授

- ① 女性の生涯の健康と栄養、妊娠期からの子育て支援
- ② 母子健康支援

末次 典恵 教授

- ① 看護フィジカルアセスメント教育におけるプログラム開発
- ② 看護教育・管理

中島 充代 教授

- ① 乳がん患者の治療に係わる意思決定、精神科看護
- ② 精神健康支援

宮城 由美子 教授

- ① 食物アレルギー児と家族への除去食解除に関連するプログラム開発
- ② 母子健康支援

有田 久美 准教授

- ① 高齢者の服薬管理・セルフケア
- ② 高齢者療養支援／クリティカルケア看護

岩永 和代 准教授

- ① がん患者のQOL・心理的適応、災害看護
- ② 成人療養支援

大田 博 准教授

- ① クリティカルケア看護、看護情報学
- ② クリティカルケア看護

坂梨 左織 准教授

- ① 看護教育／家族看護
- ② 看護倫理、看護理論／クリティカルケア看護

長谷川 珠代 准教授

- ① ケアする人のケア、医療的ケア児・障害児者の家族支援に関する研究
- ② 地域健康支援

黒髪 恵 講師

- ① ストレングスとリカバリー、メンタルヘルス、自殺予防教育
- ② 人間発達論、精神健康支援論Ⅰ、Ⅱ

神徳 和子 講師

- ① CKDの運動療法、生命倫理、看護理論、社会的孤立予防
- ② 看護管理論

高木 良重 講師

- ① スキンケア、排泄ケア、看護師の臨床判断
- ② コンサルテーション論、看護教育・管理

藤木 久美子 講師

- ① 妊産婦教育、育児支援
- ② 母子健康支援

牧 香里 講師

- ① クリティカルな状況にある患者、がん患者の家族ケアに関する研究、生活習慣病の予防
- ② クリティカルケア看護

松本 祐佳里 講師

- ① 小児在宅看護、災害看護、小児がん看護
- ② 母子健康支援

薬学研究科は「薬学に関する学術の理論および応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与する」という理念の下、高度な医療を担う薬剤師、薬学の将来を担う研究者および指導的な人材の育成を目的としています。

研究科長メッセージ



薬学研究科長

本田 伸一郎 教授

薬学研究科は、薬学専攻(博士課程)と健康薬科学専攻(修士課程)から構成されています。薬学専攻では、国民の健康増進に向けた生物学的基本原理の解明や革新的医薬品の創製・難病克服・医薬品の安全使用など、薬学に関する社会的要請に応えることのできる人材を育成します。この専攻においては、創薬科学を追究する基礎研究者を養成するのももちろんのこと、薬学の専門家として様々な観点から疾患に取り組むことのできる高度な学術的基盤を有した薬剤師の養成を行います。本専攻は医療系薬学領域での研究を中核としますが、具体的な応用や用途を直接的な目標としない研究や、常識にとらわれない研究が社会への貢献に繋がった事実をふまえ、医療分野にとどまらず画期的なイノベーションを創出する基礎研究にも精力的に取り組みます。基礎薬学を包含する総合的な学術としての薬学を大学院プログラムとして実施していますので、薬剤師免許非取得者も入学可能です。また、従来の博士課程における一人の指導教員あるいは一研究室による専修教育だけでなく、他の分野の教員による広い視野での多面的で幅広い教育を実施し

ています。6年制学部あるいは、修士課程修了の学生に広く門戸を開いています。修了後は博士(薬学)の学位を授与します。健康薬科学専攻では、薬学研究科の開設以来、培われてきた創薬科学に基づく教育・研究指導力を活かして、医薬品のみならず、高機能食品、化粧品、環境対策素材や臨床検査製品の開発など、研究科学分野で活躍できる研究者・技術者を養成します。また、旧4年制薬学部を卒業した薬剤師に対して高度化する医療情報・知識を総合的かつ効率的に習得する研究教育環境を提供することで、薬剤師としての資質向上を図っています。薬学部以外の学部卒業生にも広く門戸を開いています。修了後は修士(薬学)の学位を授与します。

健康薬科学専攻【修士課程】

2010年度に新たに独立専攻型大学院として開設されました。本専攻は、健康創薬科学プログラムと総合薬学プログラムの2プログラムで構成されています。健康創薬科学プログラムは、学際的な健康科学領域において活躍できる健康科学関連研究者・技術者、創薬科学関連研究者・技術者、医薬情報担当者、健康食品・化粧品等安全管理者等の人材を輩出することを目標としています。総合薬学プログラムは、現場薬剤師が主たる対象者であり、最先端医・薬学を体系的かつ系統的に講義および演習で修得し、課題研究活動を通じて情報構築・評価能力を培い、先導的薬剤師として地域に密着した医療貢献ができるようになることを目指しています。

看護学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

- 急性・重症患者看護専門看護師が実践する重症患者への移行ケア
- 二次救急医療機関の救急外来に従事する看護師の倫理的看護実践上の困難
- 看護師のキャリアとワーク・ファミリー・コンフリクトおよびメンタルヘルスとの関連

薬学専攻【博士課程】

6年制薬学部を基礎とする4年制大学院として2012年度に開設されました。本専攻は、医療薬剤師プログラムおよび薬学研究者プログラムの2プログラムで構成されています。医療薬剤師プログラムは、個別化医療推進薬剤師、医療系薬学教育者、医療行政推進薬剤師、トランスレーショナルリサーチ推進研究者・技術開発者、レギュラトリーサイエンス研究者等の人材の育成を目標としています。薬学研究者プログラムは、創薬研究、薬物治療の最適化などに従事する医療系薬学研究者、基礎系薬学教育者、健康科学、環境衛生化学等研究者・行政担当者、製薬企業研究開発従事者等の人材育成を目指しています。

担当教員

氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 専修科目(修士) ③ 専修科目(博士)

池田 浩人 教授

- ① 分子間相互作用に関する熱力学および計算化学によるアプローチ
- ② 生体分析学
- ③ 臨床医薬品解析学

石橋 大輔 教授

- ① 神経変性疾患、がん疾患、感染症の克服に向けた病態解明
- ② 分子医学
- ③ 臨床薬物治療学

今給黎 修 教授

- ① 医薬品の適正使用に関する研究、薬剤経済学的研究
- ② 臨床薬学
- ③ 臨床薬剤学

岩崎 克典 教授

- ① 認知症の漢方治療に関する薬理学的エビデンスの構築
- ② 薬理学
- ③ 臨床疾患薬理学

江川 孝 教授

- ① 災害時薬事と多職種連携、早期認知機能障害トリアージ
- ② 臨床薬学
- ③ 臨床副作用学

遠城寺 宗近 教授

- ① 消化器疾患、脂質代謝の基礎・臨床研究
- ② 分子医学
- ③ 臨床薬物治療学

大江 賢治 教授

- ① 様々な疾患における異常スプライシングの病態解明・治療法の開発
- ② 分子医学
- ③ 臨床薬物治療学

大川 雅史 教授

- ① 天然抗酸化物質の探索とその機能性解析
- ② 医薬品素材学
- ③ 臨床医薬品化学

緒方 憲太郎 教授

- ① 抗悪性腫瘍薬の適正使用に関する研究
- ② 臨床薬学
- ③ 臨床薬剤学

鹿志毛 信広 教授

- ① 遺伝子組換え乳酸菌による疾病の予防および治療に関する研究
- ② 生体分子情報学
- ③ 臨床生化学

桂林 秀太郎 教授

- ① アストロサイトの機能制御とシナプス動態との相関解析
- ② 薬理学
- ③ 臨床疾患薬理学

神村 英利 教授

- ① 医薬品(抗悪性腫瘍薬、抗菌薬、向精神薬等)の適正使用に関する研究
- ② 臨床薬学
- ③ 臨床薬剤学

金城 順英 教授

- ① 腸内細菌による天然薬物の代謝研究
- ② 医薬品素材学
- ③ 臨床医薬品化学

佐藤 朝光 教授

- ① 疾病媒介蚊に関する研究
- ② 生体分子情報学
- ③ 臨床生化学

道具 伸也 教授

- ① 病態下における血液脳関門機能変動
- ② 薬剤学
- ③ 薬学疾患管理学

能田 均 教授

- ① 新規光分析法の開発とその応用研究
- ② 生体分析学
- ③ 臨床医薬品解析学

巴山 忠 教授

- ① 生体関連物質の選択的分析法開発
- ② 生体分析学
- ③ 臨床医薬品解析学

本田 伸一郎 教授

- ① シグナル伝達・転写調節因子による遺伝子発現制御に関する研究
- ② 生体分子情報学
- ③ 臨床生化学

松尾 宏一 教授

- ① 薬剤師による医薬品適正使用におけるエビデンス構築に関する研究
- ② 臨床薬学
- ③ 臨床副作用学

松末 公彦 教授

- ① 生活習慣病病態下における核内受容体の機能解析
- ② 生体分子情報学
- ③ 臨床生化学

松永 和久 教授

- ① 製剤化と薬物送達法に関する研究
- ② 創剤学
- ③ 製剤設計学

丸岡 博 教授

- ① 創薬を指向したリード化合物創製に関する研究
- ② 医薬品素材学
- ③ 臨床医薬品化学

右田 啓介 教授

- ① P2X受容体と神経疾患に関する研究
- ② 医薬品設計学
- ③ 医薬品情報学

三島 健一 教授

- ① 大麻の薬理作用解析、抗癌薬の副作用対策、脳血管障害の病態解析
- ② 薬理学
- ③ 病態機能解析学

山内 淳史 教授

- ① 薬物有害作用に関する研究
- ② 薬剤学
- ③ 薬学疾患管理学

吉田 秀幸 教授

- ① 生体や環境を対象とした超微量計測法の開発と実用に関する研究
- ② 生体分析学
- ③ 臨床医薬品解析学

藍原 大甫 准教授

- ① 食品・環境中の化学物質と疾病に関する研究
- ② 生体分子情報学

古賀 允久 准教授

- ① 新規薬物送達システムと薬物有害作用に関する研究
- ② 創剤学

小迫 知弘 准教授

- ① 新規分子標的薬による白血病治療法の開発
- ② 生体分子情報学

佐野 和憲 准教授

- ① ミスフォールディング病に関する研究
- ② 薬理学

高田 芙友子 准教授

- ① ペリサイト制御と脳神経血管機構の病態改善、薬物動態の病的変動と副作用
- ② 薬剤学

堤 広之 准教授

- ① 分子複合体形成に関する研究
- ② 生体分析学

富永 宏治 准教授

- ① 薬物有害作用・適正使用に関する研究
- ② 臨床薬学

中川 慎介 准教授

- ① 血液脳関門の機能制御および機能障害に関する研究
- ② 薬剤学

櫛川 舞 准教授

- ① 次世代創薬のための薬物送達システムに関する研究
- ② 創剤学

林 裕展 准教授

- ① 抗がん薬による環境曝露、がん領域の医薬品適正使用と副作用対策
- ② 臨床薬学

古舘 信 准教授

- ① 有機合成化学による探索研究
- ② 医薬品素材学

細川 雅人 准教授

- ① 神経変性疾患の病態機序解明とモデル動物作製
- ② 分子医学

益本 英一 准教授

- ① 生物活性を有する新規ヘテロ環化合物の合成研究
- ② 医薬品素材学

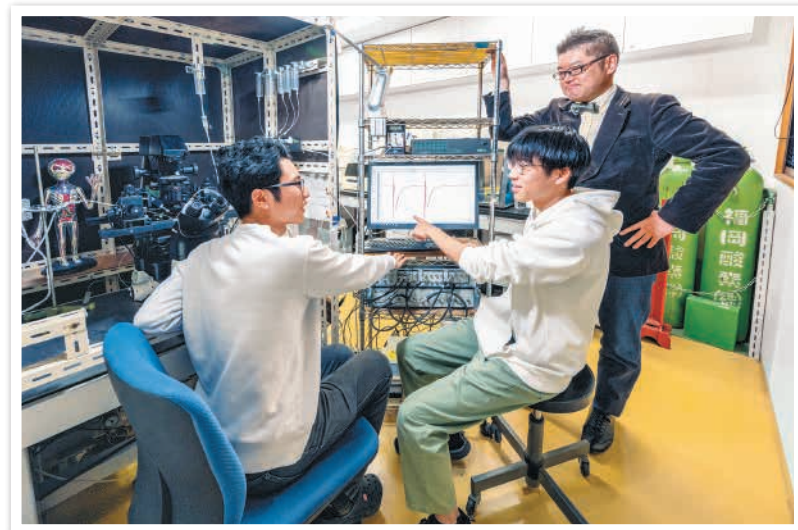
瀬戸口 修一 講師

- ① 製剤化と薬物送達法に関する研究
- ② 創剤学

薬学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- 成人T細胞白血病細胞に対する新規CDK9選択的阻害剤の影響
- 人参養栄湯の補気作用に関する基礎的検討
- 福岡大学病院において血液から分離されたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の遺伝子型および*Candida*属真菌の薬剤感受性の経年動向に関する研究



スポーツ健康科学研究科は、前期では高度な知識・技術をもとに科学的指導を実践・応用できる専門家を、後期では専門的な領域で自立して研究活動を行う研究者を養成することを目的としています。

研究科長メッセージ



スポーツ健康科学研究科長
上原 吉就 教授

スポーツ健康科学研究科は、博士課程前期では高度な知識・技術をもとに科学的指導を実践・応用できる専門家を、博士課程後期では専門的な領域で自立して研究活動を行う研究者を養成することを目的としています。特に、体育・スポーツの優秀な研究者や指導者をはじめ、社会が必要とする職能を開発する高度な専門家の養成に力を入れています。

博士課程前期の専門分野には、体育学、体力学、スポーツ医学、コーチ学、体育科教育学、運動健康学の6専修部門が設けられており、

16名の教員が専修科目の指導を行います。研究と教育のフィールドは、学校体育領域のほか、医療機関や行政機関、企業、商業スポーツ施設などの現場にも設けられています。

博士課程後期の専門分野には、健康運動科学、スポーツトレーニング科学、スポーツ医科学、スポーツ教育学の4つの専修部門を置き、9名の教員が専修科目の指導を行います。最新の研究装置・設備が整備されており、異なる分野の研究者と協働して研究を展開しています。

スポーツ健康科学専攻【博士課程 前期・後期】

体育・スポーツの優秀な研究者や指導者をはじめ、社会が必要とする職能を開発する高度な専門家の養成を目指し、博士課程前期には体育学、体力学、スポーツ医学、体育科教育学、コーチ学、運動健康学の6専修部門が、博士課程後期には健康運動科学、スポーツトレーニング科学、スポーツ医科学、スポーツ教育学の4専修部門が設けられています。研究と教育のフィールドは学校体育領域のほか、医療機関や行政機関、企業、商業スポーツ施設などの現場に及び、最新の研究装置・設備のもと、異なる分野の研究者と協働した研究も展開しています。

担当教員		氏名(職位)	① 研究または講義のテーマ	② 担当科目等(前期)	③ 担当科目等(後期)
青柳 領 教授	①	川中 健太郎 教授	① 運動と栄養素が骨格筋のエネルギー代謝に及ぼす影響と機序 ② 分子スポーツ栄養学 ③ スポーツトレーニング科学特別研究		
	②				
	③				
上原 吉就 教授	①	重森 裕 教授	① スポーツに関する様々な医学的視点からの研究 ② スポーツ医学 ③ 健康運動科学特別研究、スポーツ医科学特別研究		
	②				
	③				
柿山 哲治 教授	①	下園 博信 教授	① 競技場面の状況判断など、認知的課題の研究。ラグビーフットボールの研究 ② スポーツ行動科学		
	②				
	③				

布目 寛幸 教授

- ① スポーツ動作の力学的メカニズムの解明
- ② スポーツバイオメカニクス学
- ③ スポーツトレーニング科学特別研究

檜垣 靖樹 教授

- ① 健康づくりのための身体活動・運動に関する生理・生化学研究と分子疫学研究
- ② 運動健康学
- ③ 健康運動科学特別研究

藤井 雅人 教授

- ① ドイツの地域スポーツクラブおよび学校での青少年スポーツ教育
- ② スポーツ社会学
- ③ スポーツ健康科学研究法

道下 竜馬 教授

- ① 健康づくりや疾病予防のための体力、運動、身体活動に関する生理学的、疫学的研究
- ② 体力学
- ③ スポーツトレーニング科学特別研究

森口 哲史 教授

- ① 物理的刺激が組織循環に与える影響
- ② 保健安全学

山口 幸生 教授

- ① 行動科学にもとづく生活習慣改善プログラムの開発と有効性検証
- ② 運動行動科学
- ③ スポーツ健康科学研究法

吉村 一郎 教授

- ① スポーツ傷害の病態に関する研究
- ② スポーツ整形外科科学
- ③ スポーツ医科学特別研究

今村 律子 准教授

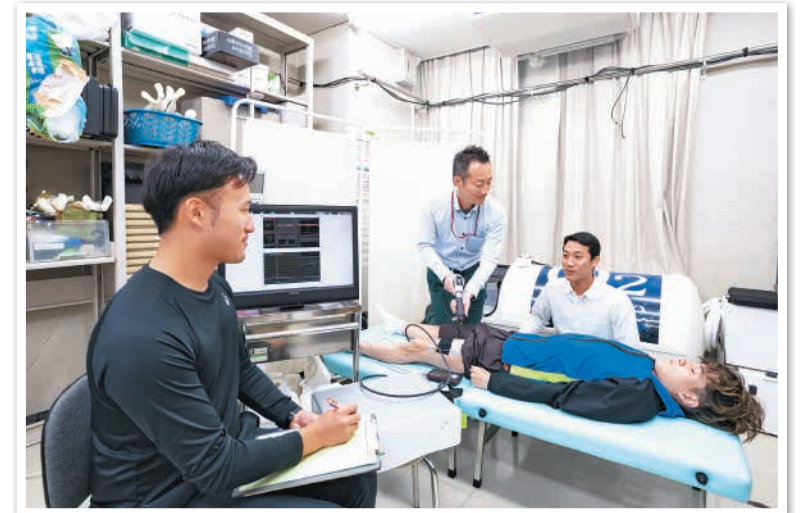
- ① 体育科教育における発達支援のためのコミュニケーションスキル研究
- ② 発達支援教育学特論

霜島 広樹 講師

- ① スポーツ消費者における行動メカニズムの解明
- ② スポーツマネジメント学

富賀 裕貴 助教

- ① 生活習慣病予防のための運動による多臓器連関の分子機序解明
- ② 運動健康学特論



スポーツ健康科学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

- 腎機能低下予防のための最適な運動条件の探索
- Dynamics of Soccer Instep Kicking in Female and Male Players (男女サッカー選手におけるインステップキックの動態の解明)

【修士】

- 異なる強度のキックインターバルトレーニングが泳パフォーマンスに及ぼす効果
- 感謝介入が大学生アスリートの生活満足度とストレス軽減に及ぼす効果
- 体育系大学1年生におけるヘモグロビン濃度および栄養素等摂取状況の実態と今後の課題
- 短時間の高圧環境滞在が不随意筋収縮時の筋酸素動態に及ぼす影響
- サッカー審判員を対象とした行動変容ステージ尺度の開発 ―信頼性および妥当性の検証―
- 一過性のインターバル走とペース走の走行順序の違いがエネルギー代謝に及ぼす影響
- ラグビー競技中の運動強度評価の検討
- 糖質摂取量の違いが不活動誘発性筋萎縮に与える影響
- 摂食状況がラット骨格筋のロイシン感受性に及ぼす影響
- 福岡市における韓国人観光客に関する研究：観光資源としてのスポーツ実施・観戦に焦点を当てて
- 不活動筋におけるチオレドキシン相互作用タンパク質の増加が糖代謝および筋量に及ぼす影響
- タバコ煙がマウス骨格筋へおよびす影響
- 運動実施のタイミングの違いが時計遺伝子発現におよぼす効果
- 球場内におけるビール販売杯数に影響する諸要因について：売り子の販売杯数に着目して

法科大学院(ロースクールともいいます)は、法曹(弁護士、裁判官、検察官)を養成することを目的とする専門職大学院です。法曹になるためには司法試験に合格しなければなりません、本法科大学院は、これまでに83人の合格者を輩出しています。

法科大学院長メッセージ



法科大学院長
雨宮 啓 教授

法科大学院は法曹(裁判官・検察官・弁護士)養成の為に専門職大学院。先ず目指すのは直近ハードルたる司法試験合格。よって、法科大学院では、基本的法知識を得た後、事案を的確に分析し法的問題を正確に確定後その問題解決に至る過程をロジカルに記述できる能力を鍛え続けます。方法は各自の個性に応じ異なりますが、基本書、条文及び判例等を読解し知識を得つつ応用課題に積極的に挑み自分の頭で徹底的に考え尽くすのが標準です。これを軸に各自の個性に適した努力を継続します。

合格をより確実にするため、かつ、合格後に法曹職業人として活躍する日々備えるため、皆さんより一足早く法曹となった本法科大学院出身等弁護士を始めとする経験豊富な弁護士や専門分野に精通した研究者である諸先生方との対話や質疑応答等で法的・人間的なコミュニケーションを図りつつ、事例分析や論証などの効果的方法も学ぶ機会も設け、楽しく努力を積み重ね、各自の法曹となる夢を夢で終わらせないしくみを用意し皆さんの入学を心待ちにしています。

法務専攻【専門職学位課程】

弁護士、裁判官、検察官として活躍するために必要な能力を修得できるよう、基本的な科目から実務的な科目へ、段階的かつ、それらを有機的に結び付けたカリキュラム構成となっています。

1年次では、実務での運用を意識しつつ法学の基本的理論を徹底的に修得するために憲法、民法、刑法などの法学の基本的な科目を重点的に配置しています。

2年次からは、法学未修者と既修者が共に受講します。1年次で修得した基本的知識を応用して具体的事案を解決する能力を育成するために、演習科目を重点的に配置しています。

- また、在学生の多くが法学未修者であることから法学未修者教育に重点を置く取組みを実施しています。具体的には、
 - ・入学前導入教育(早期履修指導、在学生や修了生弁護士との交流会、憲法・民法・刑法のプレセミナー)
 - ・未修者向けカリキュラムの充実(少人数ゼミ形式の「判例講読」と「法律基本演習」、「法情報・法文書入門」など)
 - ・学生カード(定期試験や小テストの成績など学生個人に関する情報を集約した学修カルテ)の活用
 - ・アカデミック・アドバイザー及びチューター(学修支援や学修・生活面の相談に応じる若手弁護士)の活用
 - ・司法試験受験対策支援(8月の短答集中ゼミ、司法試験前の「もう一押しゼミ(論文対策)」)

などの取組みを実施するとともに、教員と学生の距離をできるだけ縮めて、一人ひとりに寄り添うきめ細やかな学修指導体制をとっています。

なお、在学中に司法試験受験を目指す学生には、受験資格を得るための「司法試験在学中受験プログラム」を設置しています。

法科大学院への進学を考えている方には「授業体験」や「科目等履修制度」などの法科大学院の学びを知ることができる機会を設けています。



模擬法廷教室で模擬裁判をしている様子

担当教員

氏名(職位) ① 資格等 ② 専門分野

青木 亮 教授

- ① 弁護士・元判事
- ② 民事訴訟実務

雨宮 啓 教授

- ① 弁護士・元(株)東京三菱銀行法務部調査役
- ② 民事法、銀行法務

石松 勉 教授

- ① 法学修士
- ② 民法

井上 亜紀 教授

- ① 法学修士
- ② 憲法

木村 道也 教授

- ① 弁護士
- ② 刑事法実務、民事訴訟実務

新屋 達之 教授

- ① 法学修士
- ② 刑事法

平江 徳子 教授

- ① 弁護士・元検事
- ② 刑事法実務

三隅 珠代 教授

- ① 弁護士
- ② 刑事法実務、民事法実務

井上 能孝 准教授

- ① 経済学修士
- ② 商法

大庭 沙織 准教授

- ① 法学修士
- ② 刑法

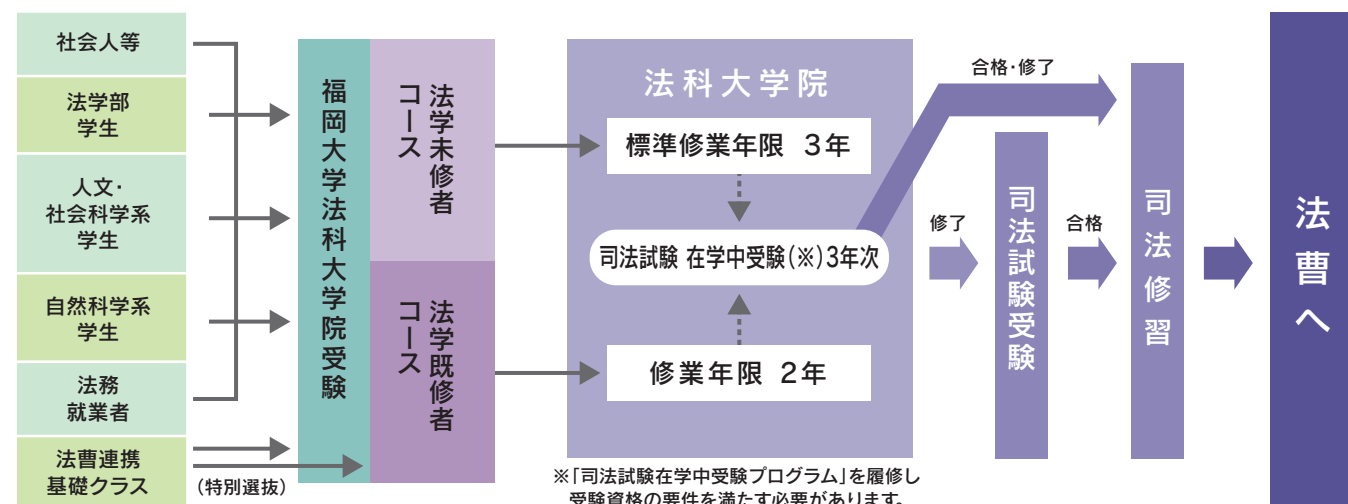
児玉 弘 准教授

- ① 法学修士
- ② 行政法

藤村 賢訓 准教授

- ① 法学修士
- ② 民法

福岡大学法科大学院から法曹への道



法科大学院 学費等納入金

令和6年度入学生の納入金：法学未修者(3年間)および法学既修者(2年間)

※法学既修者は令和6年度・令和7年度を参照してください。

項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度
入学金	本学学部卒業・本学大学院修了	55,000円		
	他大学卒業・他大学院修了	110,000円		
授業料		600,000円	600,000円	600,000円
教育充実費		120,000円	120,000円	120,000円
委託徴収金	本学学部卒業・本学大学院修了	3,000円	3,000円	3,000円
	他大学卒業・他大学院修了	18,100円	18,000円	3,000円
合計	本学学部卒業・本学大学院修了	778,000円	723,000円	723,000円
	他大学卒業・他大学院修了	848,100円	738,000円	723,000円

※詳しくは、法科大学院個別サイトをご参照ください。
<https://www.ilp.fukuoka-u.ac.jp/>



法科大学院棟



自習室

VOICE.01



医学研究科 先端医療科学系専攻
博士課程 4年

石田 倖子 さん

臨床の場で直面した実際の課題に
大学院との両立で取り組むことを決意

私は、福岡大学病院産婦人科の医師として勤務する傍ら、大学院に通い研究に取り組んでいます。臨床の現場では、患者さんの症状、状況はさまざまなのに、実用できる診断方法は限られているため、ときに自分が想定した結果とは違う状況になることがあります。それが悔しくて、その悩みを先輩医師に相談したところ、「今の医療で解決できる問題ではないから大学院に進学して自分でその辺の研究を進めてみる必要があるだろう」と大学院への進学を勧められました。幸い大学病院内に大学院の研究棟があって設備も充実しており、臨床との両立も可能であることから進学を決めました。大学院での研究がいつか実用化できるように、少しでも患者さんの役に立てよう卒業後も研究を続けていきたいと思っています。

海外の学会で発表した研究成果に
一定の評価今後は、AI 解析を活用した新たな
研究スタイルに期待

私が在籍する先端医療科学系専攻は、自分が臨床を経験している分野であり、研究成果を今後の仕事に活かせると考えています。

共通科目の講義では、各診療科の教授陣が講義をしてくださり、最新の研究から研究を始めたころの苦労話まで興味深い話を聞くことができ、それが新たな研究のヒントや発想の転換になることが多々ありました。そして何より、どの先生も最終的に患者さんの役に立つことを目指して研究しているので熱い活気にあふれています。

私が大学院で研究を始めるようになってから、それまでとは違い、まず論文を見る目が変わりました。また、実験手技だけでなく研究デザインや統計解析など、これまで意識していなかったことに関心がいくようになり、臨床の場でも研究のヒントになるものがないか常に意識するようになりました。

国内の学会でプレゼンテーションした研究成果が高く評価され、海外の学会で発表する機会を得ることができました。そこで海外の研究者から、「あなたの研究が実用化できれば患者さんの治療がだいぶ変わってくるから頑張ってほしい」という声をたくさんいただき、自分の研究が少なからず評価されていることを実感し嬉しく思いました。

また、研究室では今、AI解析を取り入れることを試みています。まだ始まったばかりですが、私たち人間が気づかない視点で新たな問題提起をしてくれることを期待し、今後の研究に活かしていきたいと思っています。

大学ならではの研究設備も
知見、データも充実
大学院修了後も新たな研究を
継続できる環境も魅力

福岡大学では、さまざまな基礎研究や臨床研究が日々行われていて、多くの知見、データが蓄積されています。大学院では、そうしたデータを基に自分の臨床の現場で役立つ研究が自由にでき、また、大学院修了後も新たな研究に取り組んでいくことができる環境が整っています。

臨床の現場と大学院の両立は、一人では大変なこともあります。職場の方々の協力や大学院を卒業した先輩医師から研究の進め方などいろいろとアドバイスをいただき、それが大学病院の伝統のようになっています。私が引き継いだものを今度は後輩に繋いでいきたいと思っていますので、そういう人が出てくることを期待しています。

VOICE.02



スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻
博士課程前期 2023年度 修了

尾山 瑛祐 さん

大学4年次から大学院の授業を受け、
予め単位を取得する早期履修制度を利用

早期履修制度は、大学4年次に大学院の一部の授業を受けて予め単位を取得し、大学卒業後、大学院1年次に所定の研究業績をあげることで、博士課程前期を早期修了することができる制度です。

その制度を利用しようと思ったのは、私が学部の3年次に所属していた研究室に大学院生がサポートに入り、一緒に実験をしていくうちに興味が湧き、また、その社会的意義のある研究にずっと関わりたいと思ったからです。また、保健体育の教員を目指していたこともあり、高度な専門知識・技術を身につけ科学的指導を実践・応用できる専門家として教職に就きたいという思いもありました。

もちろん、大学4年次には卒論、保健体育の教員免許取得に向けた教育実習や教職の授業等々が重複することはわかっていました。それでもチャレンジしようと思ったのは、バドミントンのスポーツ推薦で入ってきた私が大怪我をして落ち込んでいたときに、かつてプロスポーツで活躍した経歴をもつ先生から、「人生は短い。少しでも成長できる機会があるのなら何でも挑戦したほうがいい」という言葉をいただいたからです。それからはモチベーションを高く持って学友会体育部会の常任幹事会幹事長を引き受け、積極的にいろいろな活動に臨むようになりました。そして、あのときの先生の言葉に背中を押されるように早期履修制度を利用し大学院への進学を決意しました。

社会経験を積んだ
保健体育の教員になるため
博士課程前期修了後は
畑違いの業界へ就職

大学院では、アスリートの競技力向上や医療の進歩に貢献したいという思いから、医学の分野にも及ぶ高度な研究に携わり、その魅力を知ると同時に専門性を高めるためにより深い学びの必要性を痛感しました。また、常々いただいていた先生や先輩方の適切なアドバイスを糧に、修士論文発表会では最優秀発表賞をいただくという成果をあげることができました。

一方で、博士課程前期修了後の進路について、当初の目標である教員になるか、あるいは一般企業に就職するか、または研究者としてもっとキャリアを積むのか、それをじっくり考えることができた2年間でもありました。

私は中高生向けのキャリア教育にも力を入れている人材業界の企業に就職を決め、今に至ります。会社には事前に承諾を得て、そこで数年社会経験を積み、それを生かして保健体育の教員になることが希望です。将来、そこで身につけた知識や教養をキャリア教育のバックボーンにして、生徒たちの人間的な成長に貢献したいと思っています。

高い志を持った集団の中で
切磋琢磨しながら
本当にやりたいことを
見つけるための時間

大学院は、専門分野を追求するだけでなく、研究活動に取り組む過程を通してプレゼン能力や論理的思考力といった社会で必要とされる重要なスキルを高めることができる環境だと思います。また、高い志を持った集団の中で切磋琢磨し合う日々はキャリアアップに向けた今後の人生の基盤になると思います。大学4年間で自分がやりたいことがわからないまま社会に出るよりは、一旦、自分を見つめ直して将来のことを真剣に考える期間にしたいのではないかと思います。勇気ある決断が、新たな可能性に繋がると思います。

1 外国人留学生入学試験

■ 出願対象者

A:既に日本に在留している志願者は、「国内志願者」になります。
B:受験のために外国から日本に来る志願者は、「国外志願者」になります。
それぞれ出願時期や出願書類が異なりますので、各研究科の『入学試験要項』で詳細を確認してください。
なお、一般入学試験、社会人入学試験に、出願することはできません。

■ 出願可能な研究科・専攻

下記以外の研究科・専攻に出願することができます。
(出願できない研究科・専攻)
・**人文科学研究科** 教育・臨床心理専攻 博士課程前期／博士課程後期
・**薬学研究科** 健康薬科学専攻 修士課程
・**医学研究科** 看護学専攻 修士課程

■ 日本語能力

原則として、(財)日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1又はN2の合格認定書などの証明書が必要です。詳しくは、各研究科の『入学試験要項』にて確認してください。

■ 授業言語

日本語で授業が行われます。ただし、下記の研究科・専攻では英語での授業も可能です。
・**経済学研究科** 経済学専攻 博士課程前期／博士課程後期
・**工学研究科** 化学システム工学専攻 博士課程前期
・**工学研究科** エネルギー・環境システム工学専攻 博士課程後期
・**工学研究科** 情報・制御システム工学専攻 博士課程後期
・**薬学研究科** 薬学専攻 博士課程

2 授業料減免制度

学業を継続する意思及び能力を有しながら経済的負担力に乏しい者に対し、授業料を減免し、その負担を軽減することを目的とした制度です。

対 象 者	減 免 率	申 請 時 期
正規課程に在籍し、かつ5月1日現在で在留資格「留学」を有する者 ※ただし、下記の者は対象になりません。 ・学業成績、出席状況が好ましくない者 ・経済的に困難な状況と認められない者	年間の授業料の30% ※減免が認められたら、第2期分納入時に実施されます。	5月

留学生からのメッセージ

リュウ ショウさん(中国出身) 人文科学研究科 英語学英米文学専攻 博士課程後期2年次生

私は中国出身の留学生です。2022年度に人文科学研究科英語学英米文学専攻博士課程前期を修了し、2023年度に博士課程後期に進学しました。博士課程前期在籍時は、先生方から専門知識を学ぶとともに、研究や発表会、論文の修正などとても丁寧に指導していただきました。入学前は分からないことも多く、経済的な面についても不安がありましたが、先生方の温かいご指導や、奨学金等の制度を利用することができたお陰で、不安を解消することができました。博士課程前期での経験は、今後も努力を続けることでより良い研究成果を得られるという自信に繋がり、博士課程後期への進学を決めました。家族のように温かく、素晴らしい先生方のいる福岡大学に入学して、私と一緒に目標に向かって学んでみませんか。

3 奨学金制度

本学独自の奨学金やその他地方公共団体や民間団体からの奨学金があります。応募者の中から、各奨学金の選考基準に基づき、学業成績、経済状況、出席状況など総合的に、公平かつ慎重に審査を行います。

(令和5年度 応募実績)

名 称	支 給 金 額	支 給 期 間
福岡大学私費外国人留学生奨学金	【修士課程・博士課程前期】 月 額 40,000円 【博士課程・博士課程後期】 月 額 65,000円	1年
(公財)北九州産業学術推進機構 北九州学術研究都市奨学金	月 額 50,000円	1年
(一財)共立国際交流奨学財団奨学金	月 額 100,000円	1年
公益信託椎木正和記念アジア留学生奨学基金	月 額 50,000円	1年
(公財)吉川育英会奨学金	月 額 50,000円	最長 2年
(公財)日本国際教育支援協会 JEES留学生奨学金(修学)	月 額 40,000円	最長 2年

4 就職支援

キャリアセンターでは、留学生を対象に窓口での個別相談や就職セミナーの開催、求人情報の提供等を行っていますので、積極的に利用してください。

5 住 居

アパート・マンション等をご希望の方向けに大学周辺の不動産業者の一覧を掲載していますのでご参考ください。



6 研究生

出願資格によって、窓口が異なります。詳細は、福岡大学公式ホームページでご確認ください。

種 類	出 願 資 格	窓 口
学部の研究生	国籍を問わず、日本において大学を卒業した者または卒業見込みの者	教務課一課
外国人研究生	外国籍を有し、外国において4年制大学を卒業した者	国際センター事務局
大学院の研究生	国籍を問わず、大学院を修了または満期退学した者	大学院事務課

留学生からのメッセージ

口 イチキさん(中国出身) 工学研究科 建設工学専攻 博士課程前期2年次生

私は中国出身の留学生です。2018年4月に福岡大学工学部建築学科に入学しました。福岡大学のきれいなキャンパスや、親切な先生方が印象的だったことを覚えています。学年が上がるほど、先生方の知識の深さをより感じ、建設工学をより深く学びたいと思ったため、学部卒業後に大学院に進学することを決めました。経済的には、奨学金制度のほか、授業料減免制度など留学生活における補助支援があります。また、ティーチング・アシスタント制度を利用することができるので、アルバイトをせずに学業に専念することができています。就職に関しても、大手企業の説明会や中小企業の求人が沢山あり、魅力的な会社が多くあります。大学、大学院の先輩としての立場から、福岡大学に進学するのはお勧めです。

進路状況

令和6年度

就職先

人文科学研究科

イオン九州株式会社
株式会社Blue Meme
株式会社時事通信社
公益財団法人慈愛会 谷山病院
国際医療・福祉大学高邦会グループ
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院
テラル株式会社
福岡市こども総合相談センターえがお館
佐賀県庁
臼杵市役所
下関市役所
津山工業高等専門学校
福岡県立柏陵高等学校
私立祐誠高等学校
福岡市立みやたけ中学校

法学研究科

パナソニックリフォーム株式会社
NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会
PWC税理士法人
税理士法人ワイズマン
福岡市立筑紫丘中学校

経済学研究科

福岡観光コンベンションビューロー
NEEDS株式会社

商学研究科

株式会社ナレッジソリューション
南源株式会社
税理士法人 アイユーコンサルティング
税理士法人 IU Management

理学研究科

株式会社大塚商会
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社プラスアルファ・コンサルティング
レオン自動機株式会社
株式会社インテリジェント ウェイブ
株式会社インターネットイニシアティブ
UBE株式会社
株式会社テクノプロ テクノプロR&D社
株式会社アルプス技研
エイワイファーマ株式会社
高圧ガス工業株式会社
富士フィルムワコーケミカル株式会社
WDB工学株式会社
シャボン玉石けん株式会社
メティフォード株式会社
大阪シーリング印刷株式会社
株式会社エーピーアイコーポレーション
UBE三菱セメント株式会社
日鉄鉱コンサルタント株式会社
東芝電波テクノロジー株式会社
株式会社天地人
一般財団法人化学物質評価研究機構
私立福岡舞鶴高校

工学研究科

株式会社ヤマウ
東レ・モノフィラメント株式会社
トーカロ株式会社
株式会社エイト
日興通信株式会社
TOPPANホールディング株式会社
東亜合成株式会社
日鉄ケミカル＆マテリアル株式会社
協和ファインテック株式会社
スズキ株式会社
東芝エネルギーシステムズ株式会社
タカラスタンダード株式会社
SMC株式会社
株式会社日立システムズ
本田技研工業株式会社
大同特殊鋼株式会社
パナソニックエナジー株式会社
三菱電機株式会社
日本工営株式会社
福岡建設コンサルタント株式会社
大成ロテック株式会社
株式会社電気ビル
日鉄テックスエンジ株式会社
株式会社JALファシリティーズ
株式会社五省コンサルタント
隈研吾建築都市設計事務所
清水建設株式会社
株式会社建設技術研究所
浅井謙建築研究所
株式会社飯島建築事務所
鹿島建設株式会社
内藤建築事務所
UTエიმ株式会社
ミネベアミツミ株式会社
応研株式会社
TOPPANホールディングス株式会社
東京エレクトロン株式会社
九州電力株式会社
株式会社インフォセンス
NTTアノードエナジー株式会社
TOTO株式会社
山一電機株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ九州
富士通株式会社
株式会社アクティス
株式会社QTnet
株式会社日立社会情報サービス
株式会社ゼンリンデータコム
株式会社ドコモCS九州
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
株式会社ネットワーク応用技術研究所
西部ガス情報システム株式会社
大石産業株式会社
住友金属鉱山シボレックス株式会社
太平洋マテリアル株式会社
株式会社神鋼環境ソリューション
八千代エンジニヤリング株式会社
株式会社麻生
福岡県工業技術センターインテリア研究所
福山大学

医学研究科

久留米大学
福岡大学
出水総合医療センター
医療法人恵愛会福岡病院
湘南鎌倉総合病院
昭和病院
総合せき損センター
田川市立病院
独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
友愛医療センター
福岡県済生会福岡総合病院
福岡市民病院
福岡大学病院
福岡大学筑紫病院

薬学研究科

福岡大学
福岡県保健環境研究所

スポーツ健康科学研究科

TOTO株式会社
株式会社あわしま堂
株式会社ヒューマンウェイブ
パーソルキャリア株式会社
山下医科器械株式会社
福岡市役所
福岡大学
富山県立大学

進学先

人文科学研究科

福岡大学大学院 人文科学研究科史学専攻
博士課程後期
福岡大学大学院 人文科学研究科独語学独文学専攻
博士課程後期

経済学研究科

福岡大学大学院 経済学研究科 博士後期課程

商学研究科

福岡大学大学院 商学研究科商学専攻
博士課程後期

理学研究科

福岡大学大学院 理学研究科応用数学専攻
博士課程後期
福岡大学大学院 理学研究科応用物理学専攻
博士課程後期
九州大学大学院 システム生命科学府 博士課程
九州大学大学院 工学府 応用化学専攻 博士後期課程
東京大学大学院 理学系研究科生物科学専攻

スポーツ健康科学研究科

福岡大学大学院 スポーツ科学研究科
スポーツ健康科学専攻 博士課程後期

Q & A

Q 過去の入試問題集はどのようにして入手できますか？

A 下記事務課(室)内の窓口で閲覧可能です。窓口での閲覧のみとなっており、郵送はいたしません。前年度実施分から過去3か年分の入試問題を公開しています(※一部研究科除く)。ただし、「受験生がいなかった場合」「面接(口頭試問)のみで筆記試験が実施されなかった場合」にはその問題は掲載されておりません。なお、秋季・春季入学試験実施前後には、一時公開を停止しますのでご注意ください。

研究科		公開窓口
医学研究科(博士課程)		医学部事務課
医学研究科(修士課程 看護学専攻)		看護学科事務室
上記以外の研究科		大学院事務課

●公開期間	令和6年4月11日(木)～令和6年8月26日(月)
	令和6年9月16日(月)～令和7年1月30日(木)

※飛び級受験者は令和7年2月12日(水)まで

Q 窓口は何時から何時まで開いていますか？

A ●窓口事務時間
平日:午前8時50分～午後5時50分 ※各学部事務課(室)は午後4時50分まで
※大学院事務課では、授業期間中に限り、平日午後8時まで窓口対応しています。 授業期間:4月11日(木)～7月30日(火)、9月16日(月)～12月26日(木)、1月6日(月)～1月20日(月)
●事務休業日
・土曜日、日曜日
・国民の祝日に関する法律に規定する日
・益 休 期 間 令和6年8月12日(月)～8月21日(水)
・年末年始休業 令和6年12月30日(月)～令和7年1月3日(金)

Q 志望する指導教員のプロフィールや専門分野、研究活動等はどこに公開されていますか？

A 『福岡大学研究者情報』サイトをご覧ください。
<https://kenkyusha-db.fukuoka-u.ac.jp/search/>



Q 出願にあたり、志望する指導教員に連絡をする必要がありますか？

A 研究科・専修によって異なりますので、入学試験要項をご確認ください。研究科・専攻によっては、連絡不要という場合もあります。また、『福岡大学研究者情報サイト』でメールアドレスが公開されている場合がございます。公開されていない場合は、各研究科担当窓口までお問い合わせください。

Q 秋入学はできますか？

A 工学研究科博士課程後期のみ9月入学ができます。博士課程前期、修士課程は秋からの入学はできません。秋季入試合格者も翌年4月入学になります。

Q 秋季(9月)と春季(2月)に入学試験がありますが、受験チャンスが2回あるということですか？

A 修士課程・博士課程前期は2回受験可能です。博士課程・博士課程後期は、工学研究科・薬学研究科・スポーツ健康科学研究科のみ2回受験可能で、それ以外の研究科は春季のみとなります。ただし工学研究科9月入学試験は1回のみです。2回受験が可能な場合で、秋季入試で不合格の方は、春季入試にも出願できます。ただし、出願書類は転用できませんので、証明書等の原本も含めた全ての書類を再度提出してください。なお、2回受験が可能な場合でも、外国人で国外からの志願者は、春季のみの受験となります。

FUKUOKA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOLS GUIDE 2025

Q 大学院に入学する前に他の大学院において履修した授業科目の単位を認定してもらうことはできますか？

A 本学大学院入学する前に本学大学院及び他の大学院(外国を含む。)において履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科通常委員会の議を経て、15単位を限度として課程修了の要件となる単位として認めることがあります。希望者は、申請条件や申請時期等について、出願前に各研究科担当窓口へご確認ください。

Q 授業は何時から行われますか？

A 授業時間割は下記のとおりです。

昼間		夜間大学院	
1時限	9:00～10:30		
2時限	10:40～12:10		
3時限	13:00～14:30		
4時限	14:40～16:10		
5時限	16:20～17:50		
6時限	18:00～19:30	6時限	18:00～19:30
7時限	19:40～21:10	7時限	19:40～21:10

Q 昼夜開講の教育研究体制を採っている研究科・専攻はありますか？

A 昼夜開講制度を採っている研究科・専攻はありません。10研究科32専攻は、昼間の体制を採っています。2専攻(人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士課程前期・後期、薬学研究科健康薬科学専攻修士課程)は、専ら夜間のみの開講体制を採っています。法学研究科と商学研究科、医学研究科看護学専攻(修士課程)では、社会人学生の受け入れを計るため夜間対応の授業を実施しています。

Q 大学院学生に対する就職支援体制はありますか？

A 平成13年4月から、「キャリアセンター(旧:就職・進路支援センター)」が開設されました。同センターでは、学部生と共に大学院学生の支援もおこなうことになっていますので、大いに活用してください。大学の教育職、付属研究機関の研究職、企業や官公庁の研究職・専門技術職、国家公務員、地方公務員、高校・中学校の教員、一般企業・団体職員など、進路の幅は広がっています。

Q 社会人ですが、仕事の兼ね合いにより2年間で修了できない可能性があります。そうした場合、期間を延長することができますか？

A 「職業等の兼ね合いにより時間的に履修に制限がある」などの理由から、大学院進学を断念してしまう方がおられます。そういった方に門戸を開くことを目的とした制度があります。この制度を「長期履修制度」といいます。長期履修制度とは、仕事をしていたり、育児・出産等の事情により、本来の標準修業年限(修士課程・博士課程前期＝2年、博士課程後期＝3年、博士課程＝4年)では履修が困難と認められる者について、長期履修学生として標準修業年限を超えて履修を可能とする制度のことです。

施設



図書館

中央図書館

「知」の拠点として多様な学習スタイルに応える中央図書館。加えて、医学部分館や理学部・工学部・薬学部・スポーツ科学部の各分室では、それぞれの分野に特化した資料を所蔵しています。教職員、学生は所属に関係なく、どの図書館も利用することができます。現在の蔵書数は約207万冊・雑誌約2万2,000タイトル。これらの検索はもちろん、国内外の主要な電子ジャーナルや各種データベース・電子ブックに、学内のパソコンからいつでも気軽にアクセスできます。また、学外からアクセスできる電子資料もあります。



院生室

中央図書館7階に大学院生専用フロアがあります。院生室内には、自習スペースにPCやプリンタが設置されているほか、ディスカッションルームやライブラリースペースがあります。また、専用フロアには、コモンスペースや貸与の個人ロッカーも整備されています。

※入学定員は令和6年度

研究科	専攻	課程	入学定員	
			前期・修士	後期・博士
人文科学研究科 LD	史学専攻	博士課程前期・後期	8	4
	日本語日本文学専攻		6	4
	英語学英米文学専攻		6	3
	独語学独文学専攻		6	2
	仏語学仏文学専攻		6	2
	社会・文化論専攻	修士課程	4	
	教育・臨床心理専攻	博士課程前期・後期	15	6
法学研究科 JD	公法専攻	博士課程前期・後期	6	2
	民刑事法専攻		6	1
経済学研究科 ED	経済学専攻	博士課程前期・後期	10	3
商学研究科 CD	商学専攻	博士課程前期・後期	15	5
理学研究科 SD	応用数学専攻	博士課程前期・後期	8	2
	応用物理学専攻		15	2
	化学専攻		20	2
	地球圏科学専攻		10	2
工学研究科 TD	機械工学専攻	博士課程前期	10	
	電気工学専攻		10	
	電子情報工学専攻		10	
	化学システム工学専攻		10	
	建設工学専攻		10	
	エネルギー・環境システム工学専攻	博士課程後期		4
	情報・制御システム工学専攻			4
	資源循環・環境工学専攻	修士課程	10	
医学研究科 MD	人体生物系専攻	博士課程（4年制）		3
	生体制御系専攻			2
	病態構造系専攻			8
	病態機能系専攻			8
	社会医学系専攻			3
	先端医療科学系専攻			6
	看護学専攻	修士課程	6	
薬学研究科 PD	健康薬科学専攻	修士課程	2	
	薬学専攻	博士課程（4年制）		6
スポーツ健康科学研究科 GD	スポーツ健康科学専攻	博士課程前期・後期	12	4
法曹実務研究科(法科大学院) XL	法務専攻	専門職学位課程		20

注：人文科学研究科 教育・臨床心理専攻（博士課程前期・後期）は、専ら夜間において教育が行われます。

薬学研究科 健康薬科学専攻（修士課程）は、専ら夜間において教育が行われます。

法学研究科、商学研究科、医学研究科 看護学専攻（修士課程）は社会人に対する夜間対応の授業が行われます。

在籍者数 令和6年5月1日現在				
研究科	専攻	博士課程前期・修士課程	博士課程後期・博士課程	合計
人文科学	史学	17	5	22
	日本語日本文学	7	1	8
	英語学英米文学	11	5	16
	独語学独文学	2	1	3
	仏語学仏文学	2	1	3
	社会・文化論	—	—	0
	教育・臨床心理	16	2	18
法学	公法	8	2	10
	民刑事法	4	2	6
経済学	経済学	7	2	9
商学	商学	20	4	24
理学	応用数学	10	2	12
	応用物理学	27	2	29
	化学	44	3	47
工学	地球圏科学	9	—	9
	機械工学	31	—	31
	電気工学	12	—	12
	電子情報工学	28	—	28
	化学システム工学	77	—	77
	建設工学	50	—	50
	資源循環・環境工学	5	—	5
	エネルギー・環境システム工学	—	9	9
	情報・制御システム工学	—	2	2
	人体生物系	—	4	4
医学	生体制御系	—	8	8
	病態構造系	—	12	12
	病態機能系	—	31	31
	社会医学系	—	20	20
	先端医療科学系	—	44	44
	看護学	7	—	7
薬学	健康薬科学	1	—	1
	薬学	—	27	27
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	18	13	31
合計		413	202	615

社会人・留学生の在籍者数 上記の合計数に含む。			
全研究科	博士課程前期・修士課程	博士課程後期・博士課程	合計
社会人	24	27	51
留学生	26	12	38

注:留学生(非正規生を除く)
社会人(社会人入試による受入数)

取得できる学位		
研究科名	修士の学位	
	修士課程または 博士課程前期2年の課程	博士課程後期3年の課程 または医学研究科及び 薬学研究科の博士課程
人文科学	修士（文学）	博士（文学）
法学	修士（法学）	博士（法学）
経済学	修士（経済学）	博士（経済学）
商学	修士(商学)・修士(経営学)	博士（商学）
理学	修士（理学）	博士（理学）
工学	修士(工学)・修士(学術)	博士(工学)・博士(学術)
医学	修士（看護学）	博士（医学）
薬学	修士（健康薬科学）	博士（薬学）
スポーツ健康科学	修士(スポーツ健康科学)	博士(スポーツ健康科学)

注:人文科学研究科教育・臨床心理専攻は、次の学位が取得できます。
・博士課程前期は、教育分野は修士(教育学)、臨床心理分野は修士(臨床心理学)の学位
・博士課程後期は、教育分野は博士(教育学)、臨床心理分野は博士(臨床心理学)の学位

注:工学研究科電子情報工学専攻で取得できる学位は、修士(工学)に限ります。
注:工学研究科情報・制御システム工学専攻で取得できる学位は、博士(工学)に限ります。

修了者数			
人文科学	1,219	工学	2,241
法学	514	医学	978
経済学	820	薬学	1,073
商学	812	スポーツ健康科学	498
理学	1,516	〈合計〉	9,671

注:令和6年3月31日現在(満期退学者を含む)

博士の学位授与数	
課程博士	1,283人
論文博士	759人
合計	2,042人

注:令和6年3月31日現在

令和6(2024)年度 キャンパスカレンダー			
令和6年			
4月 1日	月	学年開始・前期開始	
		入学式・新入生ガイダンス	
11日	木	前期授業開始	
29日	月	「昭和の日」【授業日】	
5月 21日	火	「創立記念日」	
7月 6日	土	大学院推薦入学試験（該当研究科のみ）	
18日	木	月曜日の振替授業日	
30日	火	前期授業（終了）	
31日	水	前期補講日（開始）	
8月 3日	土	オープンキャンパス	
4日	日		
		夏季休業開始	
6日	火	前期補講日（終了）	
9月 2日	月	9月入学者新入生ガイダンス	
7日	土	大学院秋季入学試験(9月11日まで※9月8日を除く)	
13日	金	修士・博士学位前期合格者発表	
		Web 成績発表開始（前期完結科目のみ）	
		夏季休業終了	
16日	月	後期授業開始「敬老の日」【授業日】	
28日	土	前期卒業式・学位記授与式（修士）	
10月 3日	木	秋季大学院学位記授与式（博士）	
11月 5日	火	学園祭に伴う休講	
12月 25日	水	全体補講日（学部・大学院）	
26日	木	月曜日の振替授業日	
27日	金	冬季休業開始	
令和7年			
1月 4日	土	冬季休業終了	
6日	月	後期授業（再開）	
14日	火	全体補講日（学部・大学院）	
15日	水	後期補講日（開始）	
17日	金	大学入学共通テスト実施に伴う休講日	
20日	月	後期授業（終了）	
27日	月	後期補講日（終了）	
2月 14日	金	大学院春季入学試験(2月19日まで※2月15日を除く)	
3月 10日	月	修士・博士学位合格者発表	
		Web 成績発表開始	
19日	水	卒業式・学位記授与式（修士）	
24日	月	春季大学院学位記授与式（博士）	
31日	月	学年終了	
		※ 休日授業日	

取得できる教育職員免許状				
研究科	専攻	免許状の種類及び免許教科		
		中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状	その他の 専修免許状
人文学科	史学専攻	社会	地理歴史	—
	日本語日本文学	国語	国語	
	英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)	
	独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
	仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
	社会・文化論	社会	公民	
	教育・臨床心理			
法学	公法	社会	公民	—
	民刑事法			
経済学	経済学	社会	公民	—
商学	商学	—	商業	—
理学	応用数学	数学	数学	—
	応用物理学	理科	理科	—
	化学			
工学	地球圏科学	—	工業	
	機械工学			
	電気工学			
	電子情報工学			
	化学システム工学			
医学	建設工学	—	—	養護教諭
	看護学	—		
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	保健体育	保健体育	—

注:教育職員免許法に定める所定の条件を満たした場合は、上記の専修免許状を取得することができます。

注:教育職員免許法に定める所定の条件を満たした場合は、上記の専修免許状を取得することができます。

奨学金・支援制度		
※下記は本学独自の奨学金・支援制度であり、返還義務のない給付型の奨学金・支援制度です。 ※内容は昨年度の概要であり、今年度内容が変更となる場合もありますので、詳細については、本学のホームページ等を参照してください。		
対象:博士課程後期・博士課程(医学研究科、薬学研究科)		
名称	趣旨	金額
博士課程後期・博士課程 給費奨学金	優秀※1で経済的に修学 困難な学生に給付	在籍する研究科における年 間の授業料相当額(30%・ 50%・100%のうちいずれか)
※1 日本学術振興会の特別研究員(DC1,又はDC2)に採用されているか 又は出願の前年度に審査をうけた者		
対象:全課程		
名称	趣旨	金額
海外留学 給費奨学金	交換留学協定を締結し ていない海外の大学院 または研究所等へ半期 又は1年以上留学する 学生に給付	A:1年以上留学 30万円 B:半期 (前期又は後期) 15万円
海外研究 発表支援	海外で開催される国際 学会での研究発表を目的 に渡航する学生に渡航 費・宿泊費の支援	1人1回10万円を 上限として実費支給
対象:外国人留学生 全課程		
名称	趣旨	金額
私費外国人 留学生 給費奨学金	学業成績優秀で経済的 負担力に乏しい学生に 給付	修士課程・博士課程前期 1か月 4万円 博士課程・博士課程後期 1か月 6万5千円
対象:修士課程、博士課程前期又は博士課程(外国人留学生は対象外)		
名称	趣旨	減免率
予約型 授業料減免	推薦入試等による優秀 な進学者(申請時におい て一定の基準を満たす 本学学部在籍者)の修学 機会の確保	各研究科授業料の30% (入学年度に限る)
TA(ティーチングアシスタント) 全課程		
名称	趣旨	金額
TA (ティーチングアシスタント)	本学の授業や教学活動について 教員をサポートする 教育の充実及び学生が研究者 教員等になるための機会の提供	時給 1,350円
長期履修制度 全課程		
職業を有している等の事情により、標準修業を超えて本学大学院が認める一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する学生に対し、長期による履修を認める制度です。		

学費等納入金 ※金額は令和6年度分を示しております。

(単位:円) ※委託徴収金は、年度により変更となる場合があります。

修士課程・博士課程前期

人文科学研究科・法学研究科・ 経済学研究科・商学研究科				修士課程・博士課程前期
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	100,000	0	100,000	入学年度のみ納入
授業料	470,000	470,000	470,000	毎年度納入
教育充実費	120,000	120,000	120,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	593,000	593,000	608,100	
合 計	693,000	593,000	708,100	

理学研究科・工学研究科・ 薬学研究科				修士課程・博士課程前期
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	630,000	630,000	630,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	773,000	773,000	788,100	
合 計	893,000	773,000	908,100	

医学研究科				修士課程
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	470,000	470,000	470,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	613,000	613,000	628,100	
合 計	733,000	613,000	748,100	

スポーツ健康科学研究科				博士課程前期
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	570,000	570,000	570,000	毎年度納入
教育充実費	130,000	130,000	130,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	703,000	703,000	718,100	
合 計	823,000	703,000	838,100	

博士課程後期・博士課程

人文科学研究科・法学研究科・ 経済学研究科・商学研究科				博士課程後期
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	100,000	0	100,000	入学年度のみ納入
授業料	400,000	400,000	400,000	毎年度納入
教育充実費	120,000	120,000	120,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	523,000	523,000	538,100	
合 計	623,000	523,000	638,100	

理学研究科・工学研究科・ 薬学研究科				博士課程後期・博士課程
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	560,000	560,000	560,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	703,000	703,000	718,100	
合 計	823,000	703,000	838,100	

医学研究科				博士課程
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	560,000	560,000	560,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	703,000	703,000	718,100	
合 計	823,000	703,000	838,100	

スポーツ健康科学研究科				博士課程後期
区分 項目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	510,000	510,000	510,000	毎年度納入
教育充実費	130,000	130,000	130,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
(小 計)	643,000	643,000	658,100	
合 計	763,000	643,000	778,100	

令和7年度(2025年)入学試験日程及び入学試験要項 (詳細は各研究科の入学試験要項を参照してください。)

秋季入学試験	修士課程、博士課程前期 博士課程後期、博士課程 (工学・薬学・スポーツ健康科学のみ)
--------	---

【一般入学試験・社会人入学試験】			
研究科	出願期間	試験日	合格発表日
人 文 科 学 (教育・臨床心理専攻を除く)	令和6年 8月22日(木) ～8月26日(月) ※土日除く	令和6年 9月10日(火)	令和6年 9月30日(月)
人 文 科 学 (教育・臨床心理専攻)		9月9日(月)	
法 学		9月9日(月)	
経 済 学		9月10日(火)	
商 学		9月11日(水)	
理 学		9月11日(水)	
工 学		9月9日(月)	
医 学 (看護学専攻)		9月11日(水)	
薬 学		9月9日(月)	
スポーツ健康科学		9月7日(土)	

【外国人留学生入学試験】			
研究科	出願期間	試験日	合格発表日
全 研 究 科 (国内志願者)	令和6年 7月16日(火) ～7月18日(木)	上記当該研究科の 日程に同じ	

春季入学試験	修士課程、博士課程前期、博士課程後期、博士課程
--------	-------------------------

【一般入学試験・社会人入学試験】			
研究科	出願期間	試験日	合格発表日
人 文 科 学 (教育・臨床心理専攻を除く)	令和7年 1月27日(月) ～1月30日(木)	令和7年 2月17日(月)	令和7年 3月10日(月)
人 文 科 学 (教育・臨床心理専攻)		2月16日(日)	
法 学	令和7年 1月20日(月) ～1月23日(木)	2月17日(月)	
経 済 学		2月18日(火)	
商 学		2月19日(水)	
理 学		2月19日(水)	
工 学		2月17日(月)	
医 学 (看護学専攻)	令和7年1月23日(木) ～1月31日(金)	2月18日(火)	
医 学 (博士課程全専攻)		2月19日(水)	
薬 学	令和7年 1月20日(月) ～1月23日(木)	2月18日(火)	
スポーツ健康科学		2月14日(金)	

【外国人留学生入学試験】			
研究科	出願期間	試験日	合格発表日
全 研 究 科	国外志願者	随時受付:募集開始～ 令和6年10月31日(木)迄	上記当該研究科の 日程に同じ
	国内志願者	令和6年 12月9日(月) ～12月11日(水)	

【飛び級入学試験】 (対象者: 本学の理学部・工学部・スポーツ科学部の3年次生)			
研究科	出願期間	試験日	合格発表日
理 学	令和7年 2月10日(月) ・2月12日(水)	上記当該研究科の 日程に同じ	
工 学			
スポーツ健康科学	令和7年2月5日(水) ～2月6日(木)		

9月入学試験	博士課程後期 (工学研究科のみ)
--------	------------------

【一般入学試験・社会人入学試験】			
入学年度	出願期間	試験日	合格発表日
令和6年度	令和6年 6月17日(月)～6月19日(水)	令和6年 7月6日(土)	令和6年 7月23日(火)

■ 入学試験要項について

福岡大学大学院個別サイトから「入学試験ページ」にアクセスし、入学試験要項をダウンロードしてください。
入学試験要項には出願・受験の際に必要な情報のほか、合格発表や入学手続に関する情報を掲載しています。
※入学試験要項（冊子版）の販売・配布は行いません。

■ 出願書類(本学所定用紙)について

福岡大学大学院個別サイトから「入学試験ページ」にアクセスし、出願書類（本学所定用紙）をダウンロードしてください。
出願書類を印刷するためにプリンターが必要になります。
出願書類は A4 判で印刷を行ってください。印刷時に拡大・縮小を行わないでください。
※出願書類（冊子版）の販売・配布は行いません。

大学院個別サイト

https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp



① 学位を有しない志願者へ

(大学の卒業見込者及び大学院修士の修了見込者を除く)
本学が行う事前の受験資格審査により、受験資格を認められた方のみ受験することができます。詳細は入学試験要項を参照してください。

出願期間	秋季 令和6年 7月16日(火)～ 7月 18日(木) 春季 令和6年12月 9日(月)～12月 11日(水)
------	--

② 入学試験検定料について

全ての研究科(外国人留学生を除く)……………32,000円
外国人留学生の第2次選考検定料(医学研究科博士課程を除く) ……………30,000円
外国人留学生の第2次選考検定料(医学研究科博士課程) ……………32,000円

納入方法は、入学試験要項を参照してください。

③ 研究科の授業科目、担当者及び研究指導の内容について

各研究科別の入学試験要項の中で、詳細にわたり記載していますので、参照してください。

令和6年度入学生 入学試験結果

博士課程前期・修士課程

秋季入学試験結果（7月実施の推薦入試の結果を含む）			
一般入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	英語学英米文学	1	0
	仏語学仏文学	1	1
	教育・臨床心理	19	3
法学	公法	2	2
	民刑事法	2	1
商学	商学	4	2
理学	応用物理学	6	5
	化学	7	5
	地球圏科学	4	3
工学	機械工学	7	7
	電気工学	1	0
	電子情報工学	7	7
	化学システム工学	17	14
	建設工学	21	18
	資源循環・環境工学	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	3	3
合計		103	72
社会人入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	英語学英米文学	1	1
医学	看護学	1	1
合計		2	2
外国人留学生入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
経済学	経済学	1	1
商学	商学	2	2
工学	電子情報工学	1	0
	建設工学	1	1
合計		5	4
推薦入学試験（文系推薦入学）			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
商学	商学	1	1
合計		1	1
推薦入学試験（7月実施）			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	英語学英米文学	3	3
	独語学独文学	1	1
	仏語学仏文学	1	1
	教育・臨床心理	4	4
理学	応用数学	1	1
	応用物理学	8	8
	化学	8	8
	地球圏科学	5	5
工学	機械工学	7	7
	電気工学	6	6
	電子情報工学	4	4
	化学システム工学	21	21
	建設工学	7	7
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	4	4
合計		80	80

春季入学試験結果			
一般入学試験（飛び級入試を含む）			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	史学	8	7
	日本語日本文学	2	2
	教育・臨床心理	7	1
法学	公法	2	0
商学	商学	4	2
理学	応用数学	4	4
	応用物理学	5	4
	化学	6	6
	地球圏科学	2	2
工学	機械工学	2	2
	電子情報工学	3	2
	化学システム工学	1	1
	建設工学	2	2
	資源循環・環境工学	1	1
医学	看護学	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	2	1
合計		52	38
社会人入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	英語学英米文学	3	1
	教育・臨床心理	4	2
法学	公法	3	2
商学	商学	3	1
工学	資源循環・環境工学	1	1
合計		14	7
外国人留学生入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	日本語日本文学	1	1
	英語学英米文学	3	2
経済学	経済学	2	2
商学	商学	5	2
工学	機械工学	1	0
	電子情報工学	1	1
	化学システム工学	1	1
合計		14	9
アスリート推薦入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		1	1

令和6年度入学生 入学試験結果

博士課程後期・博士課程

秋季入学試験結果（7月実施の推薦入試の結果を含む）			
一般入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
薬学	薬学	1	0
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		2	1
推薦入学試験（7月実施）			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
薬学	薬学	4	4
合計		4	4

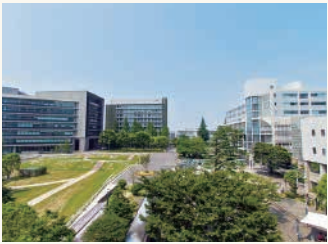
春季入学試験結果			
一般入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文学	史学	2	2
	独語学独文学	1	1
理学	応用数学	1	1
	応用物理学	1	1
医学	生体制御系	4	4
	病態構造系	1	1
	病態機能系	7	7
	社会医学系	4	2
薬学	先端医療科学系	7	6
	薬学	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		30	27

社会人入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
経済学	経済学	1	0
工学	エネルギー・環境システム工学	1	1
合計		2	1

外国人留学生入学試験			
研究科	専攻	志願者数	合格者数
経済学	経済学	2	1
商学	商学	1	1
理学	応用数学	1	1
医学	人体生物系	1	1
	生体制御系	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		7	6

進学説明会／OPEN CAMPUS 2024

留学生進学説明会 2024



参加無料

予約不要

令和7年度
入学試験要項配付

対象	本学留学生、他大学留学生、 日本語学校生、専門学校生等
場所	中央図書館6階会議室

プログラム

- 全体説明会
 - ・福岡大学大学院の特色
 - ・経済的支援
 - ・修了後の進路
 - ・入学試験出願手続き等について説明します
- 在学生による福大トーク
現役留学生が福岡大学での学びや研究テーマ等を語ります
- 研究科別相談会
志願する研究科について相談や質問を受け付けます

開催日時等詳細が決まりましたら、福岡大学公式ウェブサイト内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp>)へ掲載します。

オープンキャンパス 2024



参加無料

予約不要

入退場自由

対象	大学院に興味をお持ちの方 (高校生、大学生、社会人、外国人留学生等)
場所	中央図書館6階 他

プログラム

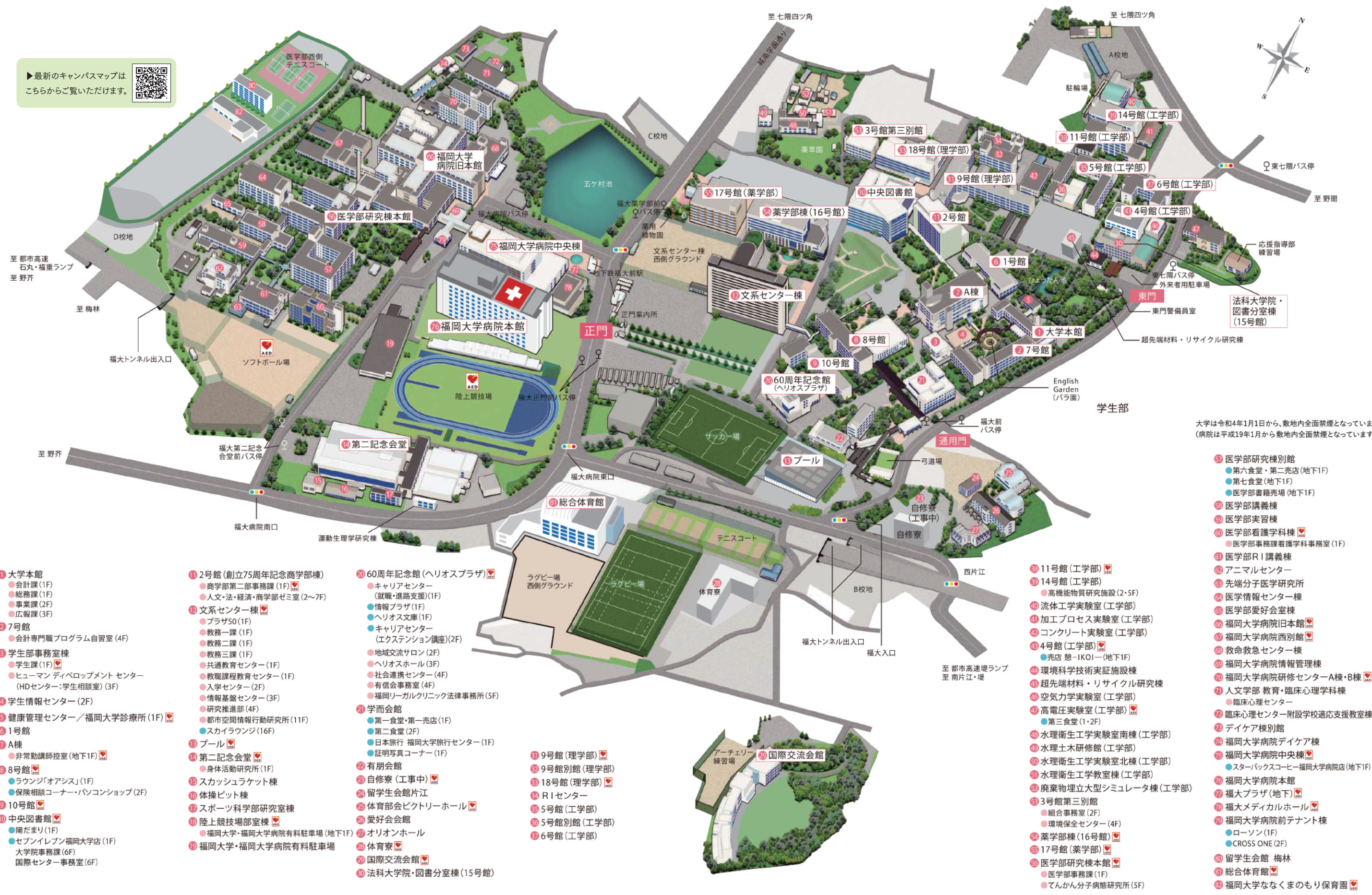
- 入学試験過去問題閲覧
中央図書館6階のみ
- 大学院施設案内
- 個別相談コーナー
 - ・修学支援
研究科の概要、カリキュラム
大学院研究生／科目等履修生制度
 - ・生活支援
各種奨学金制度、TA制度

開催日時等詳細が決まりましたら、福岡大学公式ウェブサイト内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp>)へ掲載します。

CAMPUS MAP

Graduate Schools Guide 2025

▶最新のキャンパスマップは
こちらからご覧いただけます。



大学は令和4年1月1日から、敷地内全面禁煙となっています。
(病院は平成19年1月から敷地内全面禁煙となっています)

- 1 大学本館
 - 会計課(1F)
 - 総務課(1F)
 - 事業課(2F)
 - 広報課(3F)
- 2 7号館
 - 会計専門職プログラム自習室(4F)
- 3 学生部事務室棟
 - 学生課(1F)
 - ヒューマン・ディベロップメント・センター(HDセンター:学生相談室)(3F)
- 4 学生情報センター(2F)
- 5 健康管理センター／福岡大学診療所(1F)
- 6 1号館
- 7 A棟
 - 非常勤講師控室(地下1F)
- 8 8号館
 - ラウンジ「オアシス」(1F)
 - 保険相談コーナー・パソコンショップ(2F)
- 9 10号館
- 10 中央図書館
 - 陽だまり(1F)
 - セブンイレブン福岡大学店(1F)
 - 大学院事務課(6F)
 - 国際センター事務室(6F)

- 11 2号館(創立75周年記念商学部棟)
 - 商学部第二事務課(1F)
 - 人文・法・経済・商学部ゼミ室(2～7F)
- 12 文系センター棟
 - プラザ50(1F)
 - 教務一課(1F)
 - 教務二課(1F)
 - 教務三課(1F)
 - 共通教育センター(1F)
 - 教職課程教育センター(1F)
 - 入学センター(2F)
 - 情報基盤センター(3F)
 - 研究推進部(4F)
 - 都市空間情報行動研究所(11F)
 - スカイラウンジ(16F)
- 13 プール
- 14 第二記念会堂
 - 身体活動研究所(1F)
- 15 スカッシュラケット棟
- 16 体操ピット棟
- 17 スポーツ科学部研究室棟
- 18 陸上競技場部室棟
 - 福岡大学・福岡大学病院有料駐車場(地下1F)
 - 福岡大学・福岡大学病院有料駐車場
- 19 福岡大学・福岡大学病院中央棟

- 20 60周年記念館(ヘリオスプラザ)
 - キャリアセンター(就職・進路支援)(1F)
 - 情報プラザ(1F)
 - ヘリオス文庫(1F)
 - キャリアセンター(エクステンション講座)(2F)
 - 地域交流サロン(2F)
 - ヘリオスホール(3F)
 - 社会連携センター(4F)
 - 有信会事務室(4F)
 - 福岡リーガルクリニック法律事務所(5F)
- 21 学友会館
 - 第一食堂・第一売店(1F)
 - 第二食堂(2F)
 - 日本旅行 福岡大学旅行センター(1F)
 - 証明写真コーナー(1F)
- 22 有朋会館
- 23 自修寮(工事中)
- 24 留学生会館片江
- 25 体育会ビクトリーホール
- 26 愛好会会館
- 27 オリオンホール
- 28 体育寮
- 29 国際交流会館
- 30 法科大学院・図書分室棟(15号館)

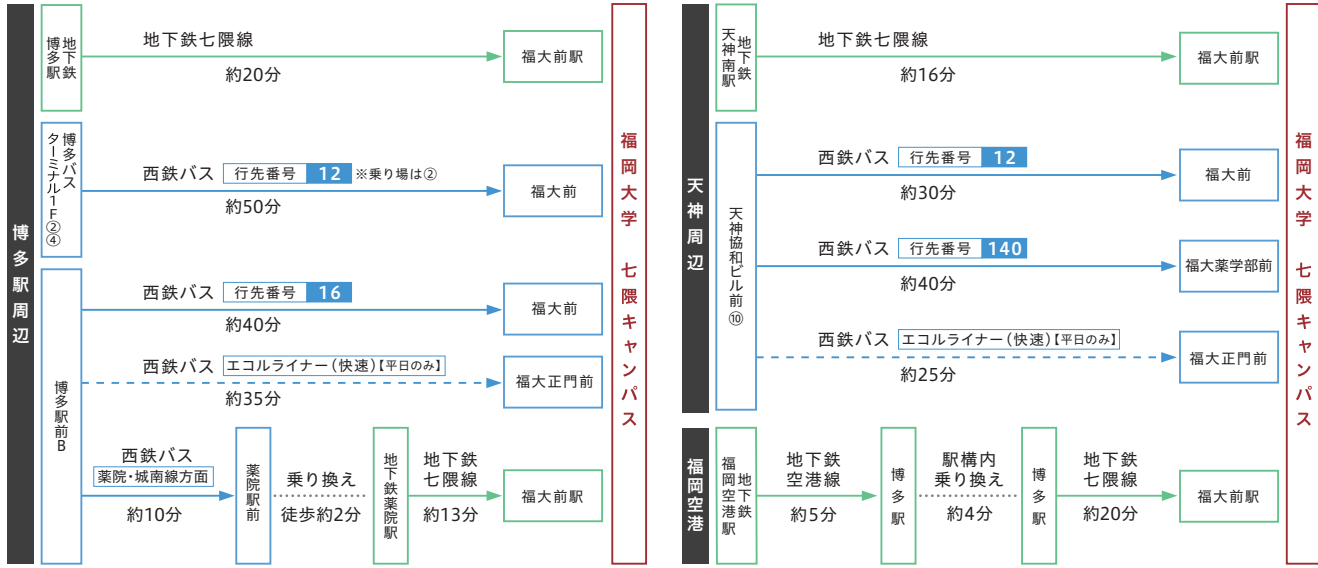
- 31 9号館(理学部)
- 32 9号館別館(理学部)
- 33 18号館(理学部)
- 34 RIセンター
- 35 5号館(工学部)
- 36 5号館別館(工学部)
- 37 6号館(工学部)

- 38 11号館(工学部)
 - 高機能物質研究施設(2・5F)
- 39 14号館(工学部)
 - 流体工学実験室(工学部)
 - 加工プロセス実験室(工学部)
 - コンクリート実験室(工学部)
 - 売店 憩-IKOI-(地下1F)
- 40 環境科学技術実証施設棟
- 41 超先端材料・リサイクル研究棟
- 42 空気力学実験室(工学部)
- 43 高電圧実験室(工学部)
 - 第三食堂(1・2F)
- 44 水理衛生工学実験室南棟(工学部)
- 45 水理土木研修館(工学部)
- 46 水理衛生工学実験室北棟(工学部)
- 47 水理衛生工学教室棟(工学部)
- 48 廃棄物埋立大型シミュレータ棟(工学部)
- 49 3号館第三別館
 - 組合事務室(2F)
 - 環境保全センター(4F)
- 50 薬学部棟(16号館)
- 51 17号館(薬学部)
- 52 医学部研究棟本館
 - 医学部事務課(1F)
 - てんかん分子病態研究所(5F)

- 53 医学部研究棟別館
 - 第六食堂・第二売店(地下1F)
 - 第七食堂(地下1F)
 - 医学部書籍売場(地下1F)
- 54 医学部講義棟
- 55 医学部実習棟
- 56 医学部看護学科棟
 - 医学部事務課看護学科事務室(1F)
- 57 医学部R1講義棟
- 58 アニマルセンター
- 59 先端分子医学研究所
- 60 医学情報センター棟
- 61 医学部愛好会会館
- 62 福岡大学病院旧本館
- 63 福岡大学病院西別館
- 64 救命救急センター棟
- 65 福岡大学病院情報管理棟
- 66 福岡大学病院研修センターA棟・B棟
 - スターバックスコーヒー福岡大学病院店(地下1F)
- 67 人文学部 教育・臨床心理学科棟
 - 臨床心理センター
- 68 臨床心理センター附設学校適応支援教室棟
- 69 デイケア棟別館
- 70 福岡大学病院デイケア棟
- 71 福岡大学病院中央棟
- 72 福岡大学病院前テナント棟
 - ローソン(1F)
 - CROSS ONE(2F)
- 73 留学生会館 梅林
- 74 総合体育館
- 75 福岡大学なくまのもり保育園



交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。
※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。
※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報については、以下ウェブサイト等からご確認ください。
●地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
●バスに関する情報……西鉄バス <http://www.nishitetsu.jp/bus/>

[高速道路]

唐津方面からの場合
西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合
九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

<https://www.fukuoka-u.ac.jp>

所在地

福岡大学

人文・法・経済・商・商二部・理・工・薬・スポーツ科学部
人文科学・法学・経済学・商学・理学・工学・薬学・スポーツ健康科学研究科・法科大学院
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号 TEL 092-871-6631(代)

医学部・医学研究科

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号 TEL 092-801-1011(代)

福岡大学病院

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号 TEL 092-801-1011(代)

福岡大学筑紫病院

〒818-8502 筑紫野市俗明院一丁目1番1号
TEL 092-921-1011(代)

福岡大学西新病院

〒814-8522 福岡市早良区祖原15番7号
TEL 092-831-1211(代)

福岡大学附属大濠中学校

〒810-0044 福岡市中央区大本松一丁目12番1号
TEL 092-712-5828(代)

福岡大学附属大濠高等学校

〒810-0044 福岡市中央区大本松一丁目12番1号
TEL 092-771-0731(代)

福岡大学附属若葉高等学校

〒810-0062 福岡市中央区荒戸三丁目4番62号
TEL 092-771-1981(代)

福岡大学 東京事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目14番1号
郵政福祉琴平ビル6階 TEL 03-3501-6629